

多治見市
介護に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和2（2020）年3月

岐阜県 多治見市

目 次

第1章 調査の実施概要.....	3
1 調査の目的.....	3
2 調査の内容.....	3
3 電算処理及び報告書の記載方法	4
4 調査票の配布と回答状況.....	5
5 地域課題のまとめ.....	10
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果.....	21
1 家族構成や生活状況について.....	21
2 からだを動かすことについて.....	25
3 食えることについて.....	33
4 毎日の生活について.....	37
5 地域での活動について	52
6 たすけあいについて.....	54
7 健康について	58
8 高齢社会について	61
9 人生の最終段階について.....	63
第3章 在宅介護実態調査結果	67
1 ご本人（要介護者）の状況について	67
2 主な介護者等の状況（属性等）について	70
3 支援・サービス・訪問診療の利用状況・ニーズについて.....	76
4 主な介護者の就労状況について	83
5 介護生活が続ける際の不安や困りごと	85
6 介護離職の要因について.....	87
第4章 日常生活圏域別地域分析.....	97
1 “5つの高齢者像” からみた地域分析.....	98
2 介護予防・日常生活支援総合事業に関する出現率と地域差	100
3 認知症高齢者に関する出現率と地域差.....	106
4 フレイル等の出現率と地域差.....	107

5	在宅医療・介護の推進	108
6	介護離職の要因と問題軽減	110
7	住まいのニーズ	117
8	地域資源等の把握	118
9	高齢者の公共交通機関の利用状況	127
10	健康について	128
資料編		135
1	電算処理の判定条件等	135
2	アンケート調査票	142

第1章

調査の実施概要

第1章 調査の実施概要

1 調査の目的

「多治見市第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたっては、高齢者等の日常生活実態及び介護者の介護実態を把握し、本市における地域を含めた課題整理を行い、今後目指すべき地域包括ケアシステム構築のあり方とサービス基盤の方向性を検討する必要があります。

本調査は、計画策定に必要となる将来推計の基礎資料を得ることを目的としています。

2 調査の内容

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

要介護状態になる前の高齢者に対する「要介護度の悪化につながるリスクの発生状況」及び「要介護度の悪化に影響を与える日常生活の状況」のアンケートを実施し、地域共生社会の実現に向けた地域課題の抽出やサービス基盤の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的としています。

調査対象者	多治見市に居住する 65 歳以上の一般高齢者（要支援・要介護認定者を除く） 3,000 人を無作為抽出
調査方法	令和2年1月29日～2月12日、対象者へ郵送にて調査

※調査票は資料編に掲載しています。

(2) 在宅介護実態調査

介護する家族に対するアンケートを実施し、「地域包括ケアシステムの深化・推進」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」などのニーズ把握をするとともに、介護給付サービスをはじめ各種の「量の見込み」を設定するための基礎資料を得ることを目的としています。

調査対象者	更新認定をおこなう要支援・要介護認定者から無作為抽出
調査方法	平成31年4月1日～令和2年2月15日、調査員が聞き取り

※調査票は資料編に掲載しています。

3 電算処理及び報告書の記載方法

(1) 電算処理

集計処理にあたっては、回答結果から世帯状況、健康自立度別高齢者像（元気高齢者、旧一次事業対象者、介護予防事業対象者、生活支援事業対象者、認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者）の設定条件や、運動器の機能低下リスク、口腔機能の低下リスク、低栄養の傾向リスク、閉じこもり傾向リスク、認知機能の低下リスク、うつ傾向リスク、フレイル等の判定条件を基に行いました。その条件内容は資料編に記載しています。

また、集計表やグラフの％表示は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても100％にならない場合があります。

(2) 報告書の記載方法

報告書の記載にあたっては、テーマごとに関連する設問を集約し分析を行っているため、調査票の設問番号順になっていません。グラフや表に記載しているタイトル番号は、調査票の設問番号を用いています。

報告書に記載している用語について、「一般高齢者」は要支援・要介護認定者を除いた65歳以上高齢者を称しています。また、在宅介護実態調査結果においては要支援・要介護認定者を「要介護者」として略称を用いています。

4 調査票の配布と回答状況

(1) 有効回答者数と回答率

本調査の回答状況は以下のとおりです。

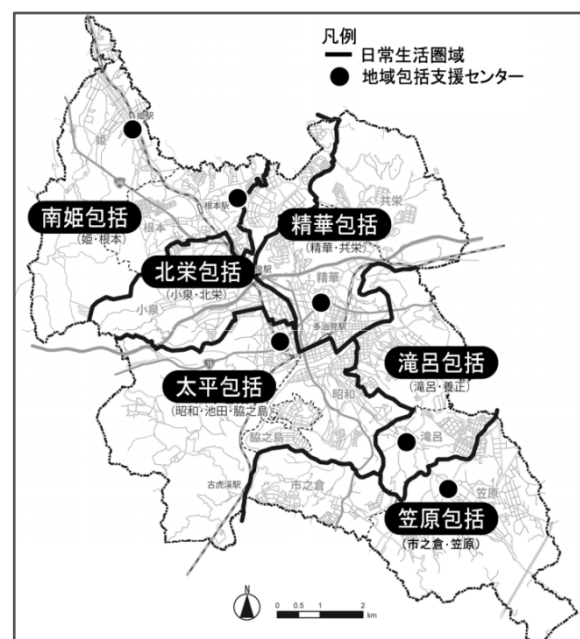
表 1.1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の回答状況

圏域名	調査票の配布数(人)	有効回答数(人)	有効回答率(%)
市全体	3,000	2,100	70.0
滝呂包括	500	370	74.0
太平包括	500	370	74.0
精華包括	500	326	65.2
南姫包括	500	350	70.0
北栄包括	500	333	66.6
笠原包括	500	351	70.2

表 1.2 在宅介護実態調査（要支援・要介護認定者）回答状況

圏域名	調査票の配布数(人)	有効回答数(人)	有効回答率(%)
市全体	450	419	93.1
滝呂包括	80	80	100.0
太平包括	83	80	96.4
精華包括	76	74	97.4
南姫包括	61	57	93.4
北栄包括	78	77	98.7
笠原包括	52	51	98.1
包括不明・死亡等	※20	—	—

※「包括不明、死亡、2次判定非該当」含む



(2) 有効回答者の年齢階級別の状況

表 1.3 市全体の調査別性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調 査 対象者	計	男性						女性					
		65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	2,100	265	291	220	116	48	7	295	339	284	158	54	23
	100.0	12.6	13.9	10.5	5.5	2.3	0.3	14.0	16.1	13.5	7.5	2.6	1.1
在宅介護 実態調査	419	15	18	33	31	41	19	7	10	43	55	85	62
	100.0	3.6	4.3	7.9	7.4	9.8	4.5	1.7	2.4	10.3	13.1	20.3	14.8

表 1.4 「滝呂包括」の調査別性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調 査 対象者	計	男性						女性					
		65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	370	42	50	34	30	10	2	44	57	48	38	7	8
	100.0	11.4	13.5	9.2	8.1	2.7	0.5	11.9	15.4	13.0	10.3	1.9	2.2
在宅介護 実態調査	80	3	4	7	3	8	8	3	0	8	5	19	12
	100.0	3.8	5.0	8.8	3.8	10.0	10.0	3.8	0.0	10.0	6.3	23.8	15.0

表 1.5 「太平包括」の調査別性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調 査 対象者	計	男性						女性					
		65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	370	59	53	36	17	8	1	58	59	48	21	9	1
	100.0	15.9	14.3	9.7	4.6	2.2	0.3	15.7	15.9	13.0	5.7	2.4	0.3
在宅介護 実態調査	80	2	5	5	8	9	5	2	3	6	12	13	10
	100.0	2.5	6.3	6.3	10.0	11.3	6.3	2.5	3.8	7.5	15.0	16.3	12.5

表 1.6 「精華包括」の調査別性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調 査 対象者	計	男性						女性					
		65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	326	38	43	31	19	6	4	38	53	43	28	16	7
	100.0	11.7	13.2	9.5	5.8	1.8	1.2	11.7	16.3	13.2	8.6	4.9	2.1
在宅介護 実態調査	74	4	2	3	8	8	2	0	1	7	11	17	11
	100.0	5.4	2.7	4.1	10.8	10.8	2.7	0.0	1.4	9.5	14.9	23.0	14.9

表 1.7 「南姫包括」の調査別性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調 査 対象者	計	男性						女性					
		65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	350	49	53	39	18	9	0	45	52	53	22	7	3
	100.0	14.0	15.1	11.1	5.1	2.6	0.0	12.9	14.9	15.1	6.3	2.0	0.9
在宅介護 実態調査	57	1	2	5	8	5	0	1	2	6	9	8	10
	100.0	1.8	3.5	8.8	14.0	8.8	0.0	1.8	3.5	10.5	15.8	14.0	17.5

表 1.8 「北栄包括」の調査別性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調 査 対象者	計	男性						女性					
		65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	333	32	50	41	15	8	0	57	53	44	21	8	4
	100.0	9.6	15.0	12.3	4.5	2.4	0.0	17.1	15.9	13.2	6.3	2.4	1.2
在宅介護 実態調査	77	5	2	10	3	9	3	1	2	8	11	17	6
	100.0	6.5	2.6	13.0	3.9	11.7	3.9	1.3	2.6	10.4	14.3	22.1	7.8

表 1.9 「笠原地区」の調査別性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調 査 対象者	計	男性						女性					
		65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	351	45	42	39	17	7	0	53	65	48	28	7	0
	100.0	12.8	12.0	11.1	4.8	2.0	0.0	15.1	18.5	13.7	8.0	2.0	0.0
在宅介護 実態調査	51	0	3	3	1	2	1	0	2	8	7	11	13
	100.0	0.0	5.9	5.9	2.0	3.9	2.0	0.0	3.9	15.7	13.7	21.6	25.5

(3) 有効回答者の属性

本調査における有効回答者の属性は以下のとおりです。

① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図 1.1 調査回答者の性別

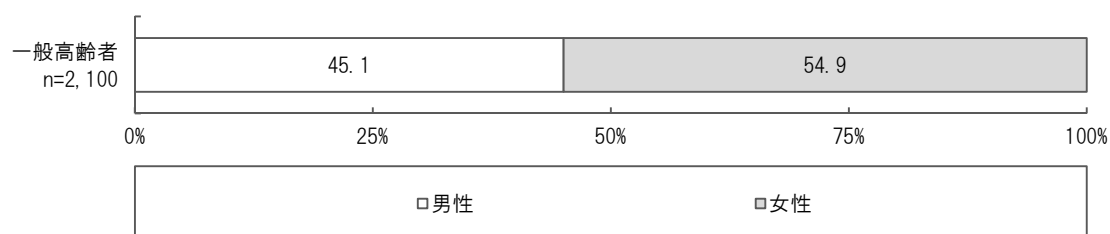


図 1.2 調査回答者の年齢

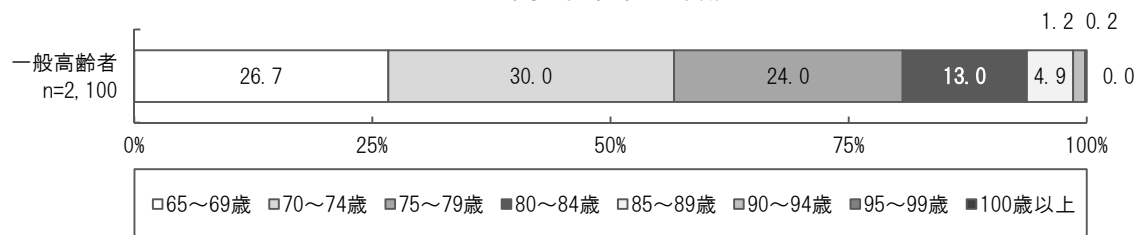
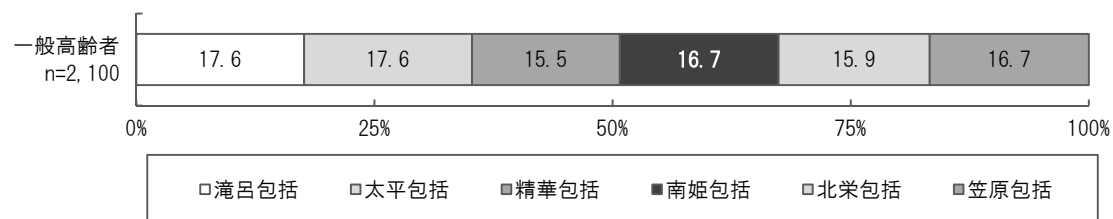


図 1.3 調査回答者の居住地区



② 在宅介護実態調査

図 1.4 調査回答者

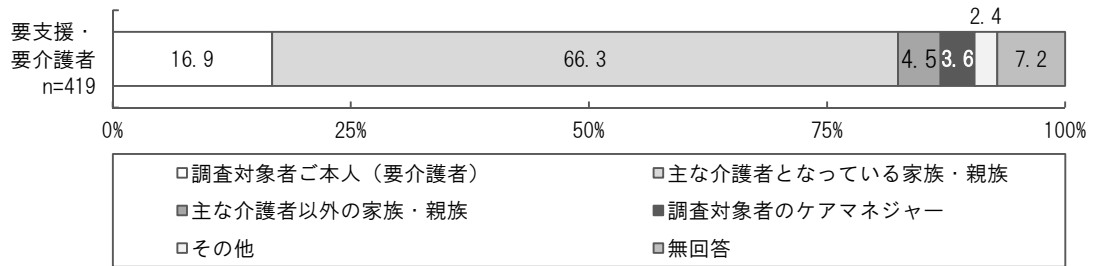


図 1.5 調査回答者の性別

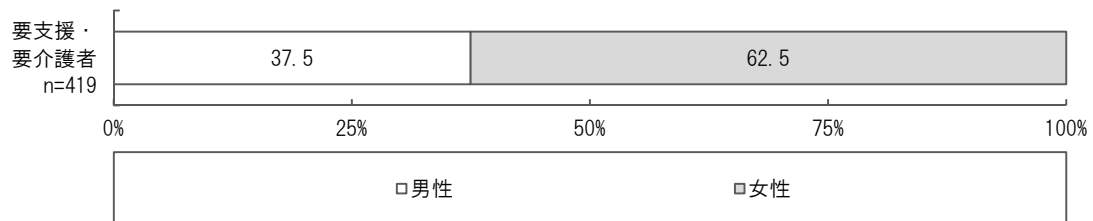


図 1.6 調査回答者の年齢

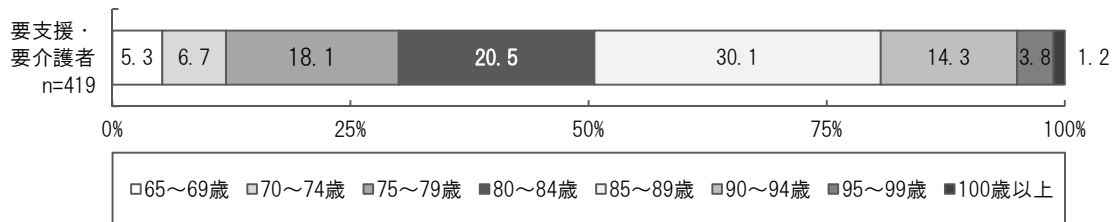
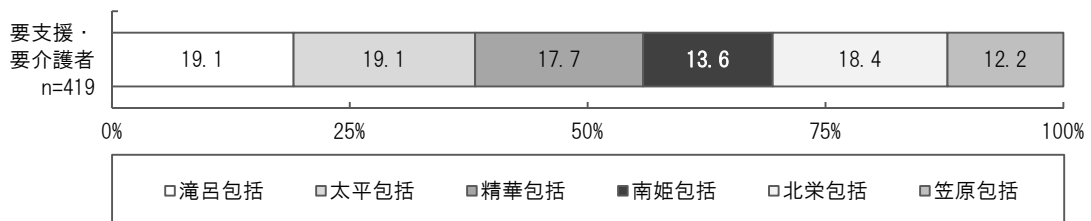


図 1.7 調査回答者の居住地区

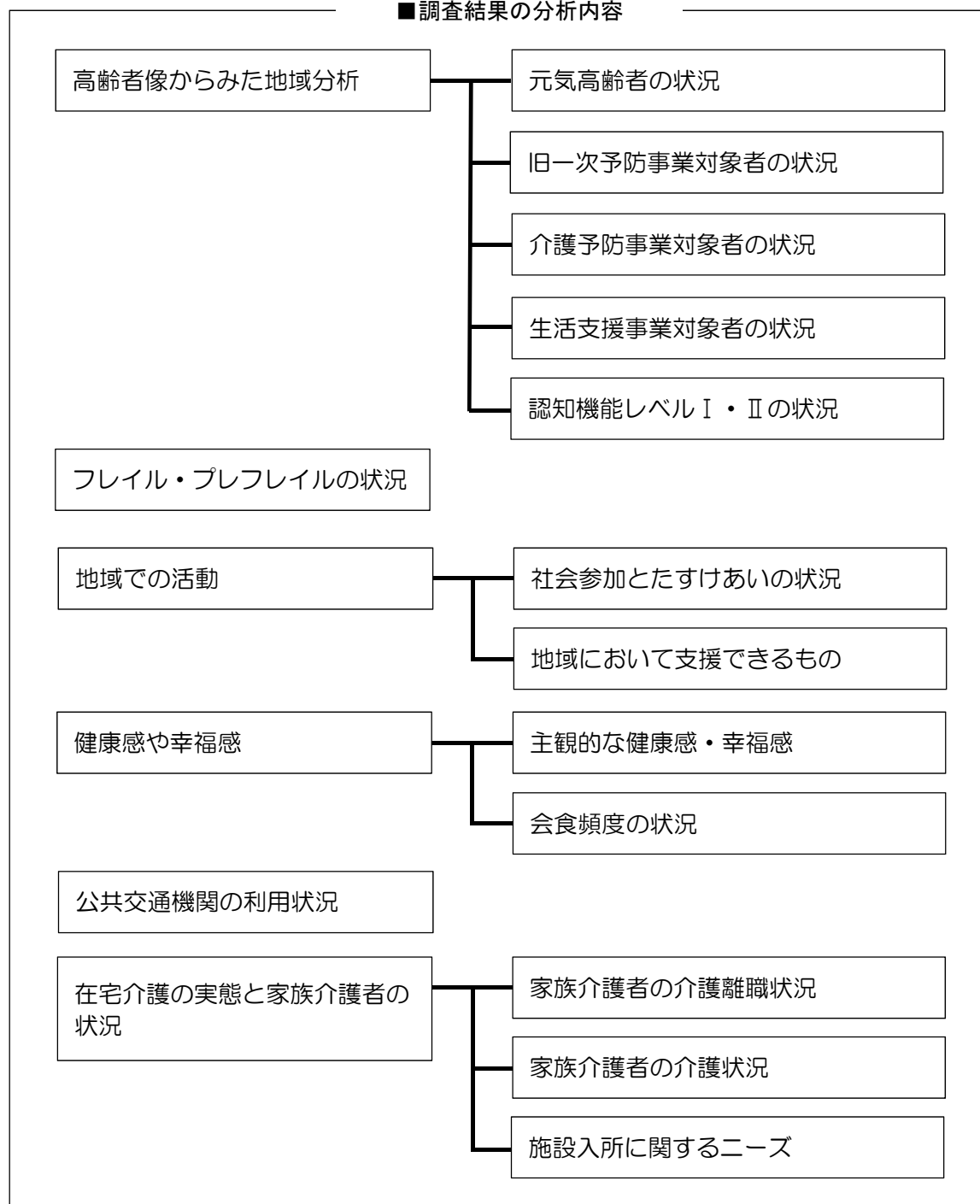


5 地域課題のまとめ

本市の地域課題の抽出にあたっては、調査結果（第4章 日常生活圏域別地域分析より）から算出した市平均値等と6つの圏域の調査結果を比較しながら少しでもマイナスとなる数値等の分析項目を抽出し、市平均値との差異を記載しています。

それぞれの分析項目に対しては、各圏域が市平均値までに改善またはそれ以上に改善ができるための施策を検討できる調査報告書として作成しました。

■調査結果の分析内容



(1)「滝呂包括」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像からみた地域分析	元気高齢者の状況	○出現率が市平均値より0.5 ^{ポイント} 低い。
	旧一次予防事業対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	介護予防事業対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より0.3 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より0.8 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より2.0 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より0.2 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「うつ傾向リスク者」の出現率が市平均値より0.1 ^{ポイント} 高い。
	生活支援事業対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より0.5 ^{ポイント} 高い。
	認知機能レベルⅠ・Ⅱの状況	○特に課題等は見当たりません。
フレイル・プレフレイルの状況		○「プレフレイル」の出現率が市平均値より1.5 ^{ポイント} 高い。
地域での活動	社会参加とたすけあいの状況	○一般高齢者で地域づくり活動への参加意向（既に参加含む）割合が市平均値より1.0 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で地域づくり活動の世話役としての参加意向（既に参加含む）割合が市平均値より1.7 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より0.2 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「趣味関係のグループ」への参加率が市平均値より0.3 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「学習・教養サークル」への参加率が市平均値より1.5 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「老人クラブ」への参加率が市平均値より0.5 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「自治会・町内会」への参加率が市平均値より1.3 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「収入のある仕事」をしている割合が市平均値より5.3 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」割合が市平均値より1.0 ^{ポイント} 高い。
	地域において支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「配食の手伝い」「見守り、声かけ」「外出時の送迎」に関する支援意向割合は市平均値より低い。
健康感や幸福感	主観的健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感が「あまりよくない」＋「よくない」の割合計は市平均値より0.4 ^{ポイント} 高い。
	会食頻度の状況	○一般高齢者で「だれかと一緒に食事することがほとんどない」方の割合は市平均値より0.4 ^{ポイント} 高い。
公共交通機関の利用状況		○特に課題等は見当たりません。
在宅介護の実態と家族介護者の状況	家族介護者の介護離職状況	○特に課題等は見当たりません。

	家族介護者の介護状況	○継続就労者が在宅介護継続において不安に思う身体介護は「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」の割合が市平均値より高い。
	施設入所に関するニーズ	○特に課題等は見当たりません。

(2)「太平包括」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像からみた地域分析	元気高齢者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	旧一次予防事業対象者の状況	○出現率が市平均値より 0.9 ^{ポイント} 低い。
	介護予防事業対象者の状況	○一般高齢者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より 0.3 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より 2.2 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より 0.7 高い。
	生活支援事業対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	認知機能レベルⅠ・Ⅱの状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より 1.0 ^{ポイント} 高い。
フレイル・プレフレイルの状況		○「フレイル」の出現率が市平均値より 2.5 ^{ポイント} 高い。
地域での活動	社会参加と趣味や生きがい	○一般高齢者で「介護予防のための通いの場」への参加率が市平均値より 2.1 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「老人クラブ」への参加率が市平均値より 1.3 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」割合が市平均値より 0.8 ^{ポイント} 高い。
	地域において支援できるもの	○特に課題等は見当たりません。
健康感や幸福感	主観的健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感が「あまりよくない」＋「よくない」の割合計は市平均値より 0.6 ^{ポイント} 高い。
	会食頻度の状況	○一般高齢者で「だれかと一緒に食事することがほとんどない」方の割合は市平均値より 0.1 ^{ポイント} 高い。
公共交通機関の利用状況		○特に課題等は見当たりません。
在宅介護の実態と家族介護者の状況	家族介護者の介護離職状況	○介護離職者の出現率は市平均値より 9.4 ^{ポイント} 高い。
	家族介護者の介護状況	○継続就労者が在宅介護継続において不安に思う身体介護は「日中の排泄」「入浴・洗身」「屋内での移乗・移動」「認知症状への対応」の割合が市平均値より高い。 ○継続就労者が在宅介護継続において不安に思う生活援助は「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が市平均値より高い。

	施設入所に 関するニーズ	○特に課題等は見当たりません。
--	-----------------	-----------------

(3)「精華包括」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○出現率が市平均値より 0.6 ^{ポイント} 低い。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より 1.4 ^{ポイント} 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者で出現率が市平均値より 1.3 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より 2.4 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「低栄養の傾向リスク者」の出現率が市平均値より 0.5 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より 0.4 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より 0.8 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「うつ傾向リスク者」の出現率が市平均値より 3.0 ^{ポイント} 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	認知機能レベル Ⅰ・Ⅱの状況	○特に課題等は見当たりません。
フレイル・プレフレイルの状況		○「プレフレイル」の出現率が市平均値より 3.3 ^{ポイント} 高い。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者で地域づくり活動の世話役としての参加（既に参加含む）割合が市平均値より 0.4 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より 0.9 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が市平均値より 1.8 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「趣味関係のグループ」への参加率が市平均値より 3.1 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「介護予防のための通いの場」への参加率が市平均値より 1.6 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「老人クラブ」への参加率が市平均値より 0.2 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「収入のある仕事」をしている割合が市平均値より 0.9 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「心配ごとや愚痴を聞いてくれる人はいない」割合が市平均値より 0.7 ^{ポイント} 高い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「配食の手伝い」「買い物代行」「外出同行（通院、散歩など）」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」「サロンなど、通いの場のサポート」「外出時の送迎」に関する支援意向割合は市平均値より低い。
健康感や 幸福感	主観的 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感が「あまりよくない」＋「よくない」の割合計は市平均値より 0.1 ^{ポイント} 高い。

	会食頻度の状況	○特に課題等は見当たりません。
	公共交通機関の利用状況	○特に課題等は見当たりません。
在宅介護の実態と家族介護者の状況	家族介護者の介護離職状況	○介護離職者の出現率は市平均値より 7.0 ^{ポイント} 高い。
	家族介護者の介護状況	○継続就労者が在宅介護継続において不安に思う身体介護は「食事の介助（食べる時）」「服薬」の割合が市平均値より高い。 ○継続就労者が在宅介護継続において不安に思う生活援助は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が市平均値より高い。
	施設入所に関するニーズ	○特に課題等は見当たりません。

（４）「南姫包括」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像からみた地域分析	元気高齢者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	旧一次予防事業対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	介護予防事業対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	生活支援事業対象者の状況	○一般高齢者で出現率が市平均値より 0.1 ^{ポイント} 高い。
	認知機能レベルⅠ・Ⅱの状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より 0.8 ^{ポイント} 高い。
フレイル・プレフレイルの状況		○特に課題等は見当たりません。
地域での活動	社会参加と趣味や生きがい	○一般高齢者で地域づくり活動への参加意向（既に参加含む）割合が市平均値より 2.1 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で地域づくり活動の世話役としての参加意向（既に参加含む）割合が市平均値より 0.5 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が市平均値より 0.2 ^{ポイント} 低い。
	地域において支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「配食の手伝い」「調理」「買い物代行」「外出同行（通院、散歩など）」に関する支援意向割合は市平均値より低い。
健康感や幸福感	主観的健康感・幸福感	○特に課題等は見当たりません。
	会食頻度の状況	○特に課題等は見当たりません。
公共交通機関の利用状況		○一般高齢者の公共交通利用率が市平均値より 2.0 ^{ポイント} 低い。
在宅介護の実態と家族介護者の状況	家族介護者の介護離職状況	○特に課題等は見当たりません。
	家族介護者の介護状況	○継続就労者が在宅介護継続において不安に思う身体介護は「夜中の排泄」「入浴・洗身」「身だしなみ（洗顔・

		歯磨き等)」「衣服の着脱」「外出の付き添い、送迎等」の割合が市平均値より高い。
	施設入所に 関するニーズ	○特に課題等は見当たりません。

(5)「北栄包括」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○出現率が市平均値より 1.3 ^{ポイント} 低い。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が市平均値より 0.1 ^{ポイント} 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より 2.0 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より 3.8 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「うつ傾向リスク者」の出現率が市平均値より 2.7 ^{ポイント} 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より 5.2 ^{ポイント} 高い。
	認知機能レベル I・IIの状況	○特に課題等は見当たりません。
フレイル・プレフレイルの状況		○「フレイル」の出現率が市平均値より 1.0 ^{ポイント} 高い。
地域での活動	社会参加と 趣味や生きがい	○一般高齢者の地域づくり活動への参加意向（既に参加含む）割合が市平均値より 0.7 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より 0.5 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が市平均値より 0.7 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」割合が市平均値より 0.5 ^{ポイント} 高い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「調理」「掃除・洗濯」「買い物代行」「外出同行（通院、散歩など）」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」「外出時の送迎」に関する支援意向割合は市平均値より低い。
健康感や 幸福感	主観的 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感が「あまりよくない」＋「よくない」の割合は市平均値より 3.3 ^{ポイント} 高い。
	会食頻度の状況	○特に課題等は見当たりません。
公共交通機関の利用状況		○一般高齢者の公共交通利用率が市平均値より 2.4 ^{ポイント} 低い。
在宅介護の 実態と家族 介護者の状況	家族介護者の 介護離職状況	○特に課題等は見当たりません。
	家族介護者の 介護状況	○継続就労者が在宅介護継続において不安に思う身体介護は「日中の排泄」「夜中の排泄」「食事の介助（食べる時）」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「衣服の着脱」「屋内での移乗・移動」「服薬」「医療面での対応（管理栄養、ストーマ等）」の割合が市平均値より高い。 ○継続就労者が在宅介護継続において不安に思う生活援助は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭

		管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が市平均値より高い。
	施設入所に関するニーズ	○施設等への入所・入居を検討及び予定をしている割合は市平均値より 5.0 ^{ポイント} 高い。

(6)「笠原包括」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像からみた地域分析	元気高齢者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	旧一次予防事業対象者の状況	○出現率が市平均値より 1.9 ^{ポイント} 低い。
	介護予防事業対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より 1.5 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より 0.9 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「低栄養の傾向リスク者」の出現率が市平均値より 0.2 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「口腔機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より 0.9 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より 4.1 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が市平均値より 5.9 ^{ポイント} 高い。
	生活支援事業対象者の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より 0.5 ^{ポイント} 高い。
	認知機能レベル I・II の状況	○一般高齢者の出現率が市平均値より 1.1 ^{ポイント} 高い。
フレイル・プレフレイルの状況		○「フレイル」の出現率が市平均値より 2.0 ^{ポイント} 高い。
地域での活動	社会参加と趣味や生きがい	○一般高齢者で地域づくり活動への参加意向（既に参加含む）割合が市平均値より 5.9 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で地域づくり活動の世話役としての参加意向（既に参加含む）割合が市平均値より 1.1 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が市平均値より 0.6 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「趣味関係のグループ」への参加率が市平均値より 6.1 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「学習・教養サークル」への参加率が市平均値より 2.9 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「自治会・町内会」への参加率が市平均値より 1.9 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「心配ごとや愚痴を聞いてくれる人はいない」割合が市平均値より 1.0 ^{ポイント} 高い。
	地域において支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「配食の手伝い」「調理」「掃除・洗濯」「サロンなど、通いの場のサポート」に関する支援意向割合は市平均値より低い。
健康感や幸福感	主観的健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感の平均点数は市平均点より 0.1 点低い。
	会食頻度の状況	○一般高齢者で「だれかと一緒に食事することがほとんどない」方の割合は市平均値より 1.6 ^{ポイント} 高い。

公共交通機関の利用状況		○一般高齢者の公共交通利用率が市平均値より 5.8 ^{ポイント} 低い。
在宅介護の実態と家族介護者の状況	家族介護者の介護離職状況	○介護離職者の出現率は市平均値より 2.0 ^{ポイント} 高い。
	家族介護者の介護状況	○継続就労者が在宅介護継続において不安に思う身体介護は「夜中の排泄」「食事の介助（食べる時）」「屋内での移乗・移動」「認知症状への対応」の割合が市平均値より高い。 ○継続就労者が在宅介護継続において不安に思う生活援助は「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が市平均値より高い。
	施設入所に関するニーズ	○施設等への入所・入居を検討及び予定をしている割合は市平均値より 9.7 ^{ポイント} 高い。

第2章

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果

（一般高齢者）

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

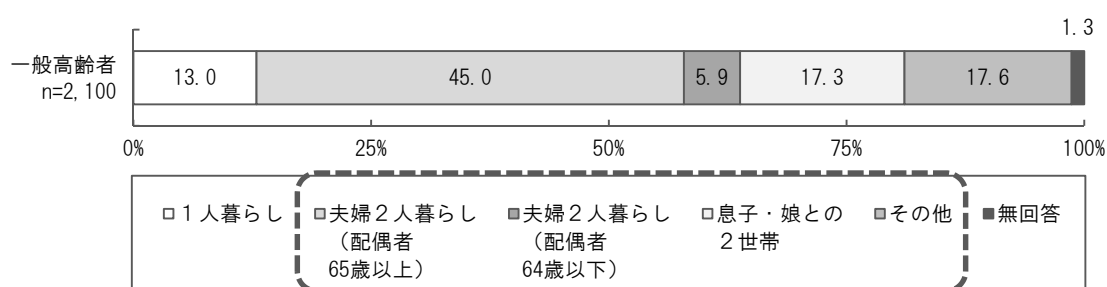
1 家族構成や生活状況について

(1) 家族構成及び昼間独居者の状況

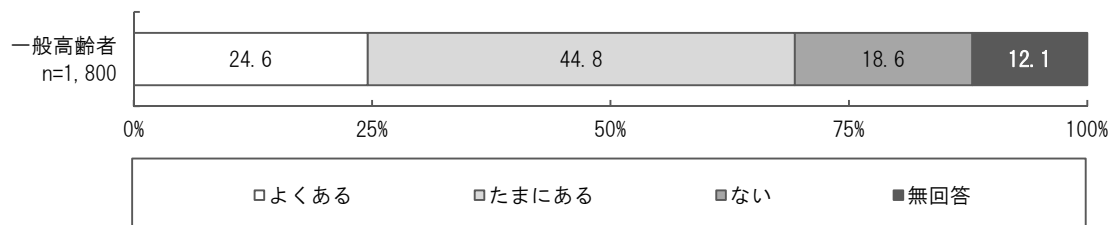
○家族構成をみると、「その他」(17.6%)を除くと、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(45.0%)が最も高く、次いで、「息子・娘との2世帯」(17.3%)、「1人暮らし」(13.0%)となっています。

○日中に1人になることがあるかをみると、「よくある」(24.6%)と「たまにある」(44.8%)を合わせた69.4%が、日中1人になることがあると回答しています。

問1-(1) 家族構成



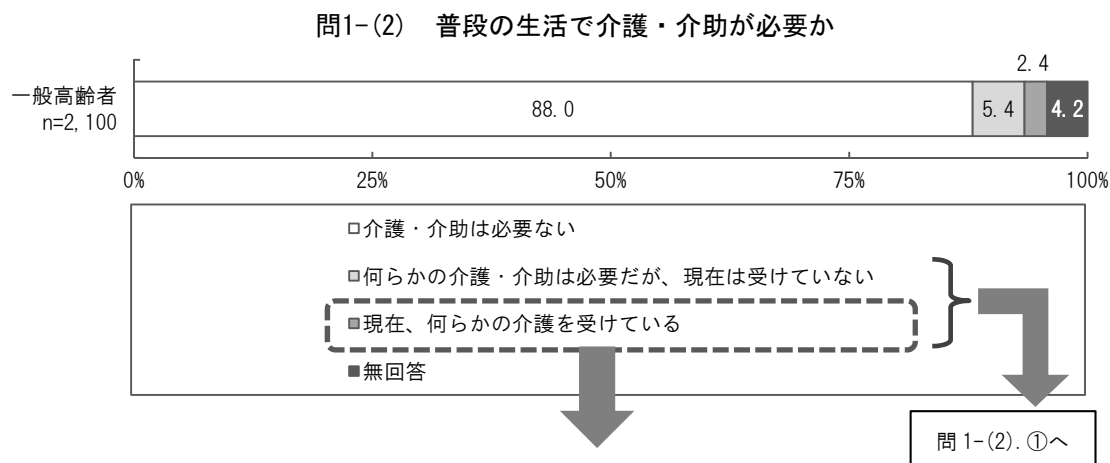
問1-(1).① 日中、1人になることがあるか



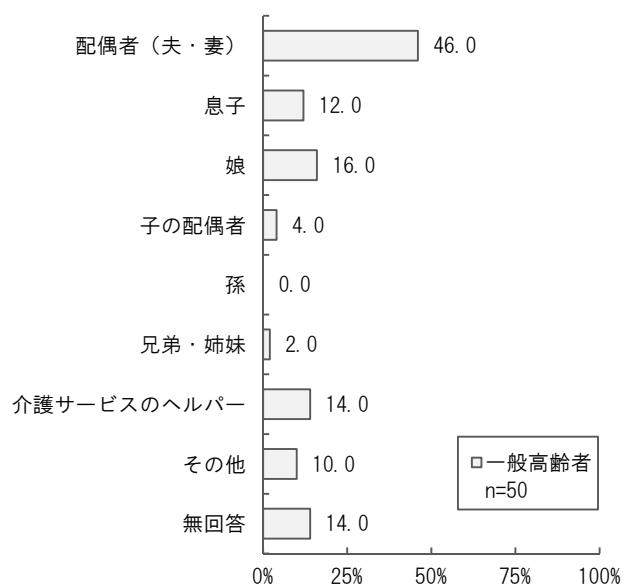
（２）日常生活における介護（介助）の状況

○普段の生活における介護・介助の状況をみると、「介護・介助は必要ない」（88.0％）が最も高くなっています。

○介護・介助をしてくれる人をみると、「配偶者（夫・妻）」（46.0％）が最も高く、次いで「娘」（16.0％）、「介護サービスのヘルパー」（14.0％）、「息子」（12.0％）となっています。

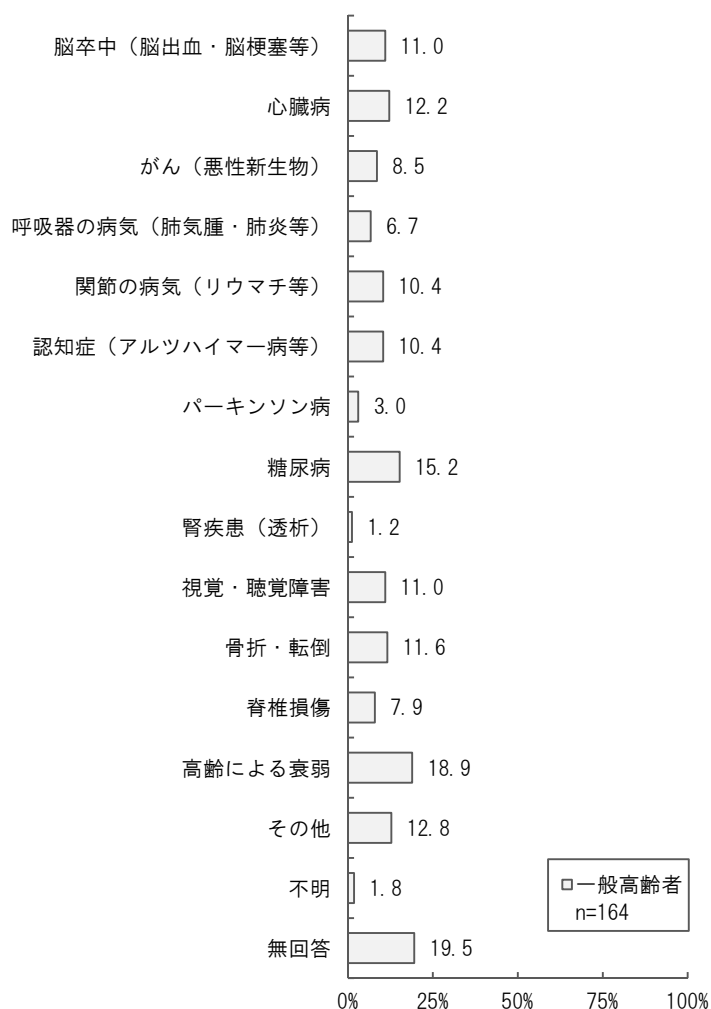


問1-(2). ② 介護・介助をしてくれる人



○介護・介助が必要になった主な原因をみると、「高齢による衰弱」(18.9%)が最も高く、次いで「糖尿病」(15.2%)、「その他」(12.8%)、「心臓病」(12.2%)、「骨折・転倒」(11.6%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(11.0%)、「視覚・聴覚障害」(各11.0%)となっています。

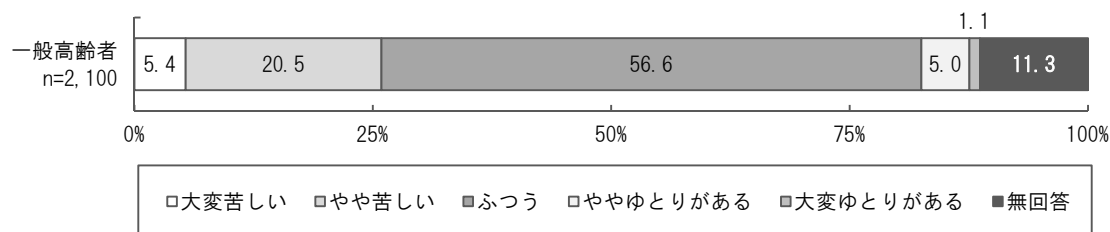
問1-(2).① 介護・介助が必要になった主な原因



（３）現在の経済状況

○現在の暮らしの経済的状況をみると、「ふつう」（56.6%）が最も高く、次いで「やや苦しい」（20.5%）、「大変苦しい」（5.4%）となっています。

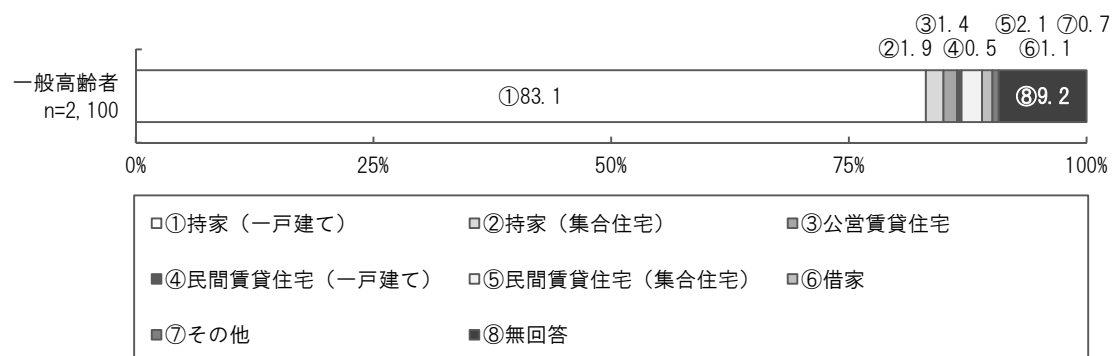
問1-(3) 現在の暮らしの経済的状況



（４）現在の住居環境

○現在暮らしている家の状況では、「持家（一戸建て）」が約8割となっています。

問1-(4) 現在の暮らしている家の状況



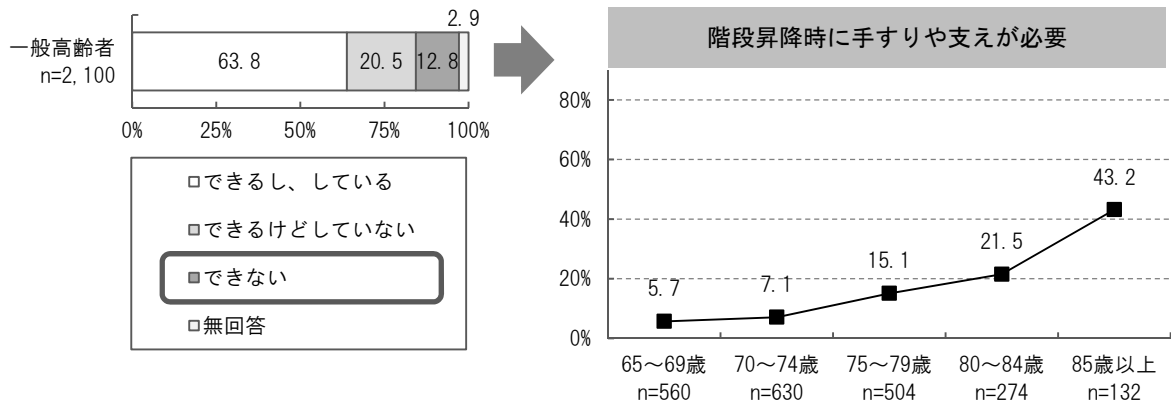
2 からだを動かすことについて

(1) 運動機能の状況

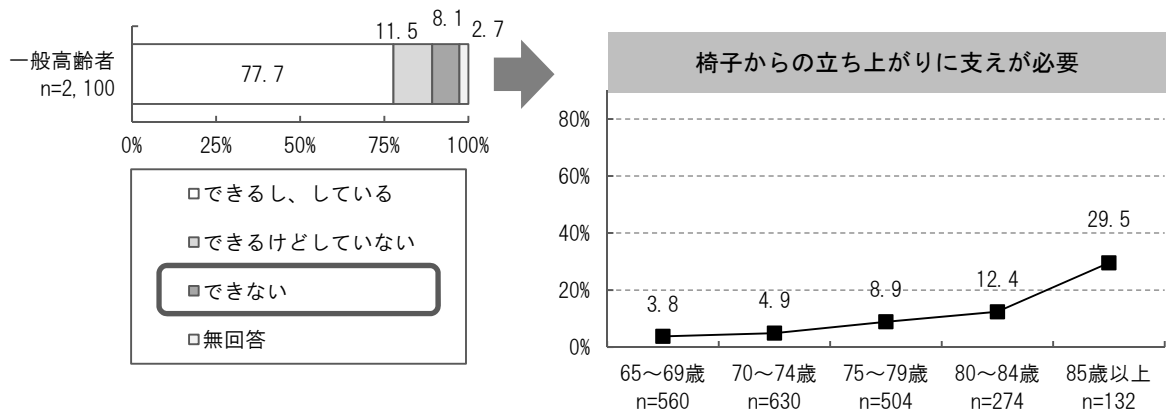
○階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができない方は12.8%となっています。年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっており、特に85歳以上で高くなっています。

○椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができない方は8.1%となっています。年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっていきます。

問2-(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるか



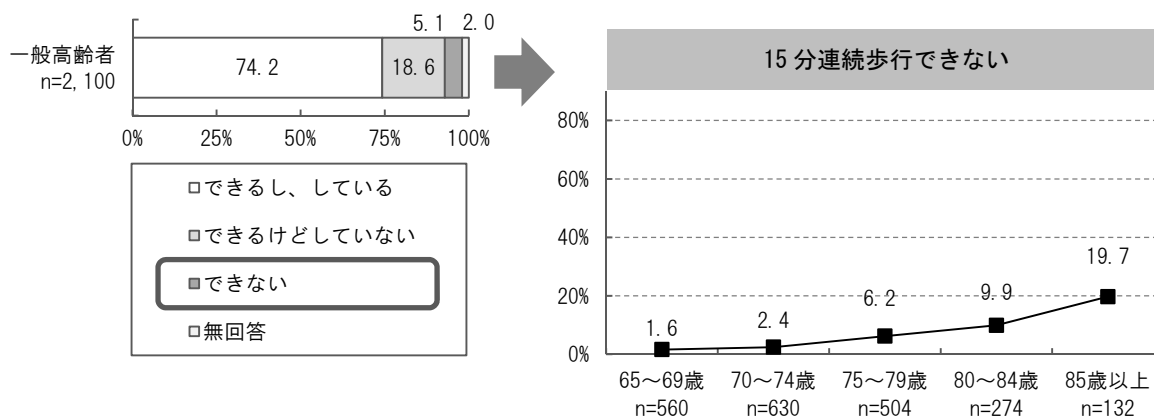
問2-(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるか



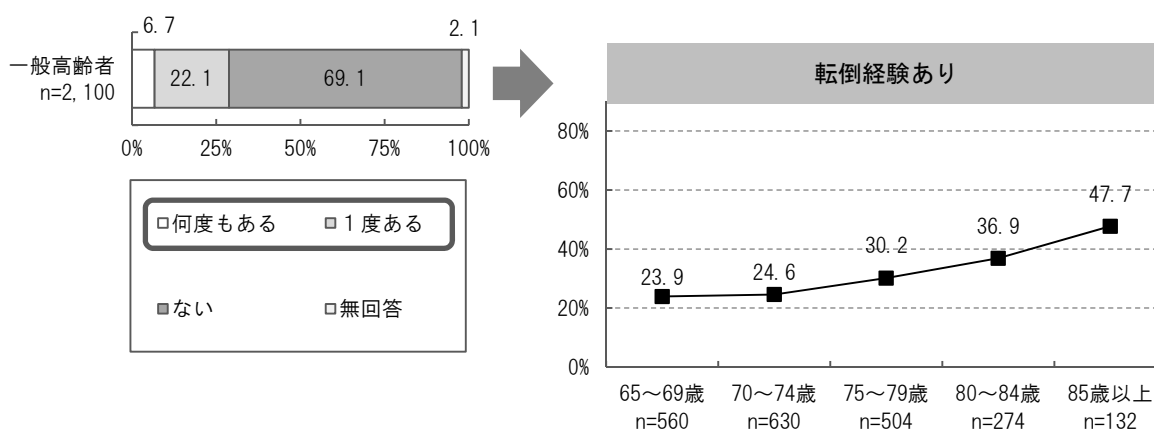
○15分位続けて歩くことができない方は5.1%となっており、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

○過去1年間に転んだ経験の頻度をみると、「何度もある」(6.7%)と「1度ある」(22.1%)を合わせた28.8%が経験ありと回答しており、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

問2-(3) 15分位続けて歩くことができるか



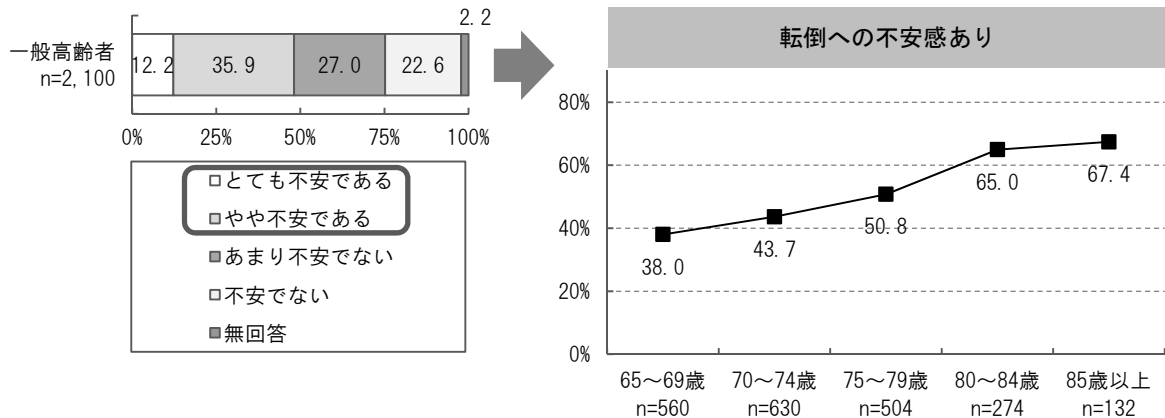
問2-(4) 過去1年間に転んだ経験の頻度



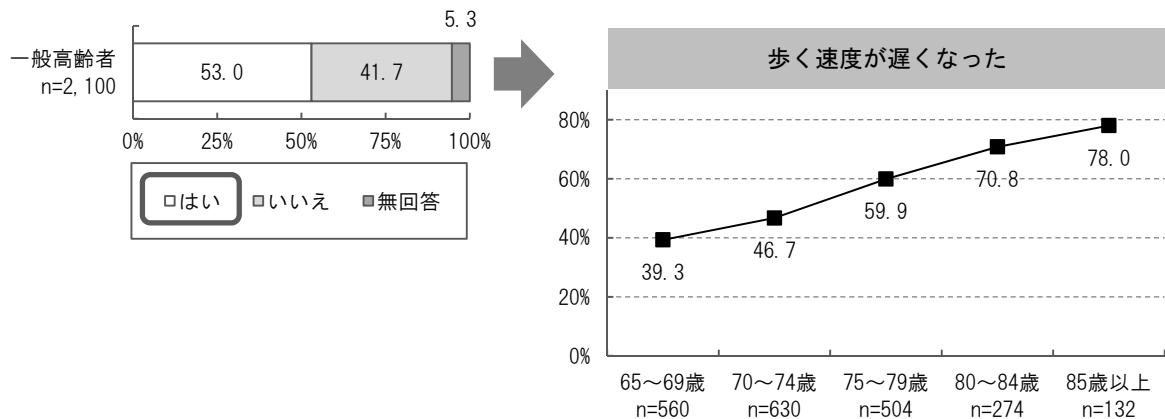
○転倒に対しての不安の有無をみると、「とても不安である」（12.2%）と「やや不安である」（35.9%）を合わせた48.1%が不安であると回答しており、年齢階級別にみると80歳以上で割合が高くなっています。

○以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思う方は53.0%となっています。年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

問2-(5) 転倒に対して不安はあるか



問2-(11) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うか

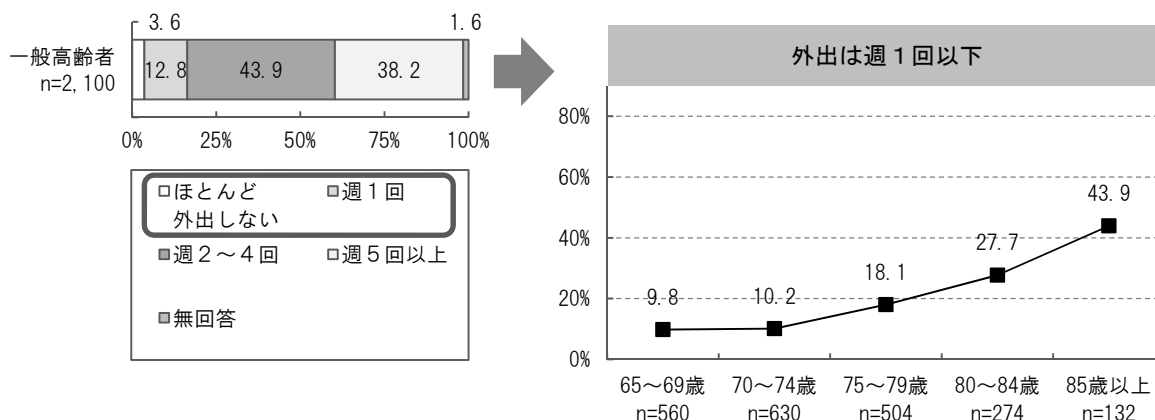


(2) 外出の状況

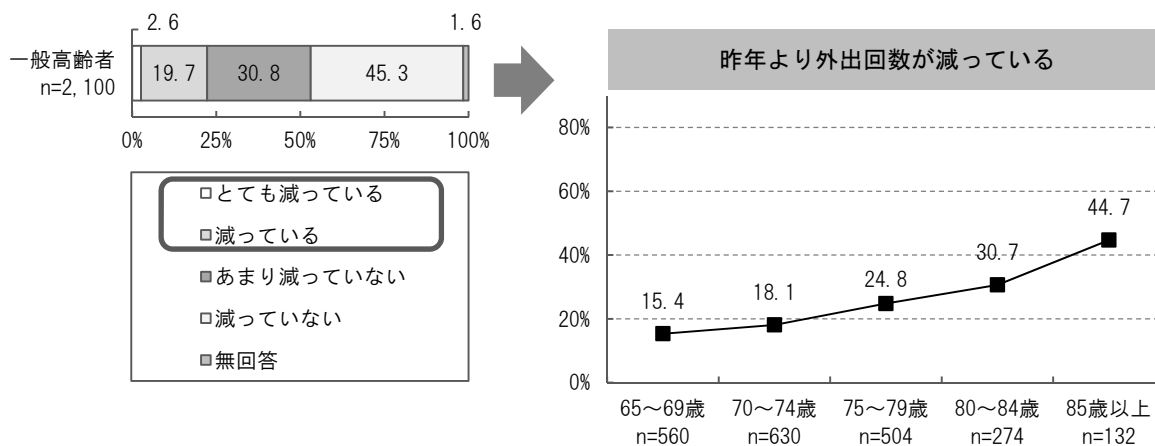
○週に1回以上の外出の有無をみると、「ほとんど外出しない」(3.6%)と「週1回」(12.8%)を合わせた16.4%が外出は週1回以下と回答しています。年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっており、85歳以上で特に高くなっています。

○昨年と比べた外出頻度をみると、「とても減っている」(2.6%)と「減っている」(19.7%)を合わせた22.3%が外出が減っていると回答しており、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっており、85歳以上で特に高くなっています。

問2-(6) 週当たりの外出頻度



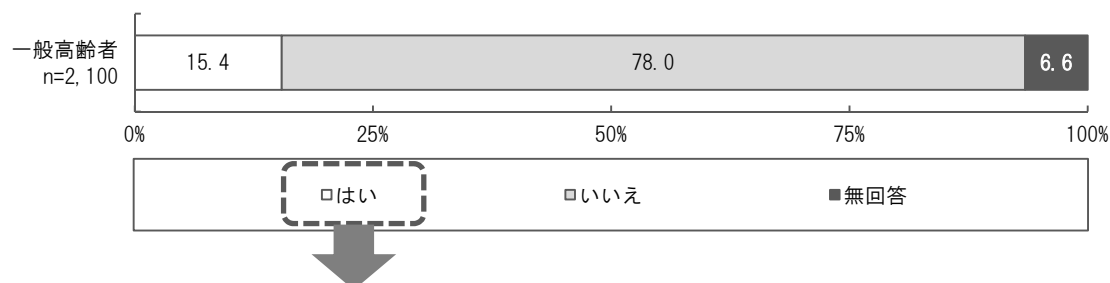
問2-(7) 昨年と比べた外出頻度



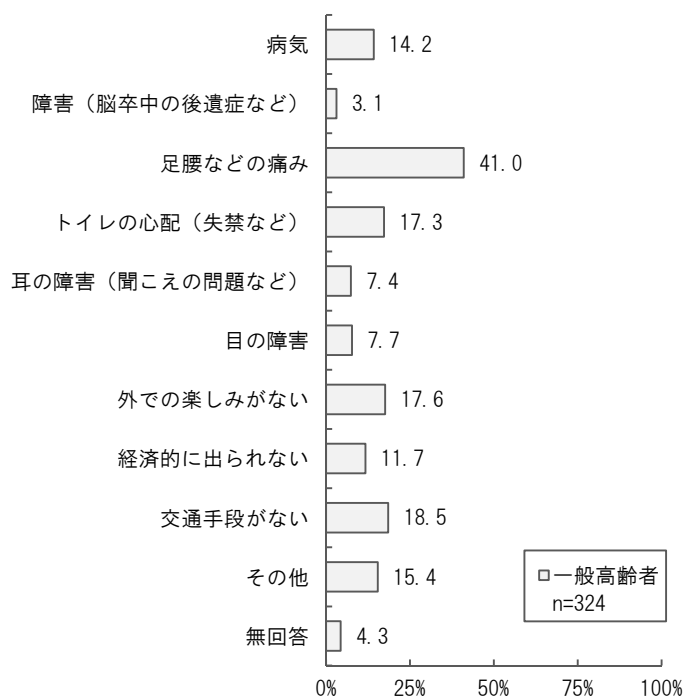
○外出を控えている方は15.4%となっています。

○外出を控えている理由をみると、「足腰などの痛み」(41.0%)が最も高く、次いで「交通手段がない」(18.5%)、「外での楽しみがない」(17.6%)、「トイレの心配(失禁など)」(17.3%)となっています。

問2-(8) 外出を控えているか



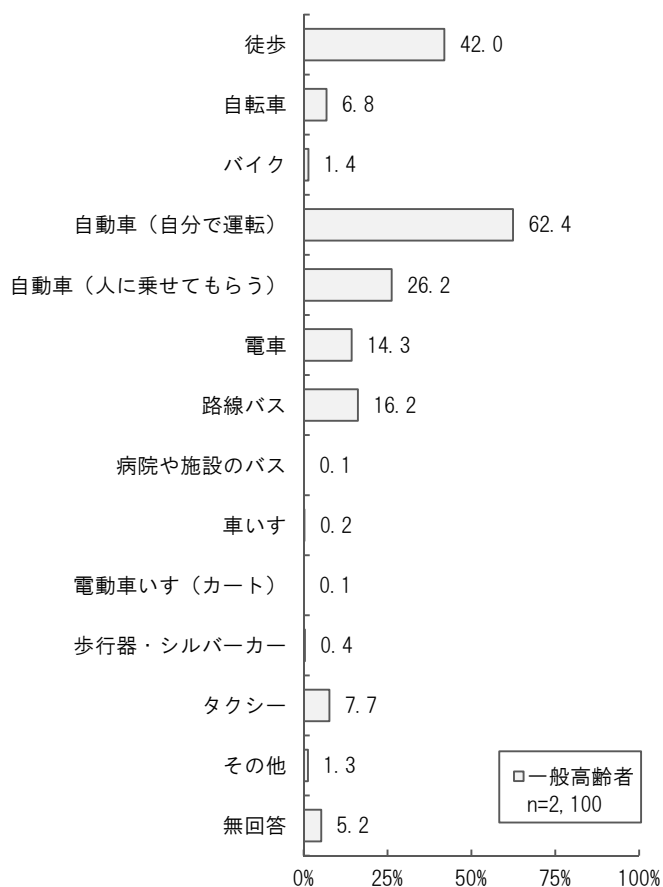
問2-(8).① 外出を控えている理由



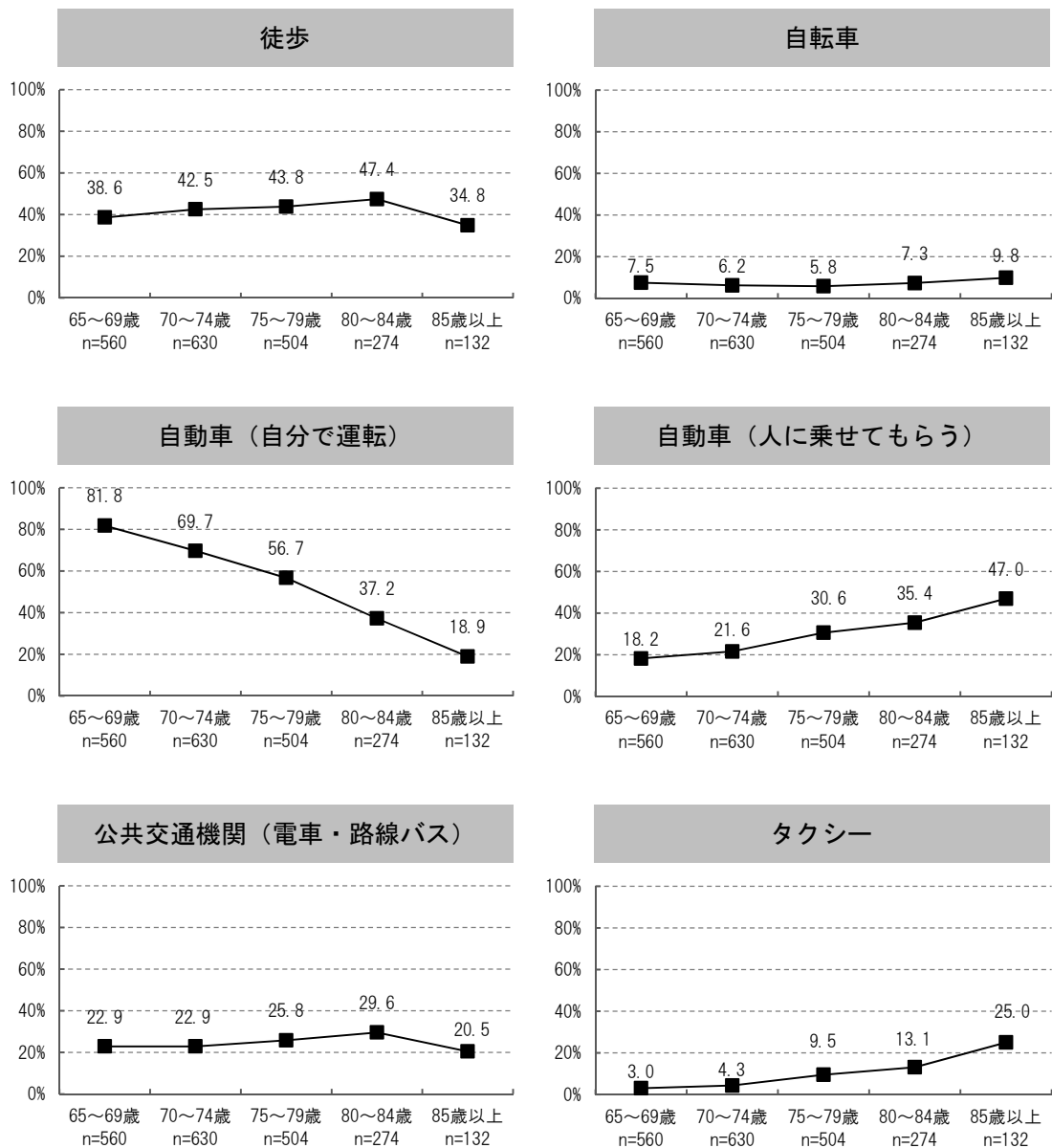
○外出する際の移動手段では、「自動車（自分で運転）」（62.4%）が最も高く、次いで「徒歩」（42.0%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（26.2%）となっています。

○外出する際の移動手段を割合の高いものを中心に年齢階級別にみると、「自動車（自分で運転）」では加齢とともに割合が低くなっている一方で、「自動車（人に乗せてもらう）」では加齢とともに割合が高くなっています。「タクシー」では85歳以上の割合が高くなっています。

問2-(9) 外出する際の移動手段



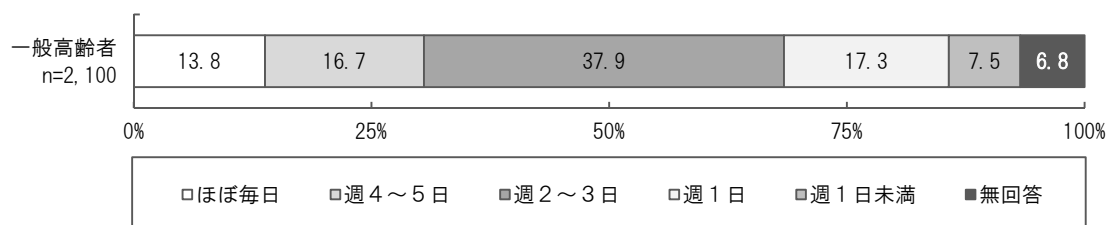
問2-(9) 年齢階級別移動手段



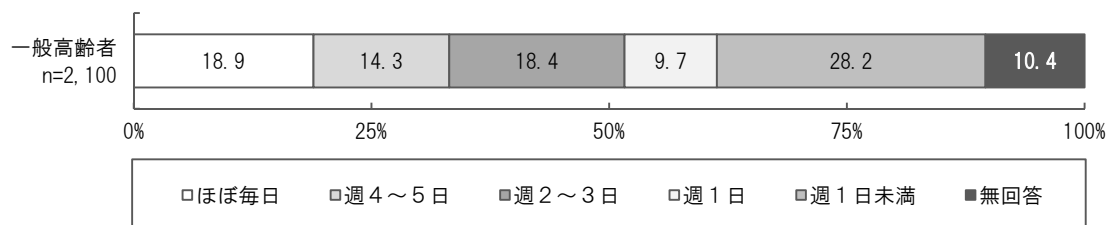
○買物で外出する頻度をみると、「週2～3日」(37.9%)が最も高く、次いで「週1日」(17.3%)、「週4～5日」(16.7%)となっています。

○散歩で外出する頻度では、「週1日未満」(28.2%)が最も高く、次いで「ほぼ毎日」(18.9%)、「週2～3日」(18.4%)となっています。

問2-(10).① 買物で外出する頻度



問2-(10).② 散歩で外出する頻度



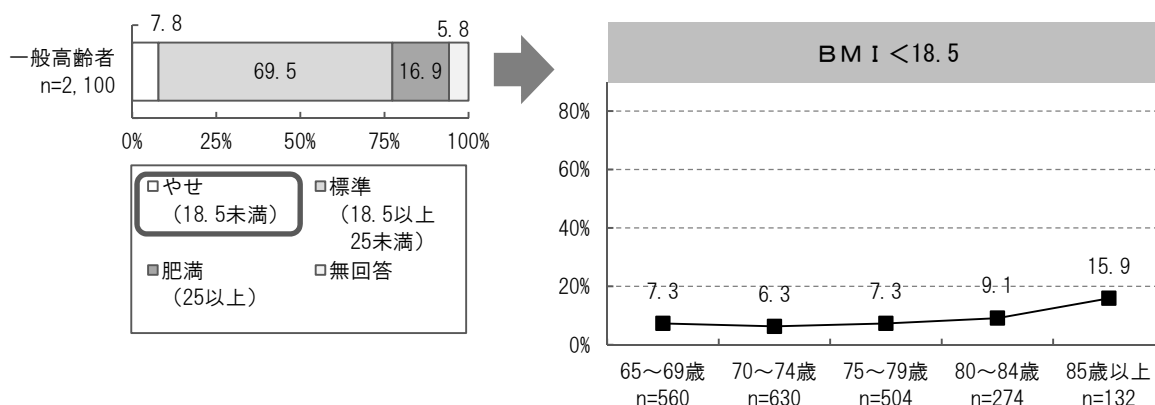
3 食べることについて

(1) 体格指数（BMI）等の状況

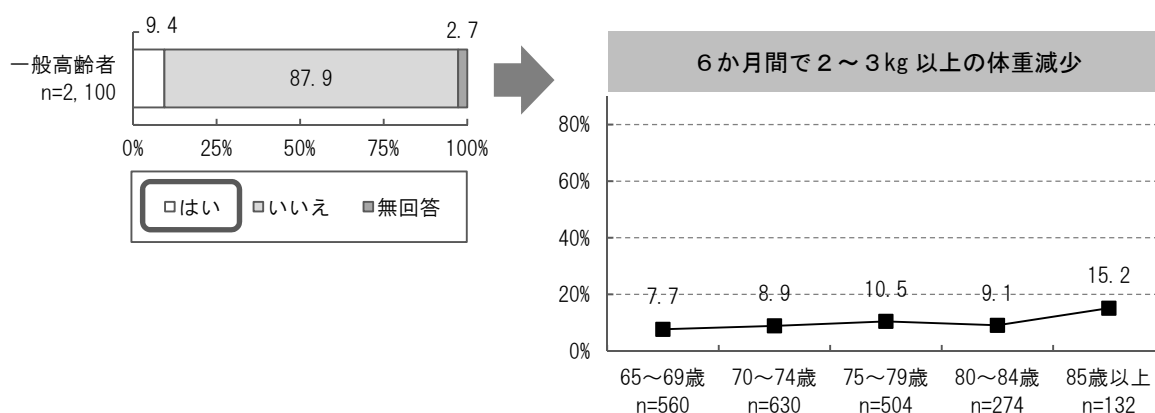
○高齢者の肥満状況をBMI指数でみると、「やせ（18.5未満）」の方が7.8%となり、年齢階級別にみると85歳以上の割合がやや高くなっています。

○6か月間で2～3kg以上の体重減少があった方は9.4%となっており、年齢階級別にみると85歳以上の割合がやや高くなっています。

問3-(1) BMI 指数



問3-(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか



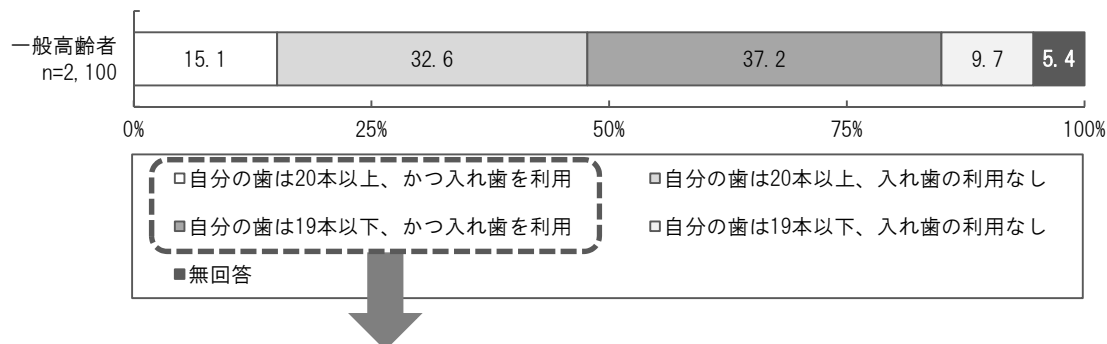
(2) 歯・口腔の状況

○歯の数と入れ歯の利用状況をみると、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(15.1%)と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(37.2%)を合わせた52.3%が入れ歯を利用していると回答しています。

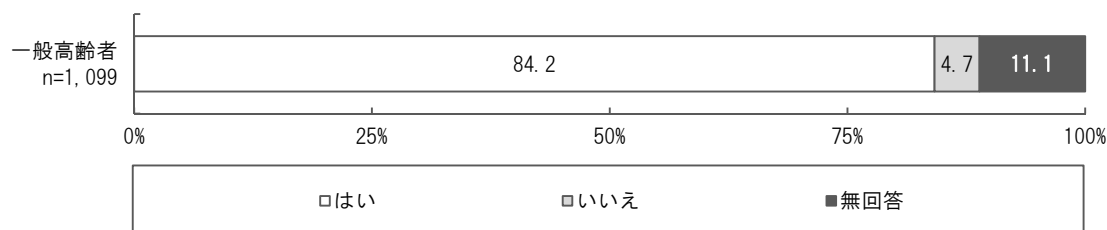
○毎日入れ歯の手入れをしている方は84.2%となっています。

○噛み合わせが良いと回答した方は77.6%となっています。

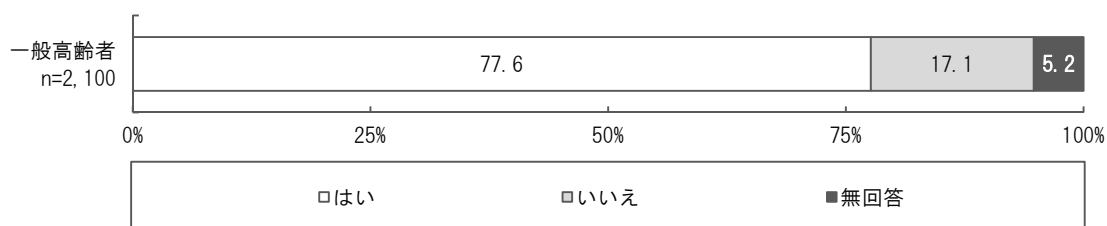
問3-(3) 歯の数と入れ歯の利用状況



問3-(3).① 毎日入れ歯の手入れをしているか



問3-(3).② 噛み合わせは良いか

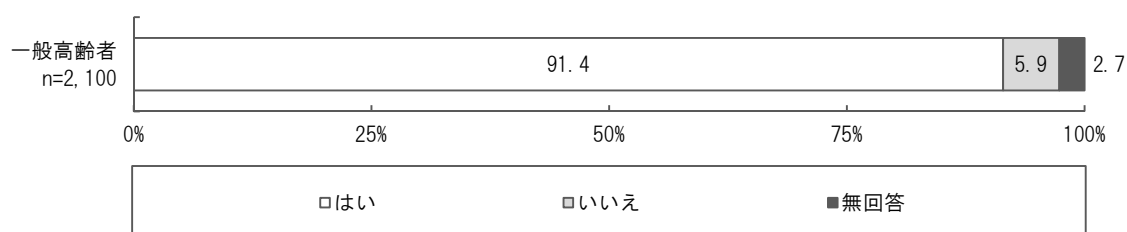


○歯磨きを毎日している方は91.4%となっています。

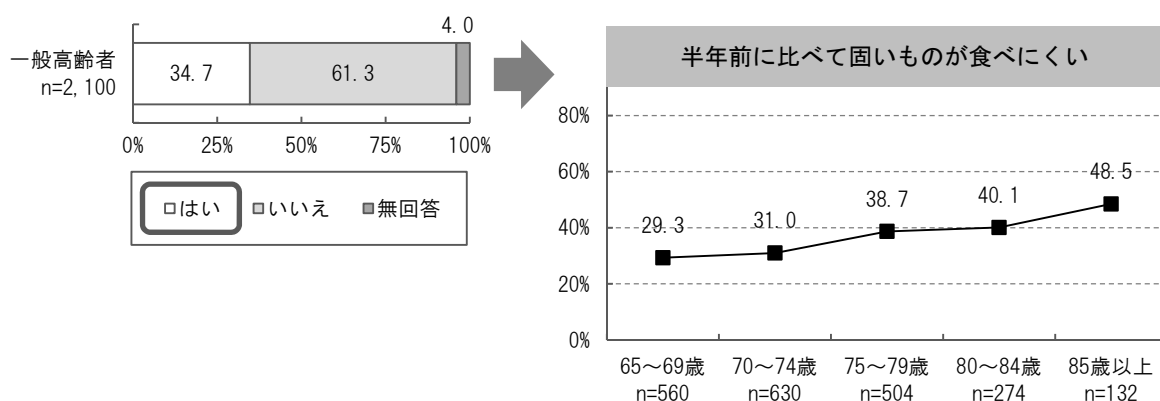
○半年前に比べて固いものが食べにくくなった方は34.7%となっており、年齢階級別に見ると加齢とともに割合が高くなっています。

○お茶や汁物等でむせることがある方は21.5%となっており、年齢階級別に見ると80～84歳の割合がやや高くなっています。

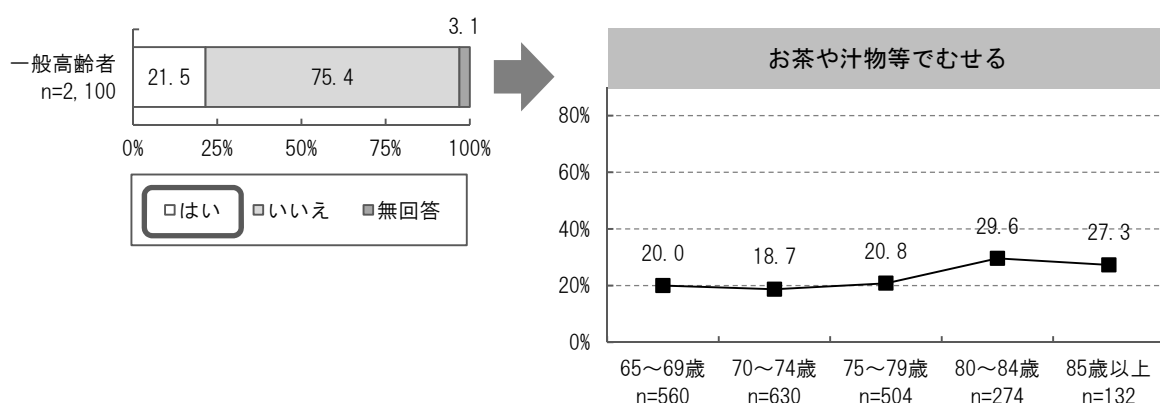
問3-(7) 歯磨きを毎日しているか



問3-(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなった

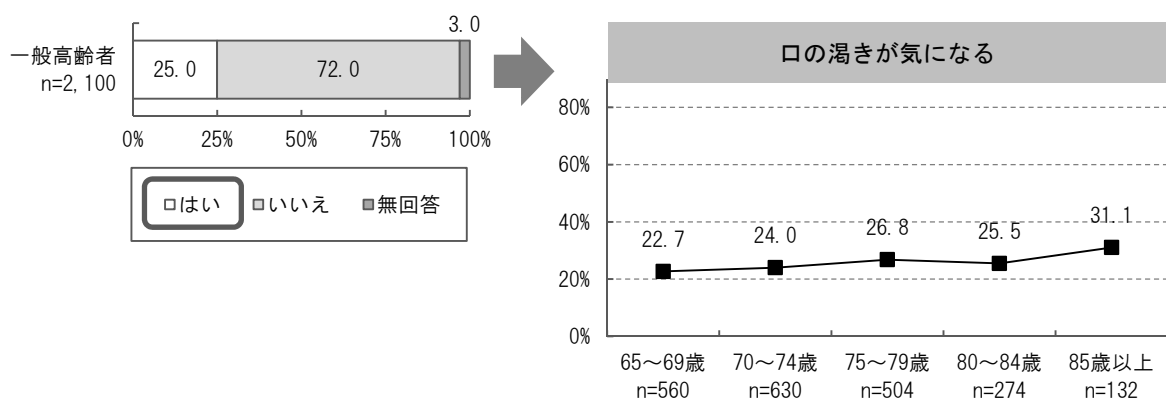


問3-(5) お茶や汁物等でむせることがあるか



〇口の渇きが気になる方は25.0%となっており、年齢階級別にみると85歳以上で割合がやや高くなっています。

問3-(6) 口の渇きが気になるか



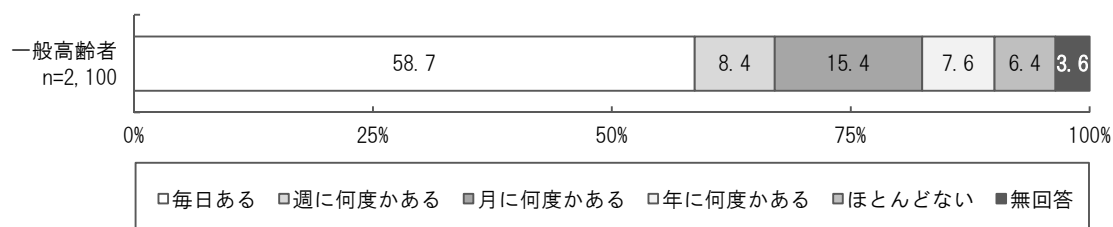
(3) 食事の状況

〇どなたかと食事をとにもする機会の有無をみると、「毎日ある」(58.7%)が最も高く、「ほとんどない」と回答した方は1割以下となっています。

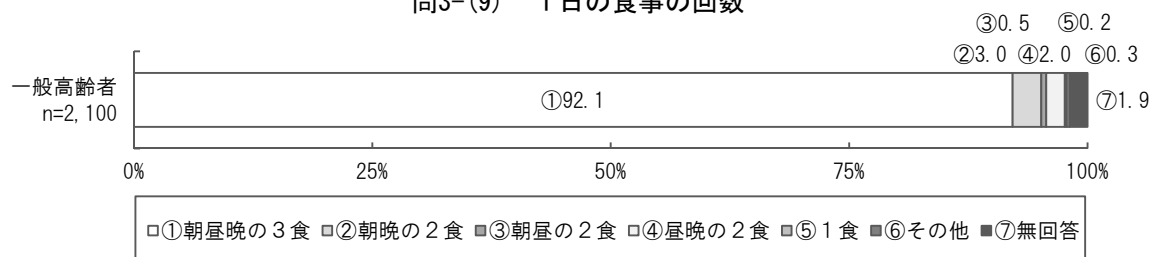
〇1日の食事の回数では、「朝昼晩の3食」が9割以上となっています。

〇食事は自分で食べられるかでは、「できる」が9割以上となっています。

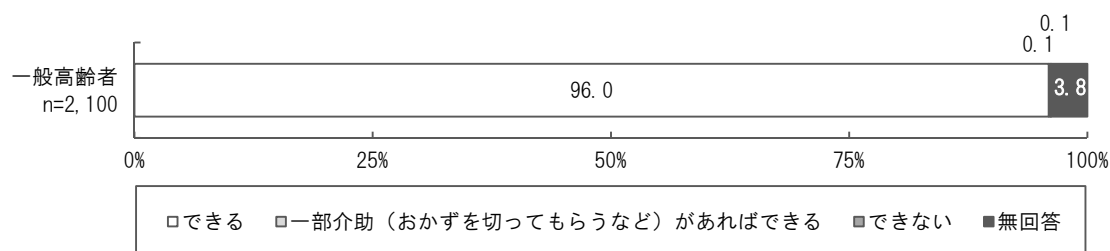
問3-(4) どなたかと食事をとにもする機会



問3-(9) 1日の食事の回数



問4-(22) 食事は自分で食べられるか

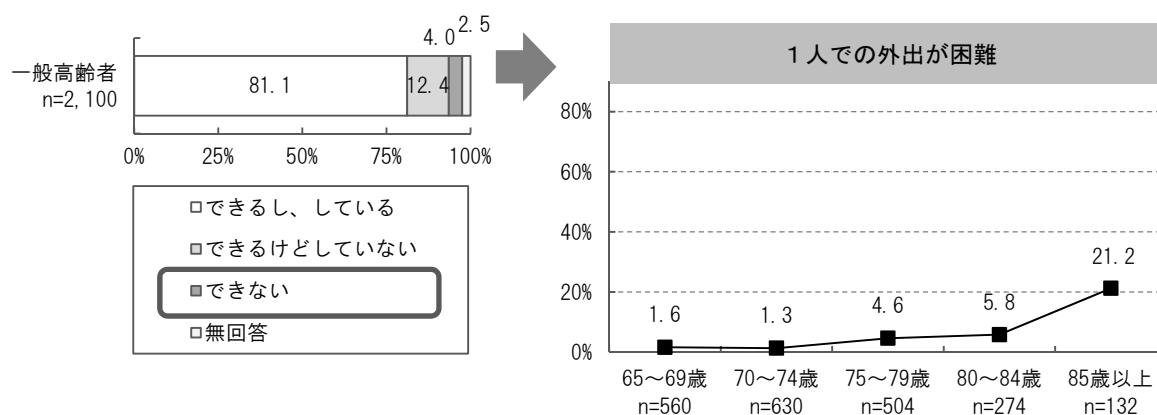


4 毎日の生活について

(1) IADL（手段的自立度）の状況

○バスや電車で1人で外出できない方は4.0%となっており、年齢階級別にみると85歳以上の割合が特に高くなっています。

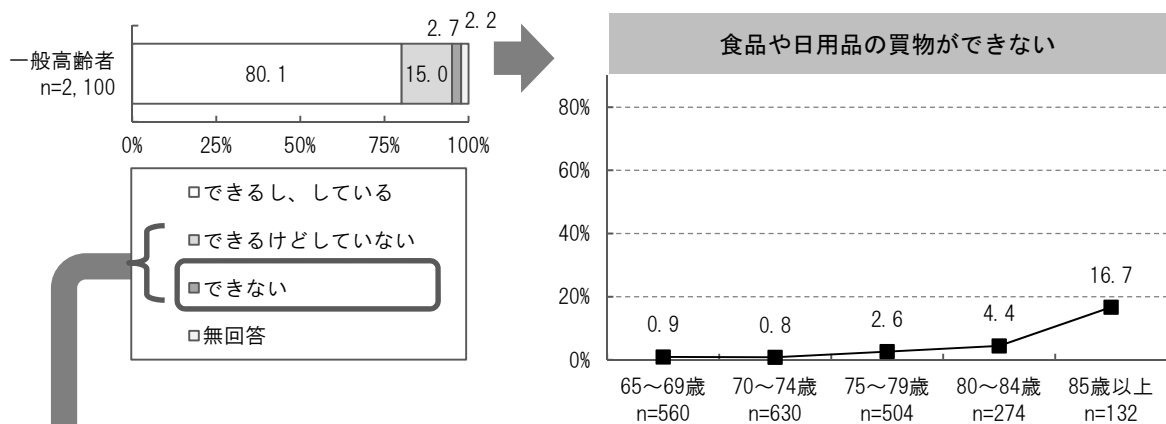
問4-(2) バスや電車で1人で外出しているか



○自分で食品・日用品の買物ができない方は2.7%となっており、年齢階級別にみると85歳以上の割合が特に高くなっています。

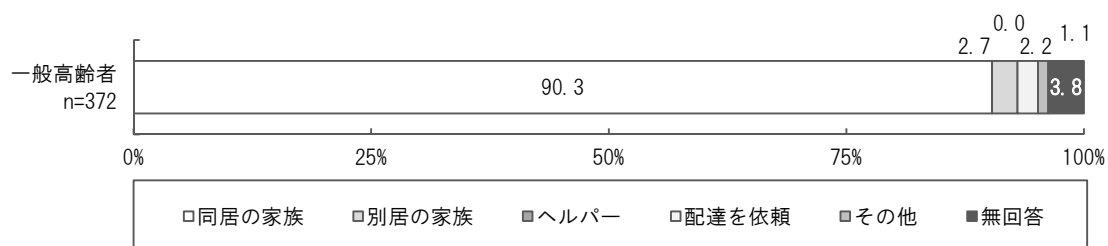
○食品・日用品の買物をする人についてみると、「同居の家族」(90.3%)が最も高くなっており、次いで、「別居の家族」(2.7%)となっています。

問4-(3) 自分で食品・日用品の買物をしているか



問4-(3).① 食品・日用品の買物をする人

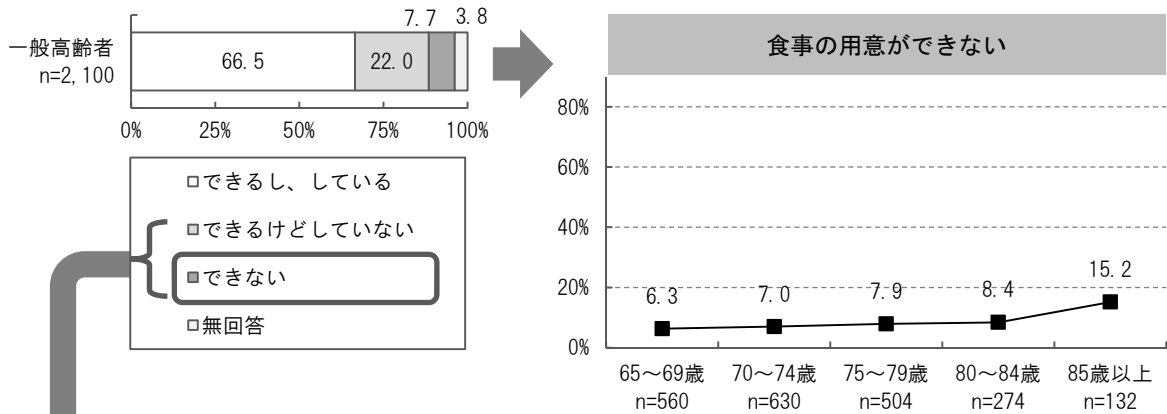
【問4-(3)において「2. できるけどしていない」「3. できない」に回答の方】



○自分で食事の用意ができない方は7.7%となっており、年齢階級別にみると85歳以上の割合がやや高くなっています。

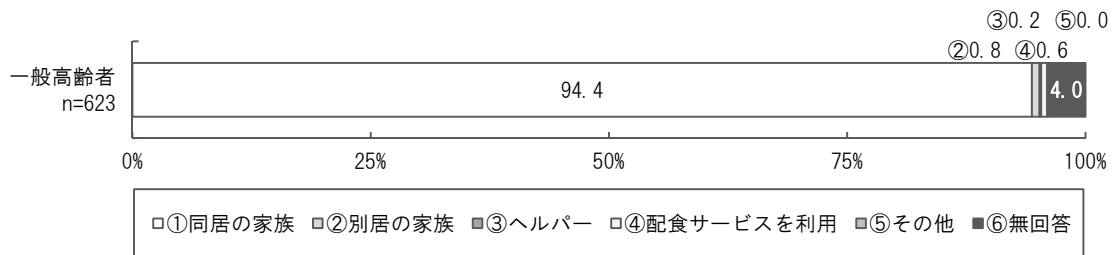
○食事の用意をする人についてみると、「同居の家族」(94.4%)が最も高くなっています。

問4-(4) 自分で食事の用意をしているか



問4-(4).① 食事の用意をする人

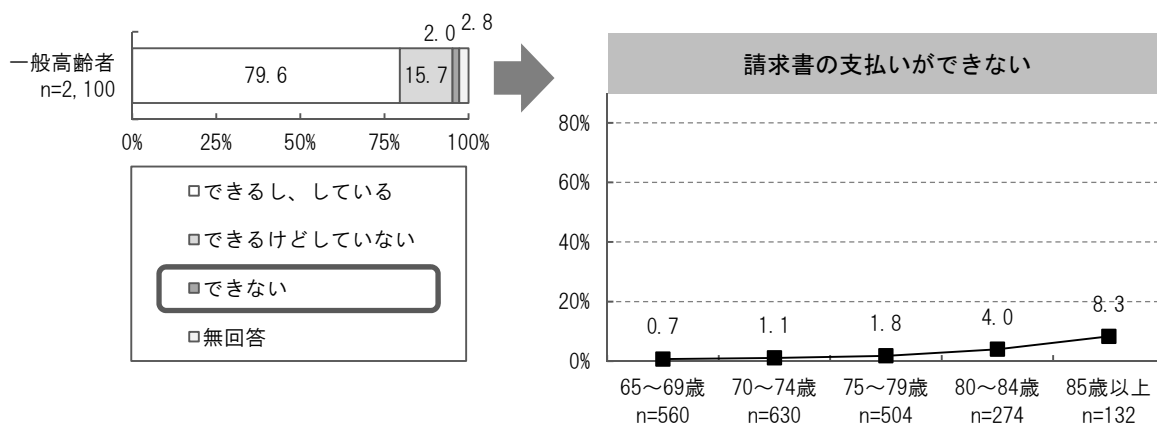
【問4-(4)において「2. できるけどしていない」「3. できない」に回答の方】



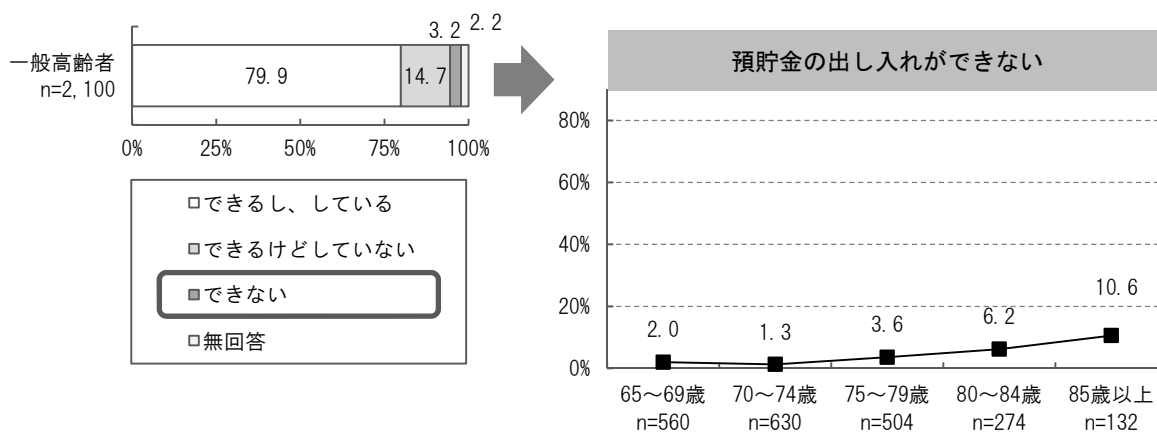
○自分で請求書の支払いができない方は2.0%となっており、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

○自分で預貯金の出し入れができない方は3.2%となっており、年齢階級別にみると85歳以上の割合がやや高くなっています。

問4-(5) 自分で請求書の支払いをしているか



問4-(6) 自分で預貯金の出し入れをしているか

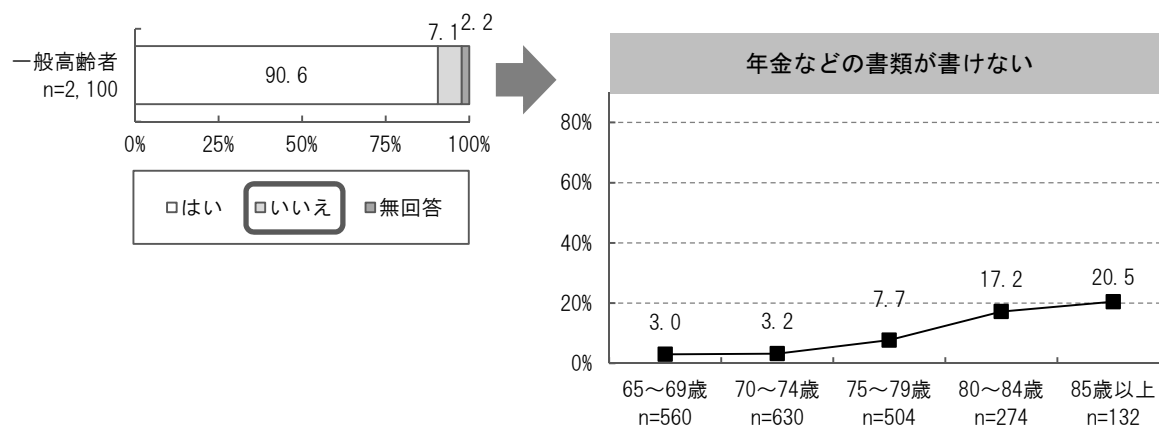


（２）社会参加（知的能動性）の状況

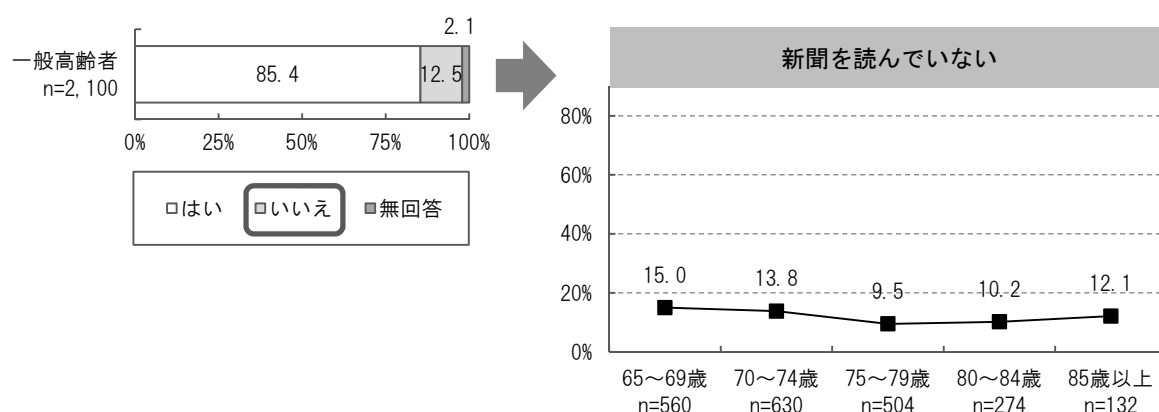
○年金などの書類が書けない方は7.1%となっています。年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっており、80～84歳、85歳以上で特に高くなっています。

○新聞を読んでいない方は12.5%となっており、年齢階級別にみると65～69歳の割合がやや高くなっています。

問4-(9) 年金などの書類が書けるか



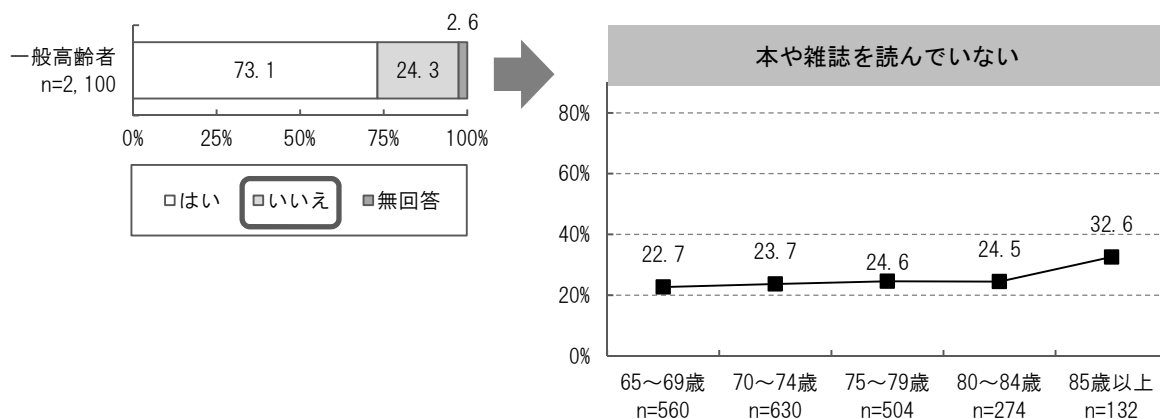
問4-(10) 新聞を読んでいるか



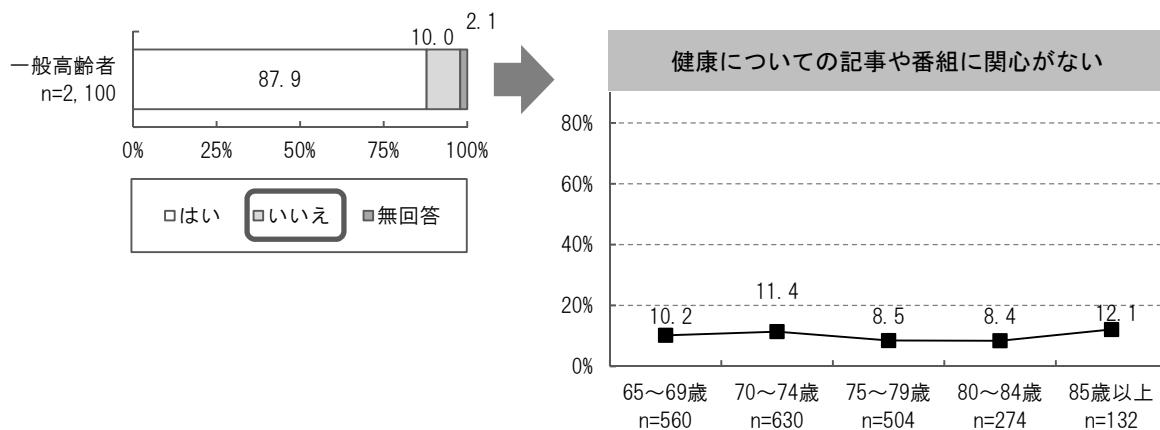
○本や雑誌を読んでいない方は24.3%となっており、年齢階級別にみると85歳以上の割合がやや高くなっています。

○健康についての記事や番組に関心がない方は10.0%となっており、年齢階級による大きな変化はみられません。

問4-(11) 本や雑誌を読んでいるか



問4-(12) 健康についての記事や番組に関心があるか

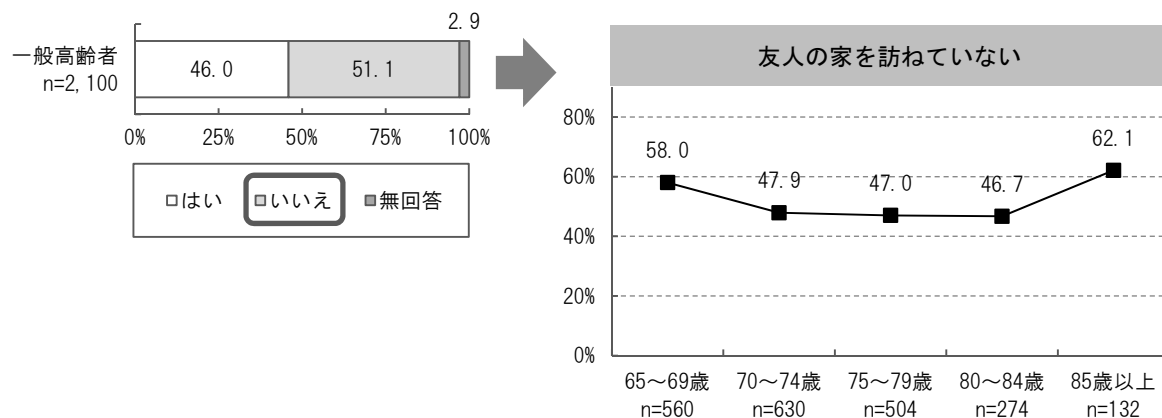


（３）社会参加（社会的役割）の状況

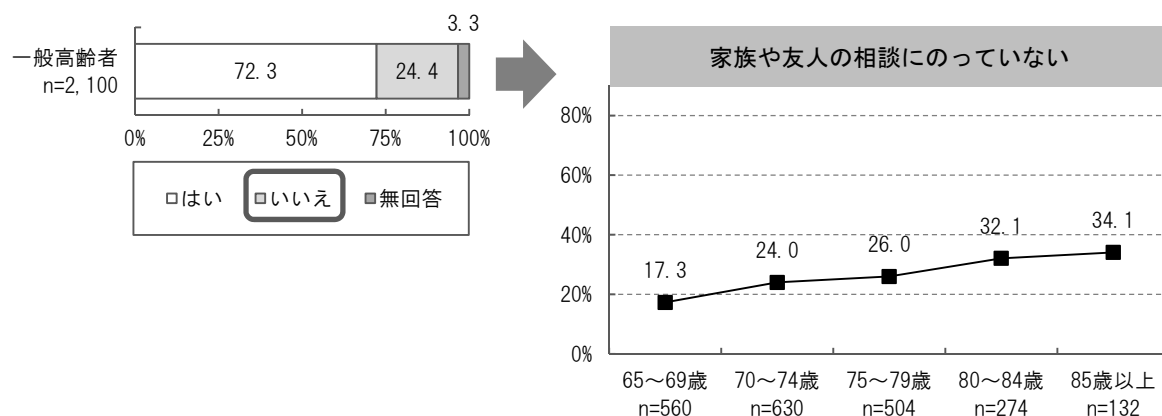
○友人の家を訪ねていない方は51.1%となっており、年齢階級別にみると65～69歳、85歳以上で割合が高くなっています。

○家族や友人の相談にのっていない方は24.4%となっており、年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。

問4-（13） 友人の家を訪ねているか



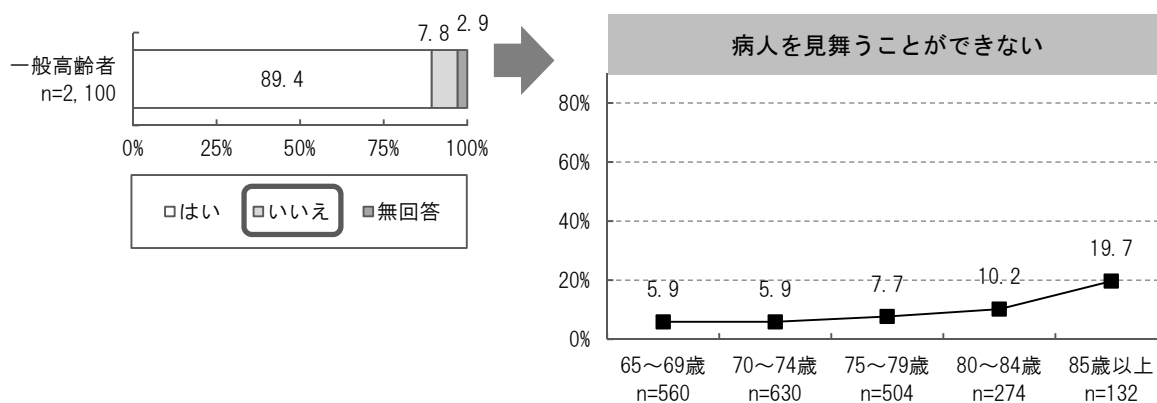
問4-（14） 家族や友人の相談にのっているか



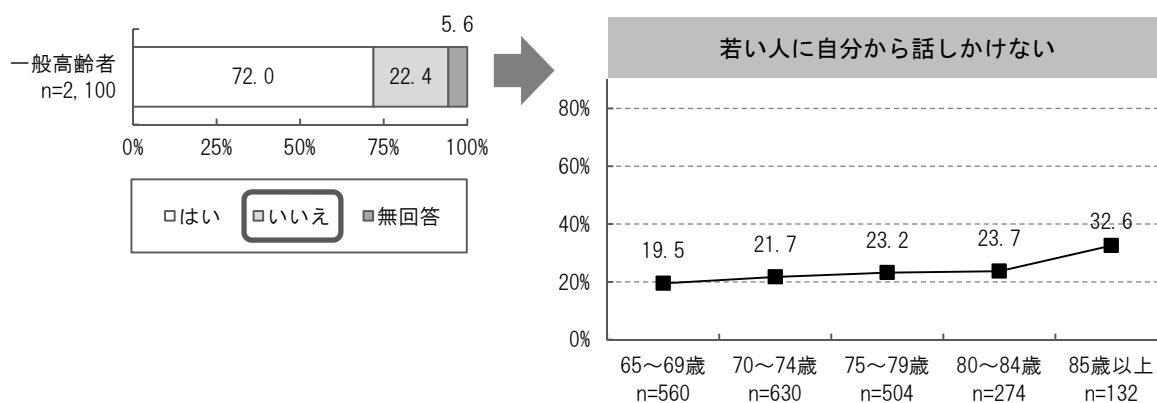
○病人を見舞うことができない方は7.8%となっており、年齢階級別にみると85歳以上の割合がやや高くなっています。

○若い人に自分から話しかけることがない方は22.4%となっており、年齢階級別にみると85歳以上の割合がやや高くなっています。

問4-(15) 病人を見舞うことができるか



問4-(16) 若い人に自分から話しかけることはあるか

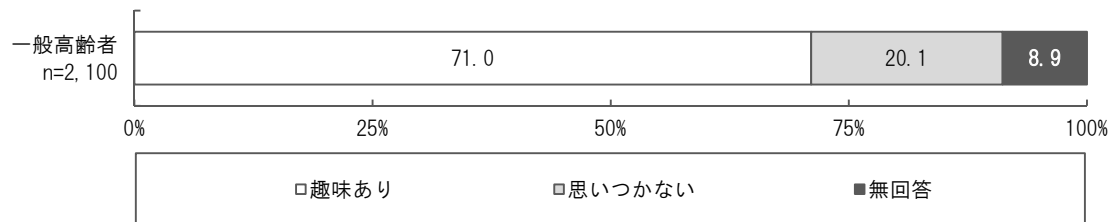


(4) こころの健康状態

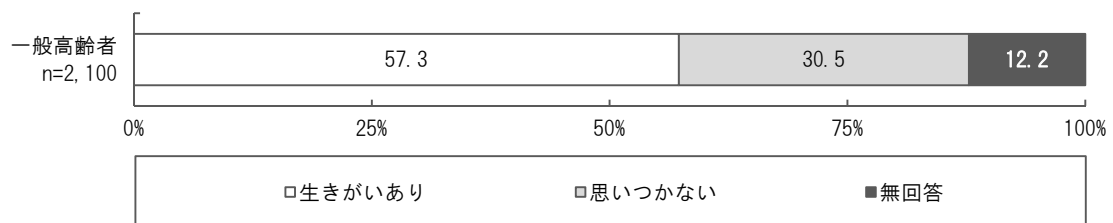
○趣味がある方は71.0%となっています。

○生きがいがある方は57.3%となっています。

問4-(17) 趣味はあるか



問4-(18) 生きがいはあるか

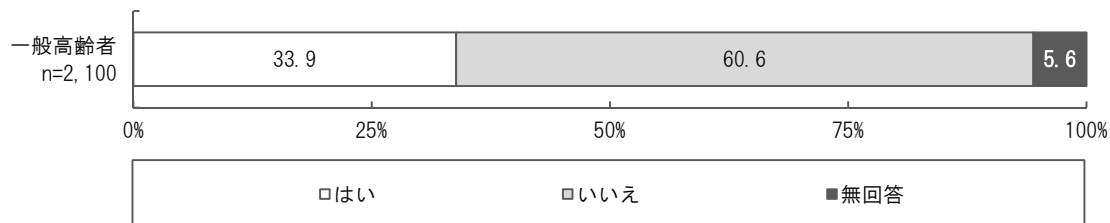


○この1か月間、気分が沈んだりすることがある方は33.9%となっています。

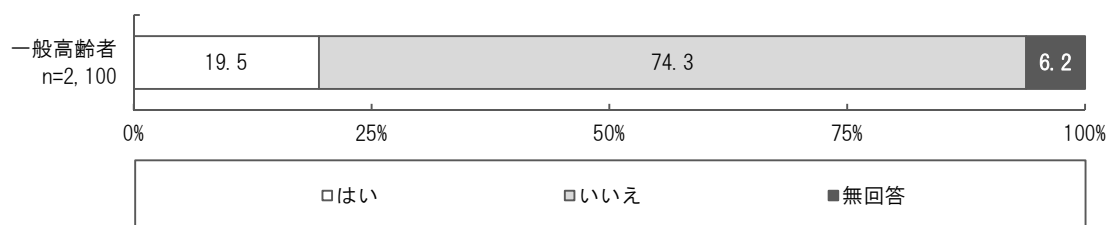
○この1か月間、物事に対して心から楽しめない方は19.5%となっています。

○ここ2週間、毎日の生活に充実感がない方は16.6%となっています。

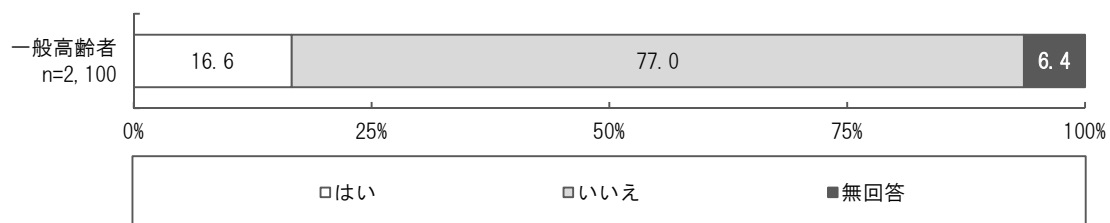
問7-(3) この1か月間、気分が沈んだりする



問7-(4) この1か月間、物事に対して心から楽しめない



問7-(8) ここ2週間、毎日の生活に充実感がない

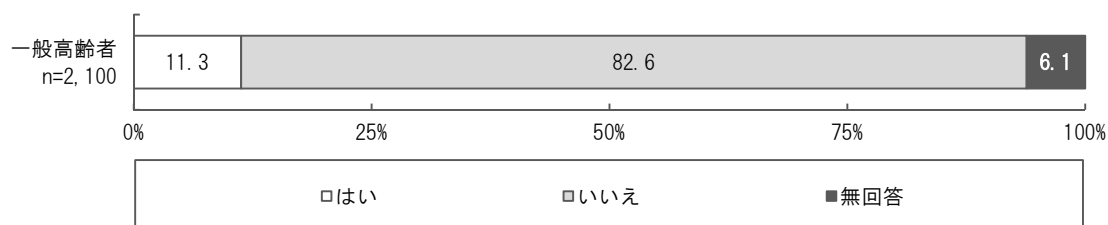


〇ここ2週間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった方は11.3%となっています。

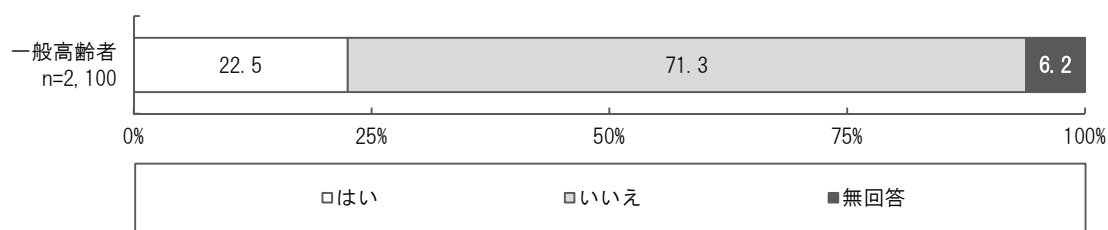
〇ここ2週間、以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じる方は22.5%となっています。

〇ここ2週間、自分が役に立つ人間だと思えない方は19.3%となっています。

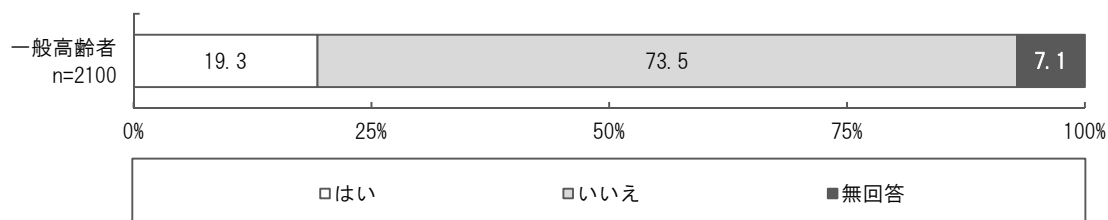
問7-(9) ここ2週間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった



問7-(10) ここ2週間、以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じる



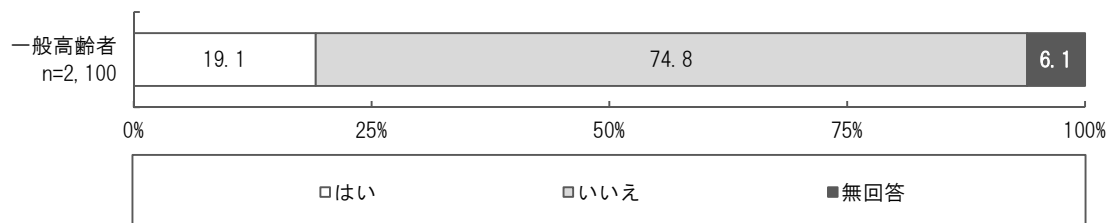
問7-(11) ここ2週間、自分が役に立つ人間だと思えない



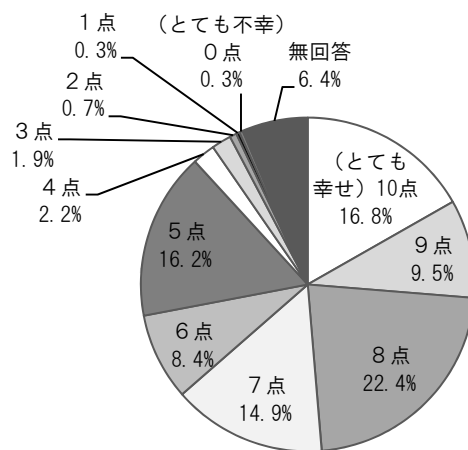
〇ここ2週間、わけもなく疲れたような感じがする方は19.1%となっています。

〇現在の主観的幸福感では、「8点」（22.4%）と回答した方が最も多く、次いで「（とても幸せ）10点」（16.8%）、「5点」（16.2%）となっています。平均点数は7.3点です。

問7-(12) ここ2週間、わけもなく疲れたような感じがする



問7-(2) 現在どの程度幸せか



一般高齢者
n=2,100



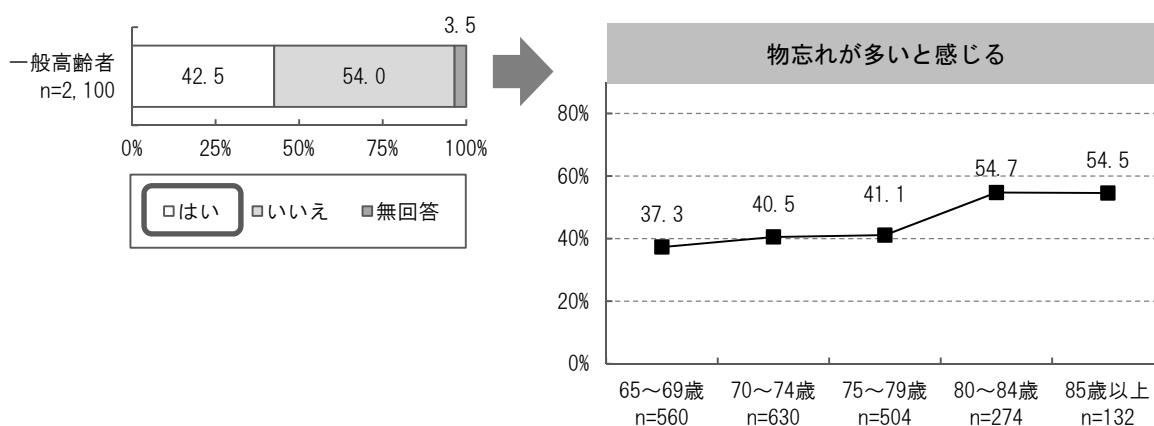
	一般高齢者
平均点数	7.3

(5) 物忘れの状況

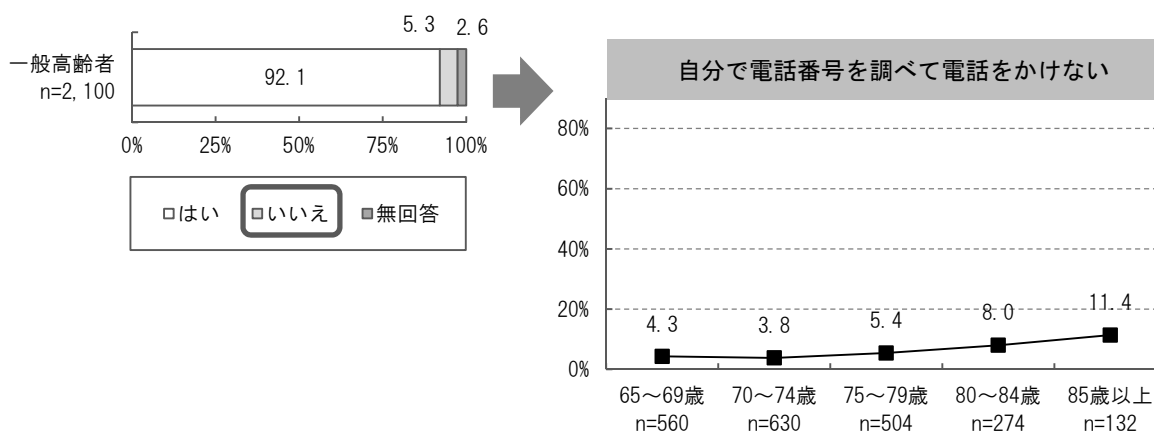
○物忘れが多いと感じる方は42.5%となっており、年齢階級別にみると80～84歳、85歳以上の割合が高くなっています。

○自分で電話番号を調べて電話をかけていない方は5.3%となっており、年齢階級別にみると85歳以上の割合がやや高くなっています。

問4-(1) 物忘れが多いと感じるか



問4-(7) 自分で電話番号を調べて電話をかけるか

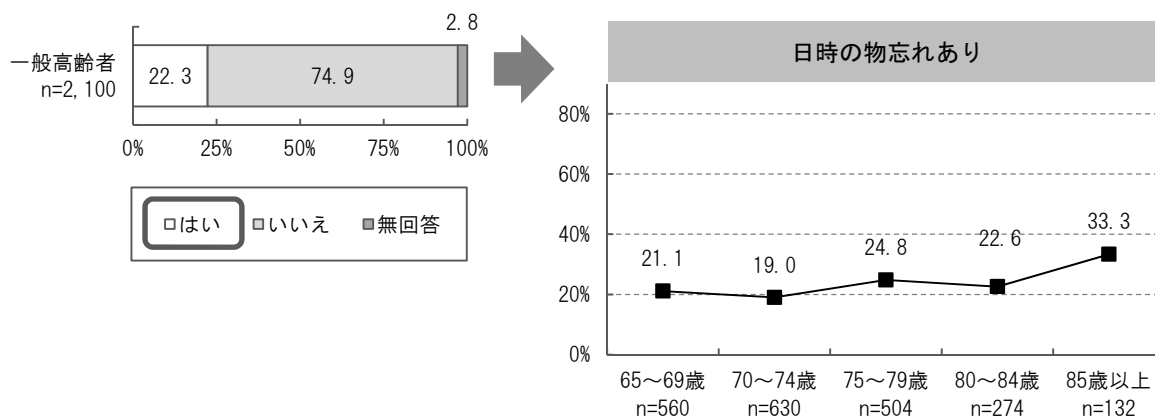


○今日が何月何日かわからない時がある方は22.3%となっており、年齢階級別にみると85歳以上の割合が高くなっています。

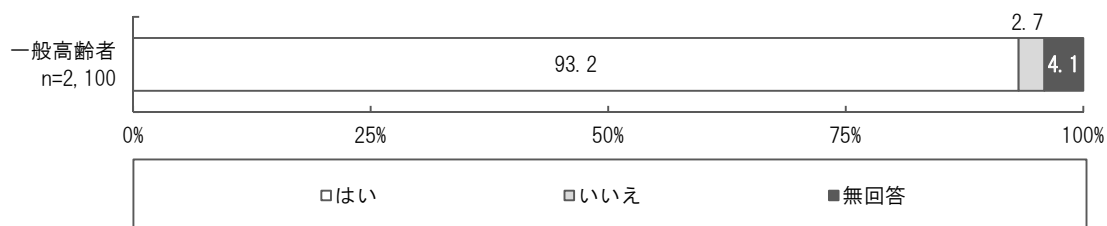
○5分前に自分が何をしていたか思い出せる方は93.2%となっています。

○その日の活動を自分で判断できるかでは、「困難なくできる」と回答した方が約9割となっています。

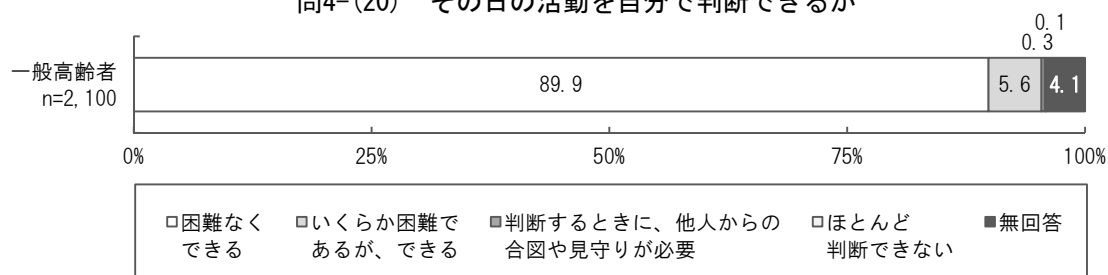
問4-(8) 今日が何月何日かわからない時があるか



問4-(19) 5分前に自分が何をしていたか思い出せるか



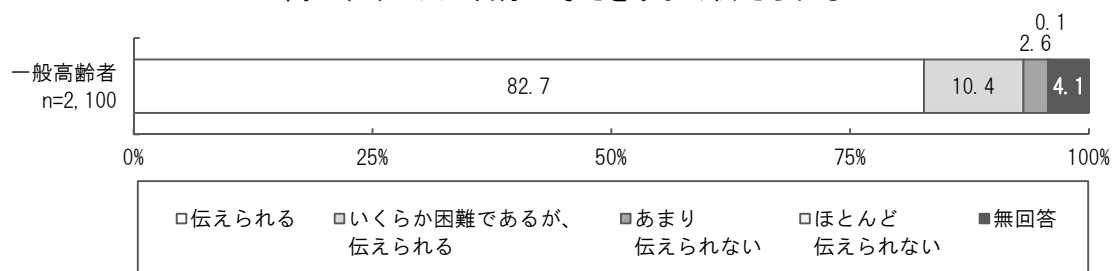
問4-(20) その日の活動を自分で判断できるか



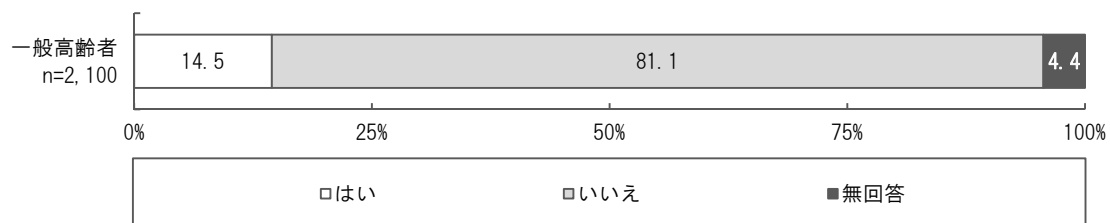
○人に自分の考えをうまく伝えられるかでは、82.7%が「伝えられる」と回答しています。

○いつも同じことを聞くなどと言われるかでは、14.5%が「はい」と回答しています。

問4-(21) 人に自分の考えをうまく伝えられるか



問 4-(23) いつも同じことを聞くなどと言われるか



5 地域での活動について

(1) グループ活動等の状況

○グループ等への参加頻度をみると、週1回以上就労または参加している方は「⑧収入のある仕事」(24.8%)が最も高く、次いで「②スポーツ関係のグループやクラブ」(15.9%)、「③趣味関係のグループ」(12.6%)となっており、約4～6割が「参加していない」と回答しています。

問5-(1) 通いの場等への参加頻度

単位：％

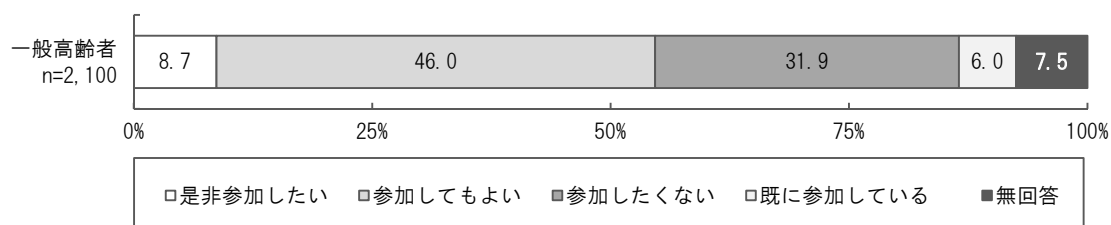
一般高齢者 n=2,100	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	0.7	1.5	1.2	4.6	5.2	55.2	31.7
②スポーツ関係のグループやクラブ	3.7	7.2	5.0	5.0	2.6	48.3	28.3
③趣味関係のグループ	1.4	5.3	5.9	12.0	5.4	43.0	27.0
④学習・教養サークル	0.3	1.2	2.0	4.2	3.0	56.3	33.0
⑤介護予防のための通いの場 (ひまわりサロン等)	0.2	0.4	0.5	2.6	1.9	61.5	33.0
⑥老人クラブ	0.0	0.5	0.4	1.8	2.5	62.0	32.8
⑦自治会・町内会	0.4	0.5	0.7	4.6	26.6	36.2	30.9
⑧収入のある仕事	16.7	7.1	1.0	1.6	1.3	43.4	28.9

(2) 地域づくりに対する参加意向

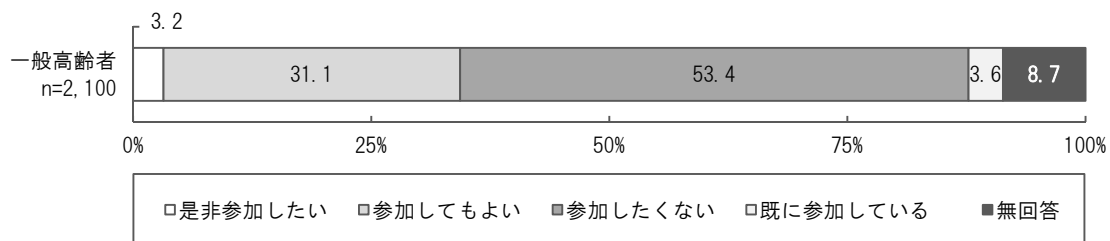
○参加者としてグループ活動等に参加してみたいかでは、「是非参加したい」(8.7%)と「参加してもよい」(46.0%)を合わせた54.7%が参加の意向です。

○企画・運営としてグループ活動等に参加してみたいかでは、「是非参加したい」(3.2%)と「参加してもよい」(31.1%)を合わせた34.3%が参加の意向です。

問5-(2) 参加者としてグループ活動等に参加してみたいか



問5-(3) 企画・運営としてグループ活動等に参加してみたいか

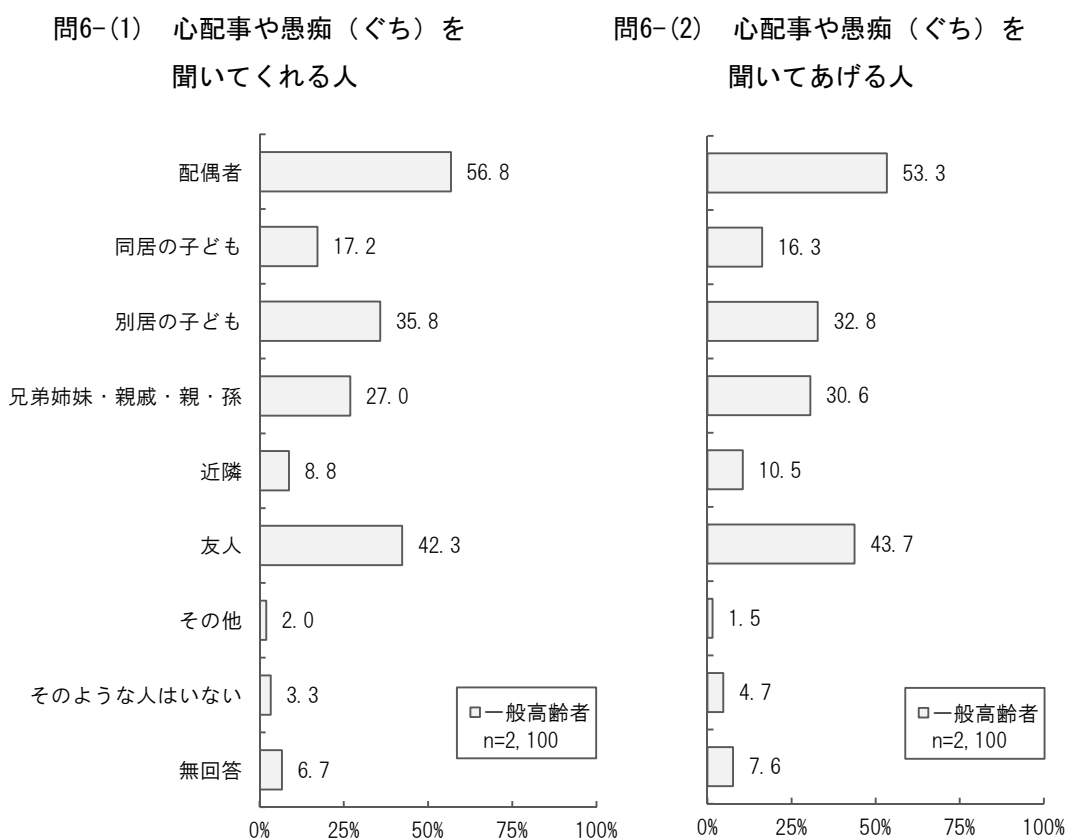


6 たすけあいについて

(1) 困った際に頼る相手または頼られる相手

○心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人をみると、「配偶者」（56.8%）が最も高く、次いで「友人」（42.3%）、「別居の子ども」（35.8%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（27.0%）となっています。

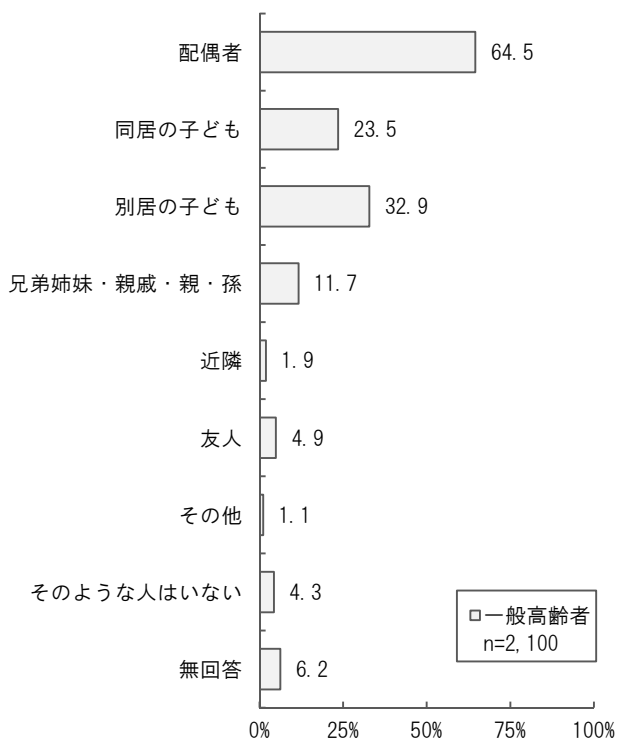
○反対に心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人では、「配偶者」（53.3%）が最も高く、次いで「友人」（43.7%）、「別居の子ども」（32.8%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（30.6%）となっています。



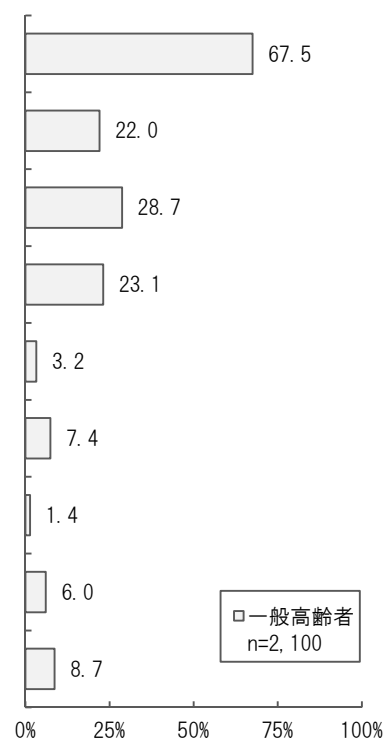
○病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人では、「配偶者」(64.5%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(32.9%)、「同居の子ども」(23.5%)となっています。

○反対に看病や世話をしにあげる人では、「配偶者」(67.5%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(28.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(23.1%)、「同居の子ども」(22.0%)となっています。

問6-(3) 病気で数日間寝込んだときに、
看病や世話をしてくれる人

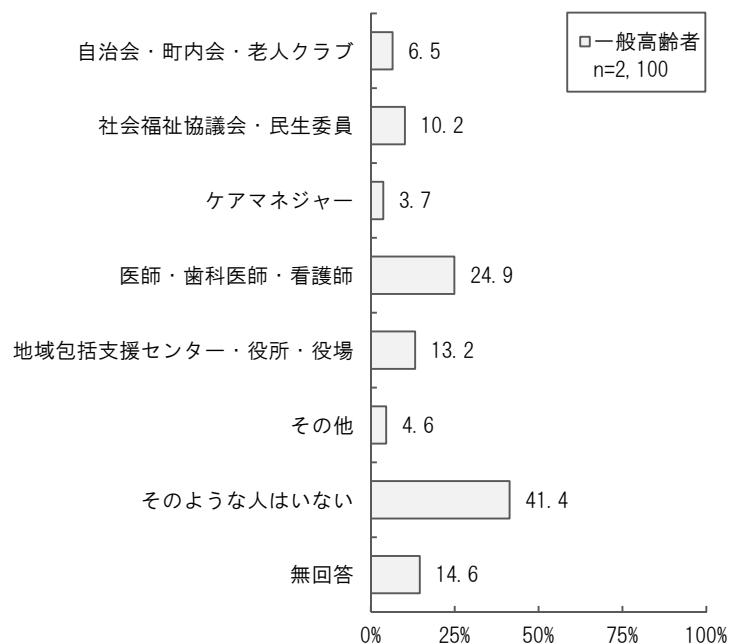


問6-(4) あなたが看病や世話を
してあげる人



○家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手では、「そのような人はいない」(41.4%)が最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」(24.9%)、「地域包括支援センター・役所・役場」(13.2%)、「社会福祉協議会・民生委員」(10.2%)となっています。

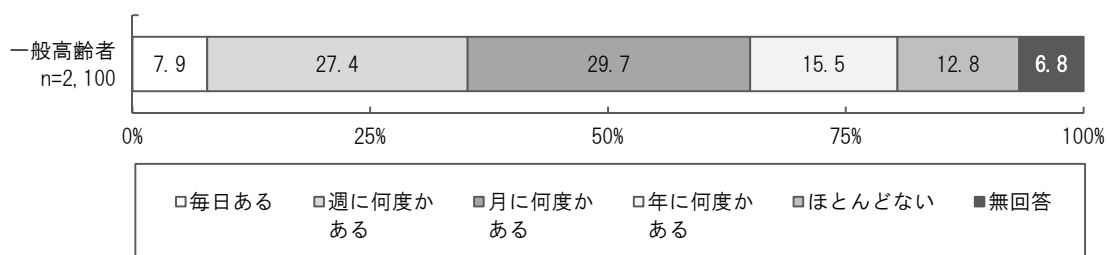
問6-(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手



(2) 友人・知人との交流状況

○友人・知人と会う頻度では、「月に何度かある」(29.7%)が最も高く、次いで「週に何度かある」(27.4%)、「年に何度かある」(15.5%)となっています。

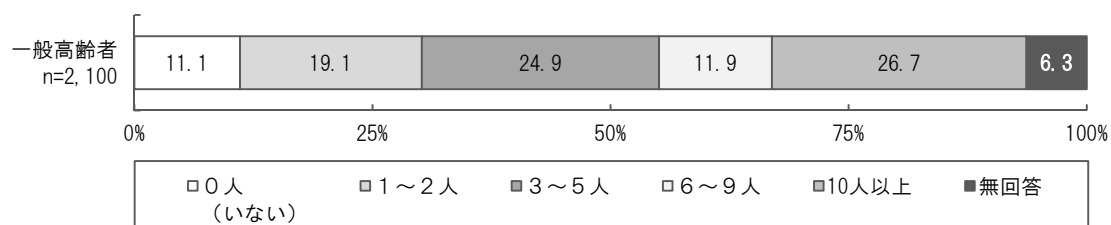
問6-(6) 友人・知人と会う頻度



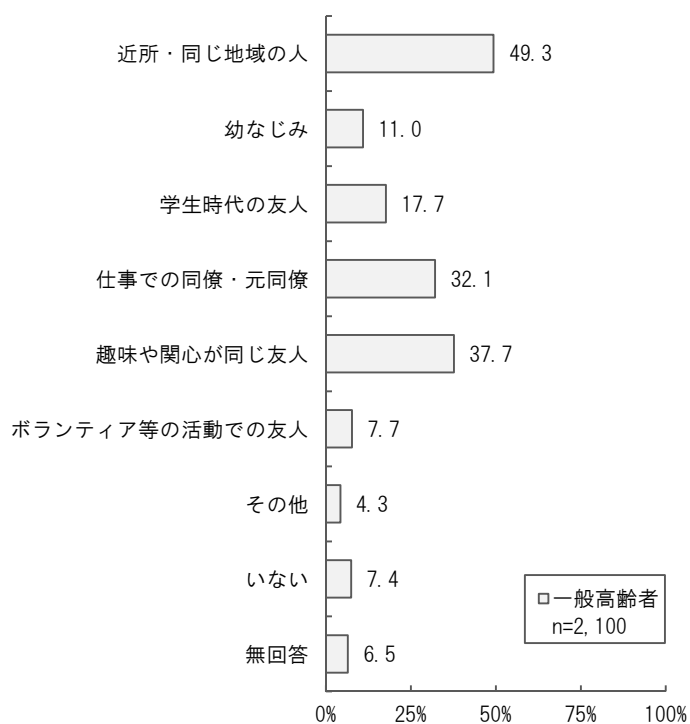
○1 か月間に何人の友人・知人と会ったかでは、「10人以上」（26.7%）が最も高く、次いで「3～5人」（24.9%）、「1～2人」（19.1%）となっています。

○よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」（49.3%）が最も高く、「趣味や関心が同じ友人」（37.7%）、「仕事での同僚・元同僚」（32.1%）となっています。

問6-(7) 何人の友人・知人と会ったか（最近1か月間）



問6-(8) よく合う友人・知人との関係

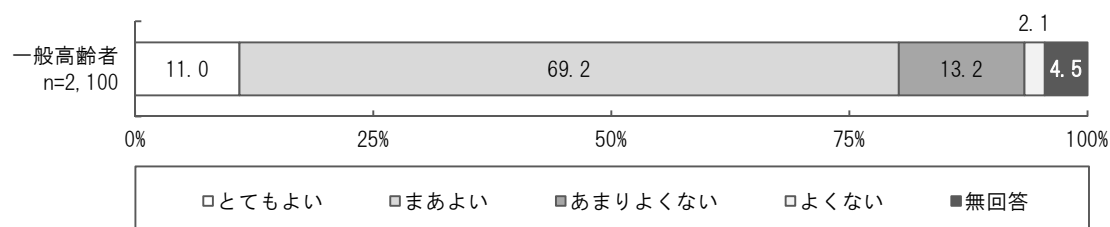


7 健康について

(1) 健康状態

○調査対象者の現在の主観的健康感をみると、「とてもよい」(11.0%)と「まあよい」(69.2%)を合わせた80.2%が健康状態がよいと感じています。

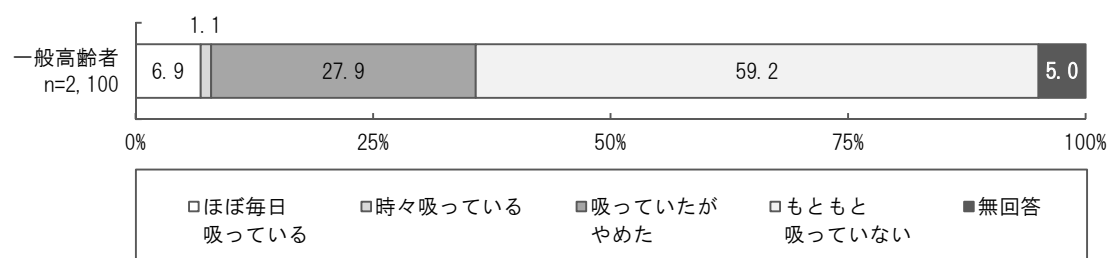
問7-(1) 現在の主観的健康感



(2) 疾病と喫煙や飲酒の状況

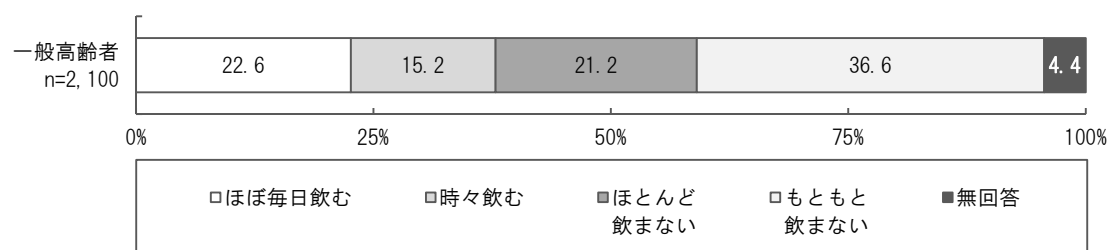
○喫煙の状況をみると、「ほぼ毎日吸っている」(6.9%)と「時々吸っている」(1.1%)を合わせた8.0%が喫煙者となっています。

問7-(5) 喫煙の状況



○飲酒の有無では、「ほぼ毎日飲む」(22.6%)と「時々飲む」(15.2%)を合わせた37.8%が飲酒者となっています。

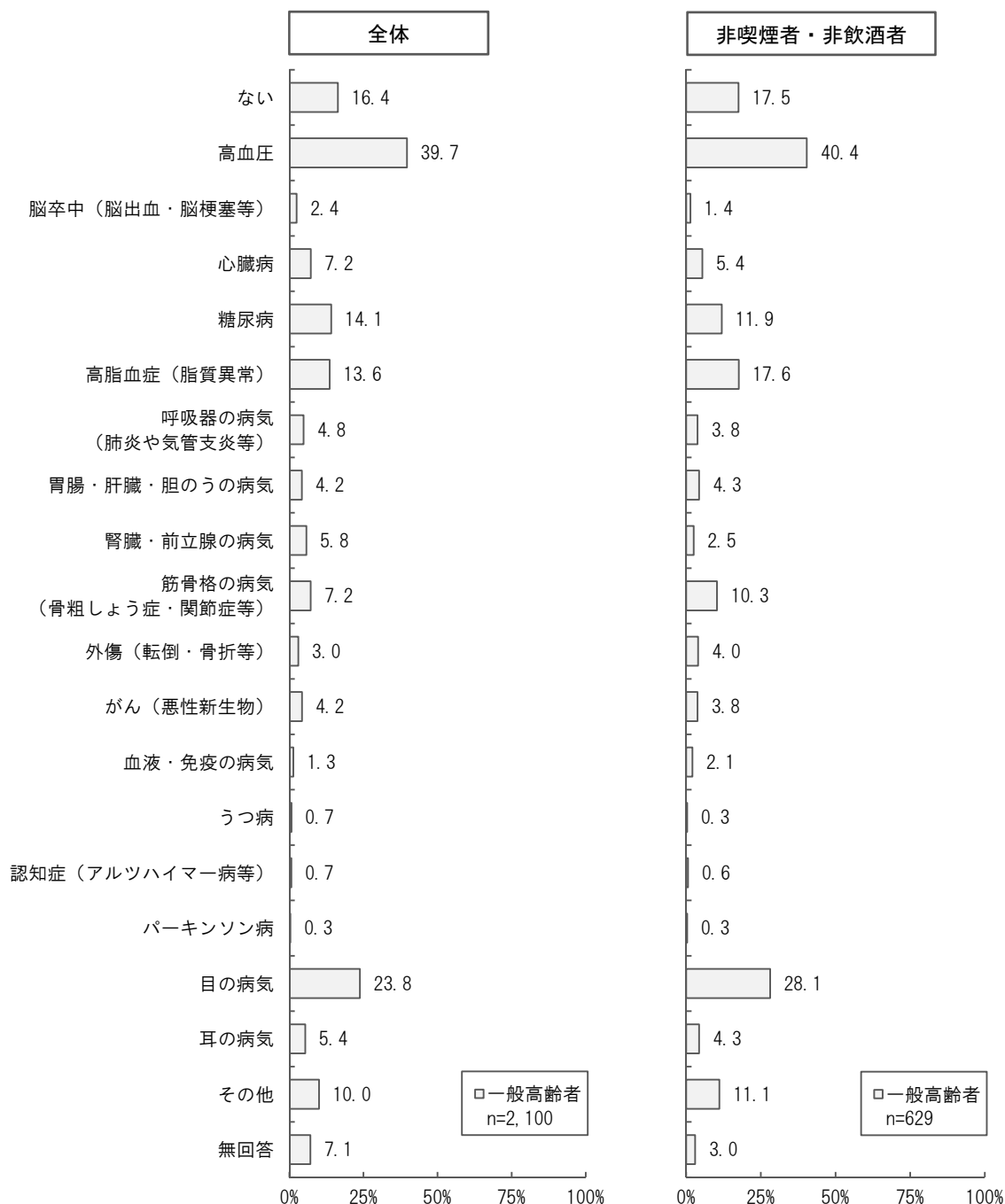
問7-(7) 飲酒について



○現在治療中、または後遺症のある病気についてみると、全体では「高血圧」(39.7%)が最も高く、次いで「目の病気」(23.8%)、「ない」(16.4%)、「糖尿病」(14.1%)で高くなっています。

○非喫煙者・非飲酒者では、「高血圧」(40.4%)が最も高く、次いで「目の病気」(28.1%)、「高脂血症(脂質異常)」(17.6%)、「ない」(17.5%)となっています。

問7-(6) 現在治療中、または後遺症のある病気

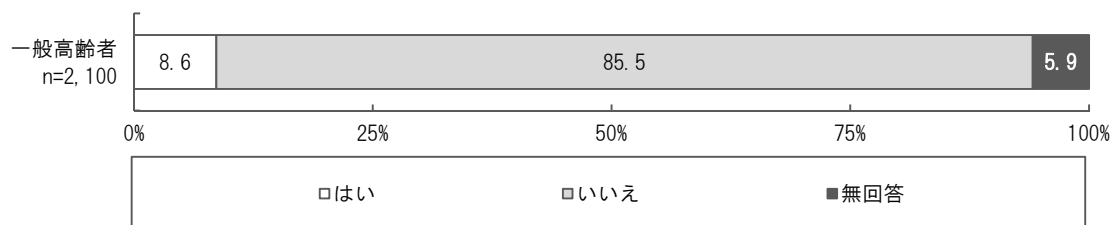


(3) 認知症について

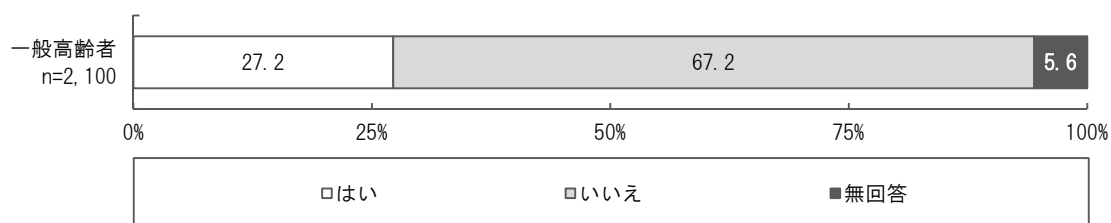
○認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある方は8.6%となっています。

○認知症に関する相談窓口を知っている方は27.2%となっています。

問8-(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある



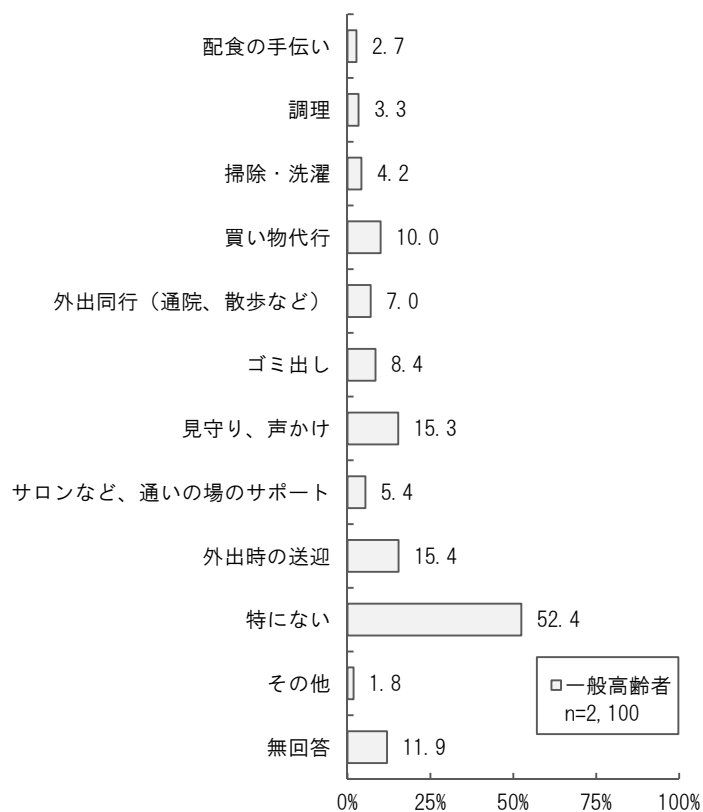
問8-(2) 認知症に関する相談窓口を知っている



8 高齢社会について

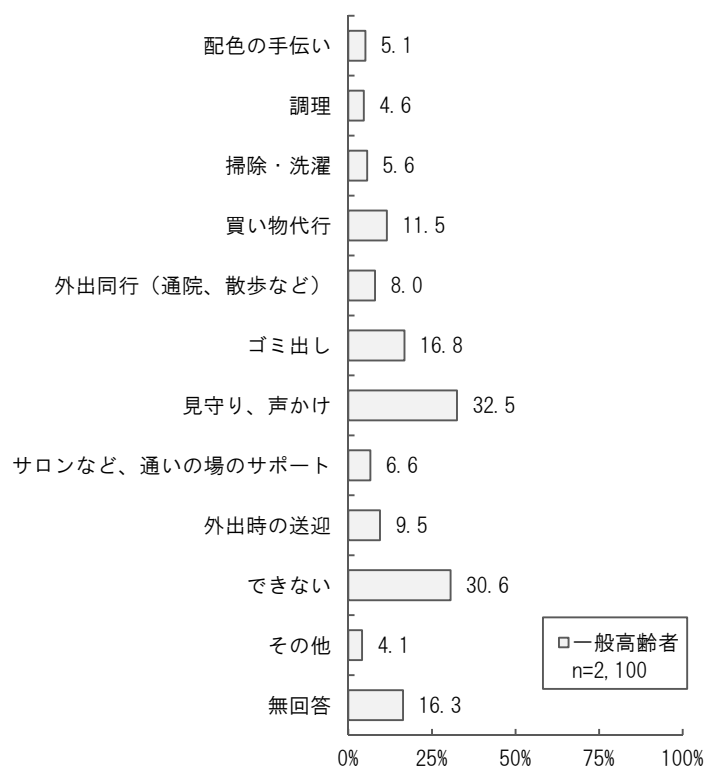
○地域にあればよいと思うサービスをみると、「特にない」(52.4%)が最も高く、次いで「外出時の送迎」(15.4%)、「見守り、声かけ」(15.3%)、「買い物代行」(10.0%)となっています。

問5-(4) 地域にあればよいと思うサービス



○地域で自分ができると思う支援は、「見守り・声かけ」(32.5%) が最も高く、次いで「できない」(30.6%)、「ゴミ出し」(16.8%) となっています。

問5-(5) 地域で自分ができると思う支援

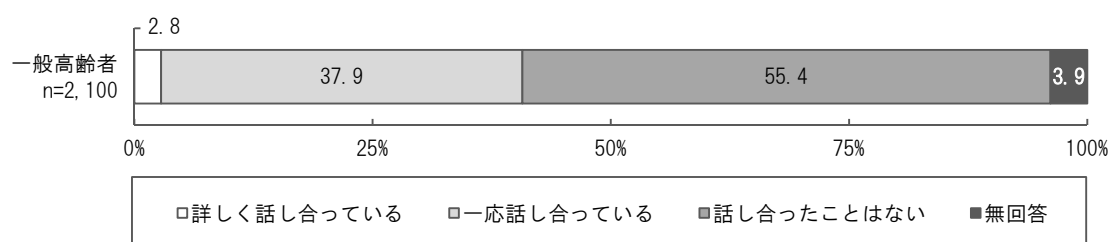


9 人生の最終段階について

○人生の最終段階における医療や療養について家族等とどのくらい話し合ったことがあるかでは、「話し合ったことはない」(55.4%)、「一応話し合っている」(37.9%)となっており、「詳しく話し合っている」は1割未満となっています。

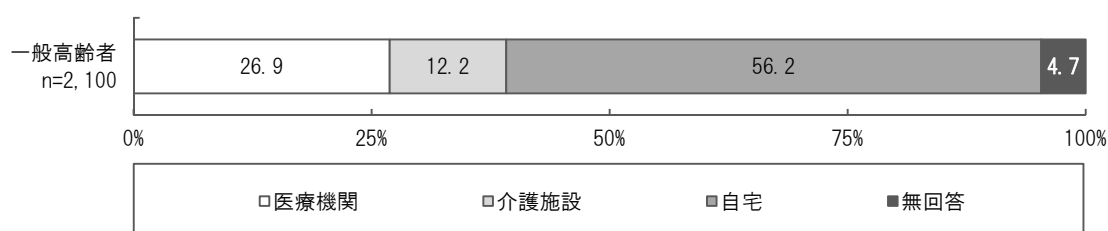
○人生の最終段階において、過ごしたい場所はどこかでは、末期がんの場合、「自宅」(56.2%)が最も高く、重度の心臓病の場合、「医療機関」(38.7%)、「自宅」(37.1%)で高くなっています。認知症の場合、「介護施設」(49.4%)が最も高くなっています。

問9-(1) 人生の最終段階における医療や療養について、
家族等とどのくらい話し合ったことがあるか

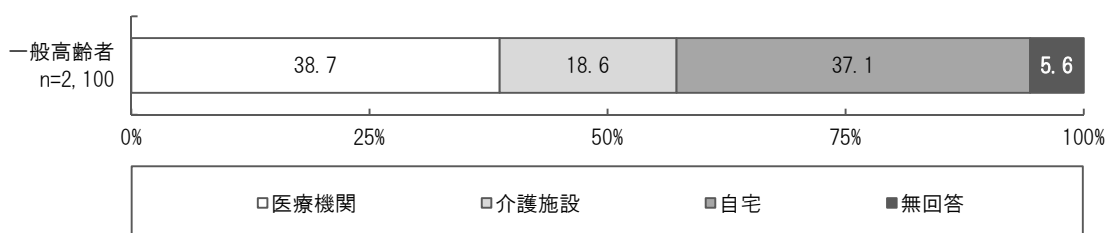


問9-(2) 人生の最終段階において、過ごしたい場所はどこか

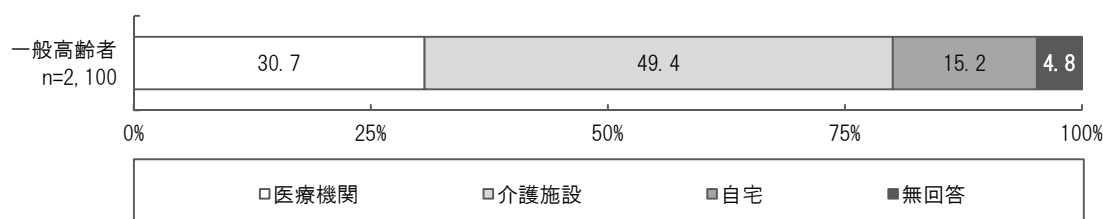
ケース① 末期がんで、食事や呼吸が不自由であるが、痛みがなく、意識や判断能力は健康な時と同様な場合



ケース② 重度の心臓病で、身の回りの手助けが必要であるが、意識や判断能力は健康な時と同様な場合



ケース③ 認知症になり、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合



第3章

在宅介護実態調査結果

（要支援・要介護認定者）

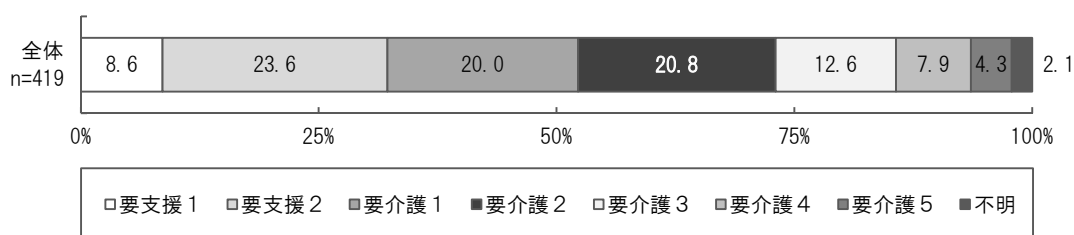
第3章 在宅介護実態調査結果

1 ご本人（要介護者）の状況について

（1）要介護者の介護度

○要介護者の介護度を割合の高い順にみると、「要支援2」(23.6%)、「要介護2」(20.8%)、「要介護1」(20.0%)、「要介護3」(12.6%)、「要支援1」(8.6%)、「要介護4」(7.9%)、「要介護5」(4.3%)となっています。

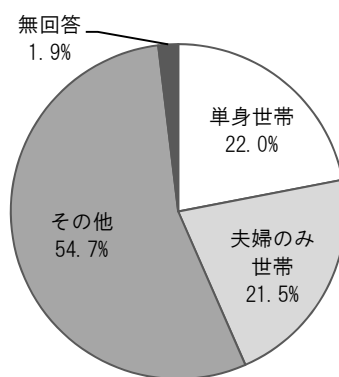
要介護者の介護度別構成比



（2）要介護者の世帯状況

○世帯状況をみると、「単身世帯」は22.0%、「夫婦のみ世帯」は21.5%となっています。

A問1 世帯類型

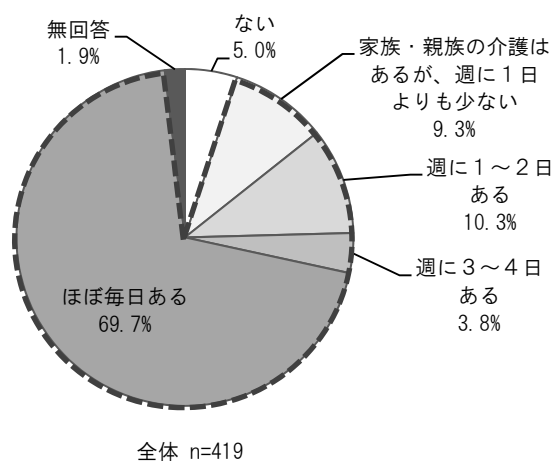


（３）家族・親族による介護の頻度

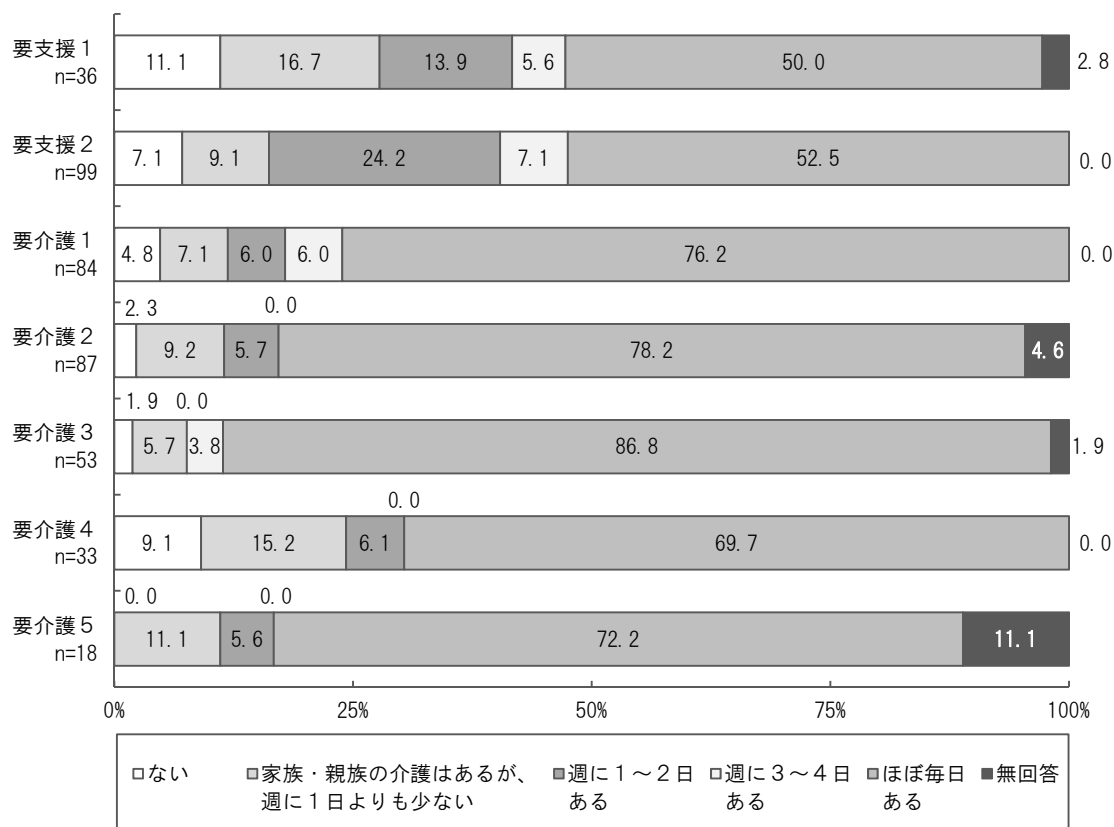
○家族・親族による介護の頻度をみると、69.7%の方が「ほぼ毎日ある」と回答しており、「家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない」「週に１～２日ある」「週に３～４日ある」を合わせると93.1%の方が家族・親族による介護を受けている状況です。

○また、介護度別にみると、家族・親族による介護が「ほぼ毎日ある」方は要支援１・２では約５割であるものの、要介護１以上では約７割～８割台と高くなっています。

A問２ 家族・親族から介護してもらう頻度

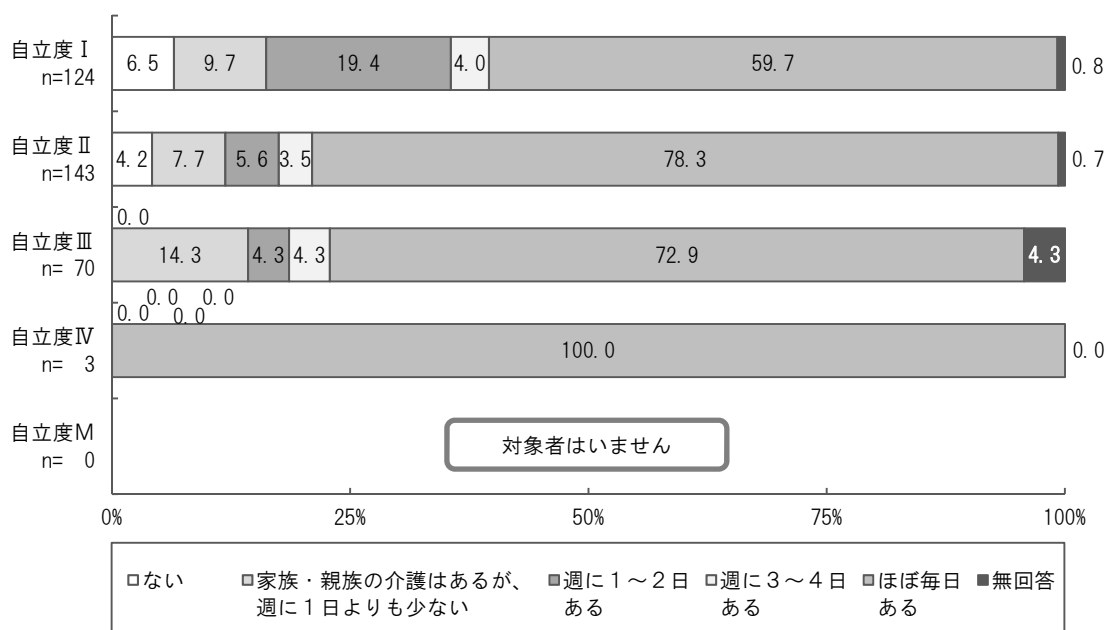


「A問２ 家族・親族から介護してもらう頻度」×「介護度」



○認知症高齢者日常生活自立度※別にみると、家族・親族による介護が「ほぼ毎日ある」方は自立度Ⅰでも59.7%と高くなっています。

「A問2 家族・親族から介護してもらう頻度」×「認知症高齢者日常生活自立度」



※「認知症高齢者日常生活自立度」とは、認知症の高齢者にかかる介護の度合いを分類したものです。

レベル	判断基準
自立度Ⅰ	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している
自立度Ⅱ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる
自立度Ⅲ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする
自立度Ⅳ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする
自立度M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする

2 主な介護者等の状況（属性等）について

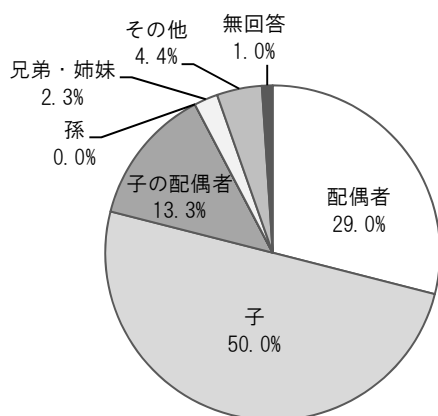
（1）主な介護者の状況

○要介護者からみた主な介護者は、「子」（50.0％）が最も高く、次いで「配偶者」（29.0％）、「子の配偶者」（13.3％）となっています。

○主な介護者の性別は、「女性」が65.1％、「男性」が33.1％となり、女性の比率が約2倍となっています。

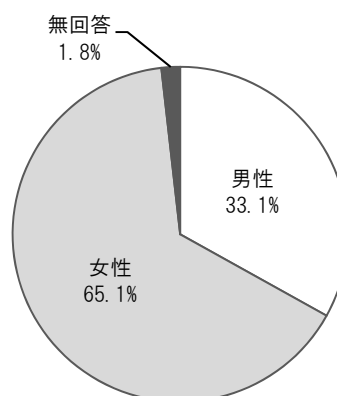
○主な介護者の年齢は、「50代」（29.7％）が最も高く、次いで「60代」（26.4％）、「70代」（20.0％）となっています。

A問3 要介護者からみた主な介護者



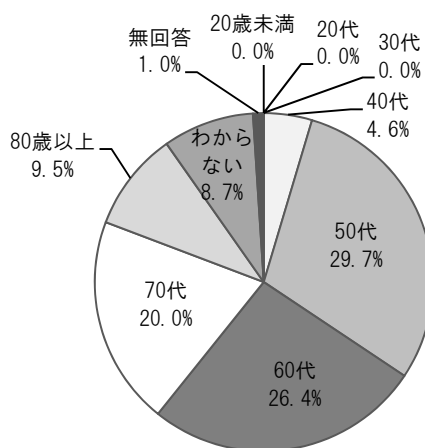
全体 n=390

A問4 主な介護者の性別



全体 n=390

A問5 主な介護者の年齢



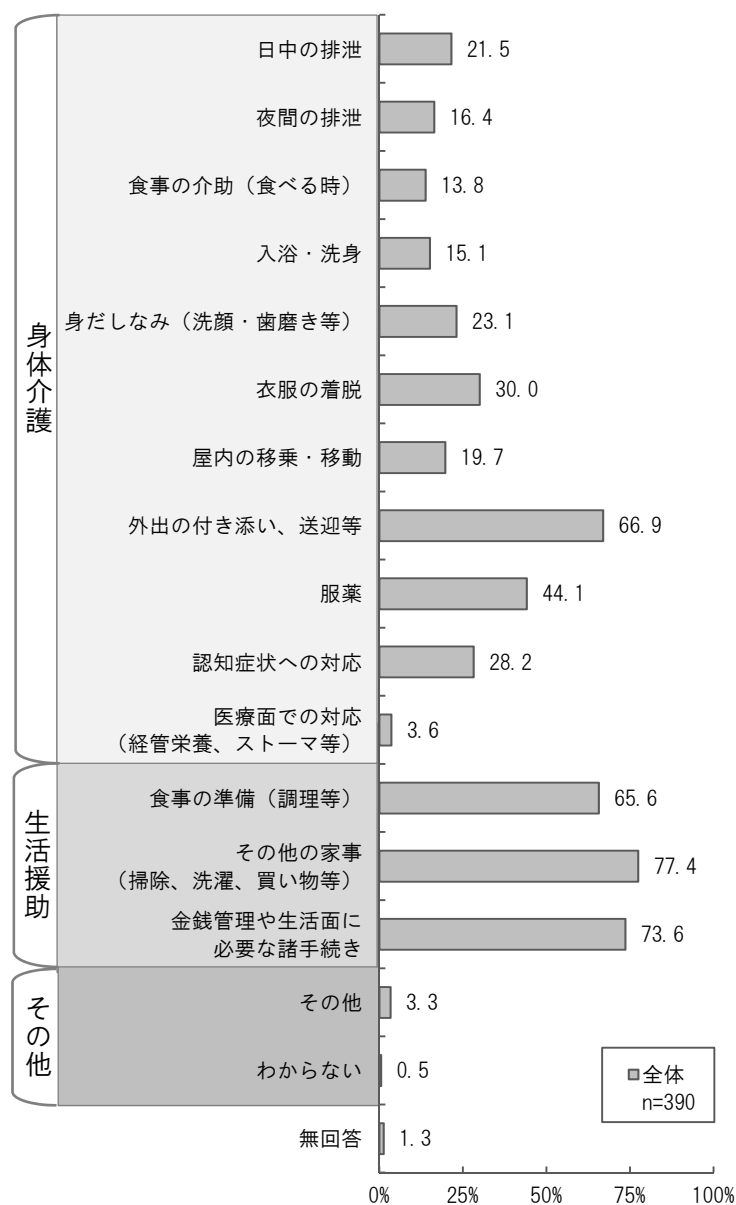
全体 n=390

(2) 主な介護者の介護実態

○主な介護者が行っている身体介護は、「外出の付き添い、送迎等」(66.9%)が最も高く、次いで「服薬」(44.1%)、「衣服の着脱」(30.0%)となっています。

○生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(77.4%)が最も高くなっています。

A問6 主な介護者が行っている介護等

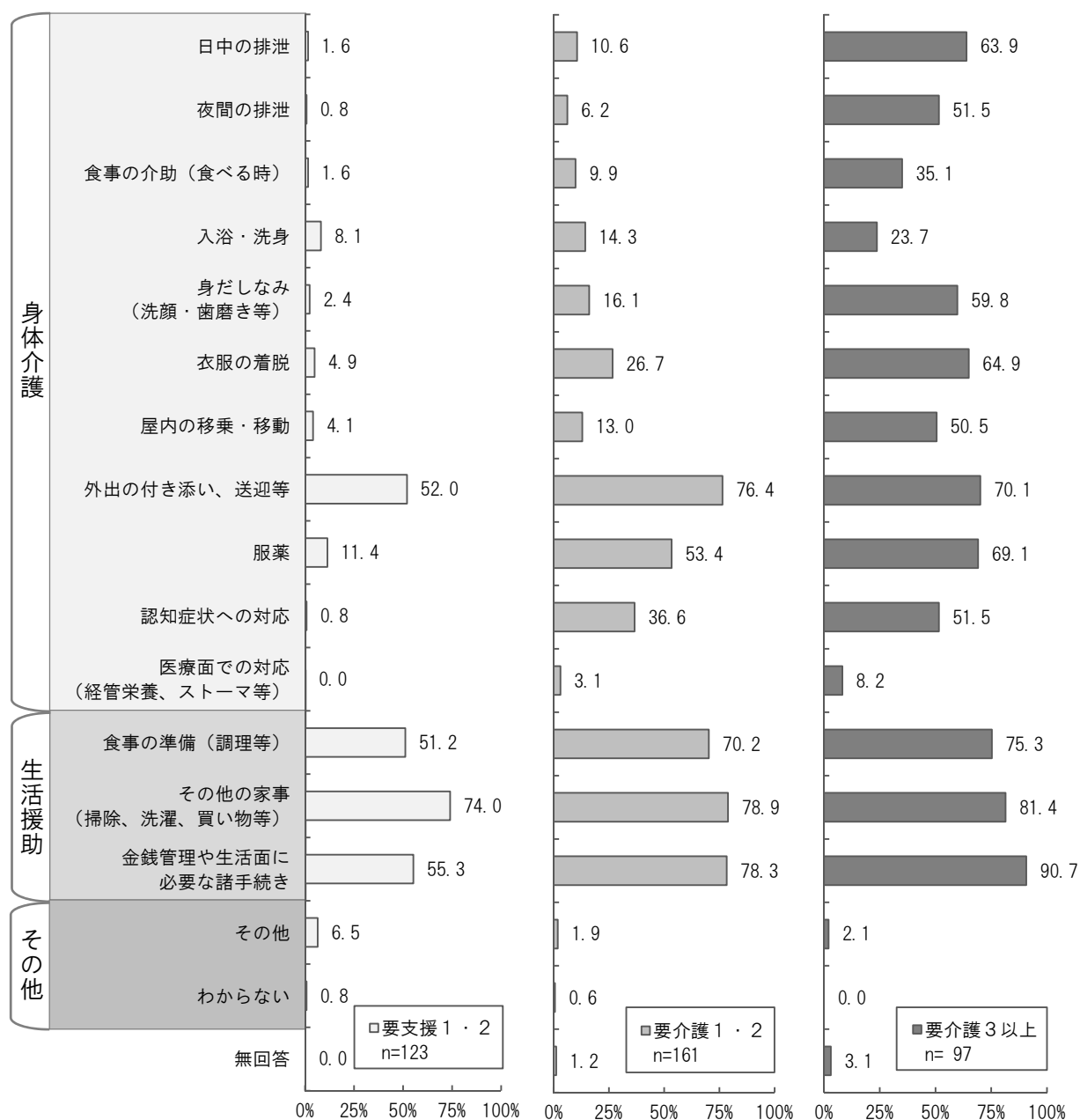


○主な介護者が行っている身体介護を介護度グループ別にみると、要支援１・２、要介護１・２、要介護３以上ともに「外出の付き添い、送迎等」（５２.０％・７６.４％・７０.１％）が最も高くなっています。

○また、「外出の付き添い、送迎等」以外の身体介護は、介護度が上がるにつれ割合が高くなり、特に「日中の排泄」は要介護１・２（１０.６％）と要介護３以上（６３.９％）の差が５３.３ポイントとなっています。

○生活援助を介護度グループ別にみると、要支援１・２、要介護１・２ではともに「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、要介護３以上は「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が最も高くなっています。

「A問６ 主な介護者が行っている介護等」×「介護度グループ」

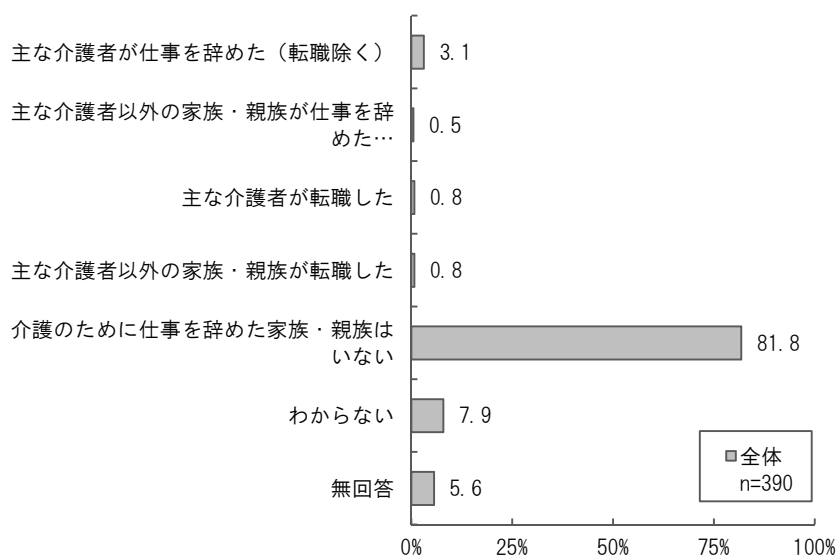


（３）家族・親族が介護のために離職・転職した状況

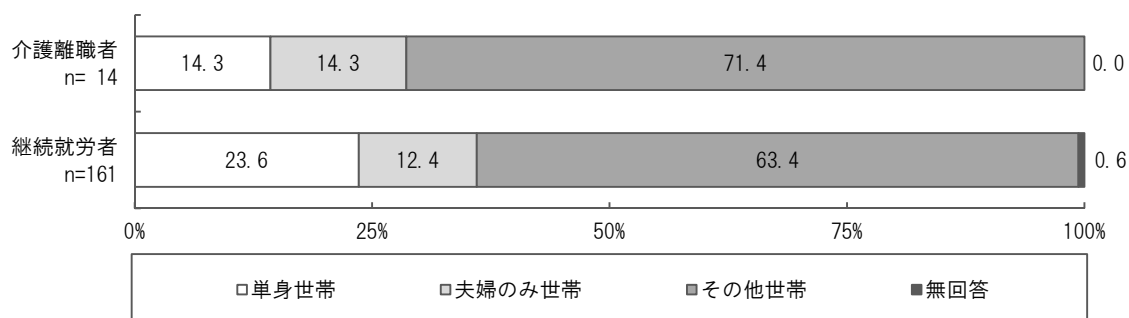
○介護を理由に家族・親族が離職した方（介護離職者）は、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（3.1%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（0.5%）を合わせた3.6%となっています。また、1.6%の方は転職しています。

○介護離職者・継続就労者別に要介護者の世帯状況をみると、「単身世帯」の割合は介護離職者より継続就労者が高く、一方、「夫婦のみ世帯」「その他世帯」の割合は介護離職者が高くなっています。

A問7 家族・親族の介護による退職・転職状況



「介護離職者・継続就労者別」×「A問1 世帯類型」

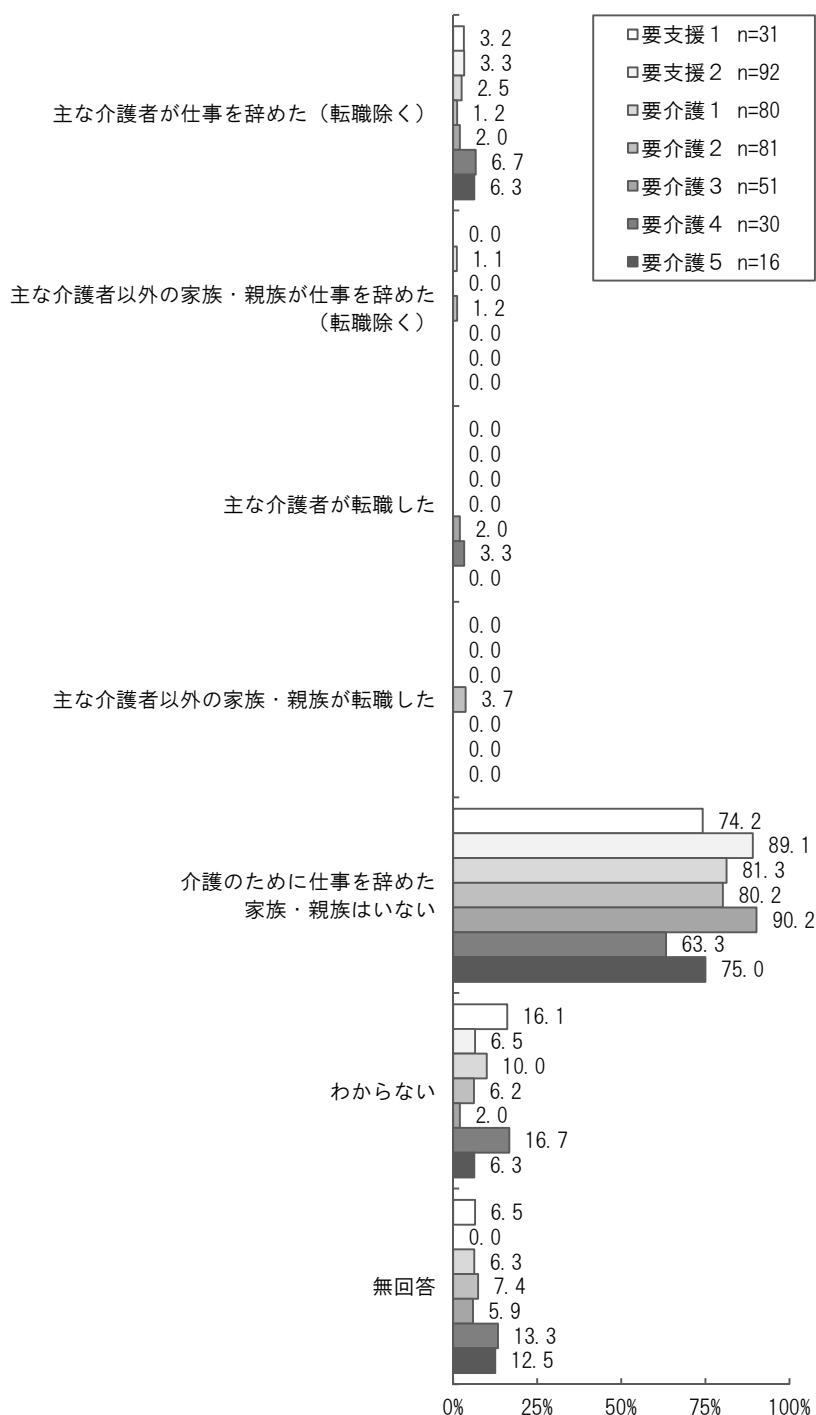


※介護離職者：A問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

※継続就労者：①A問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方と、
②A問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、B問1で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方の計です。

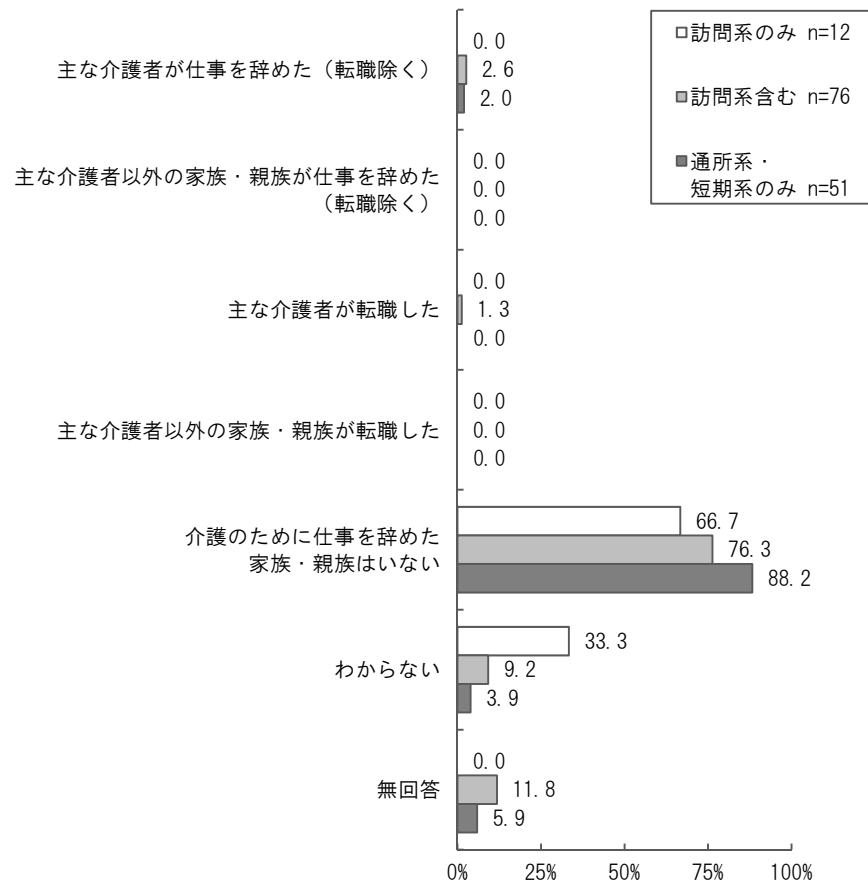
○家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況を介護度別にみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」または「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」と回答した介護離職者の割合は、要介護4（6.7%）が最も高く、次いで要介護5（6.3%）となっています。

「A問7 家族・親族の介護による退職・転職状況」×「介護度」



○家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況をサービス利用状況別にみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答した方は、通所系・短期系のみ（88.2%）の利用割合が最も高くなっています。一方、介護離職者のサービス利用割合は低く、ほとんど利用していない状況です。

「A問7 家族・親族の介護による退職・転職状況」×「利用サービス」



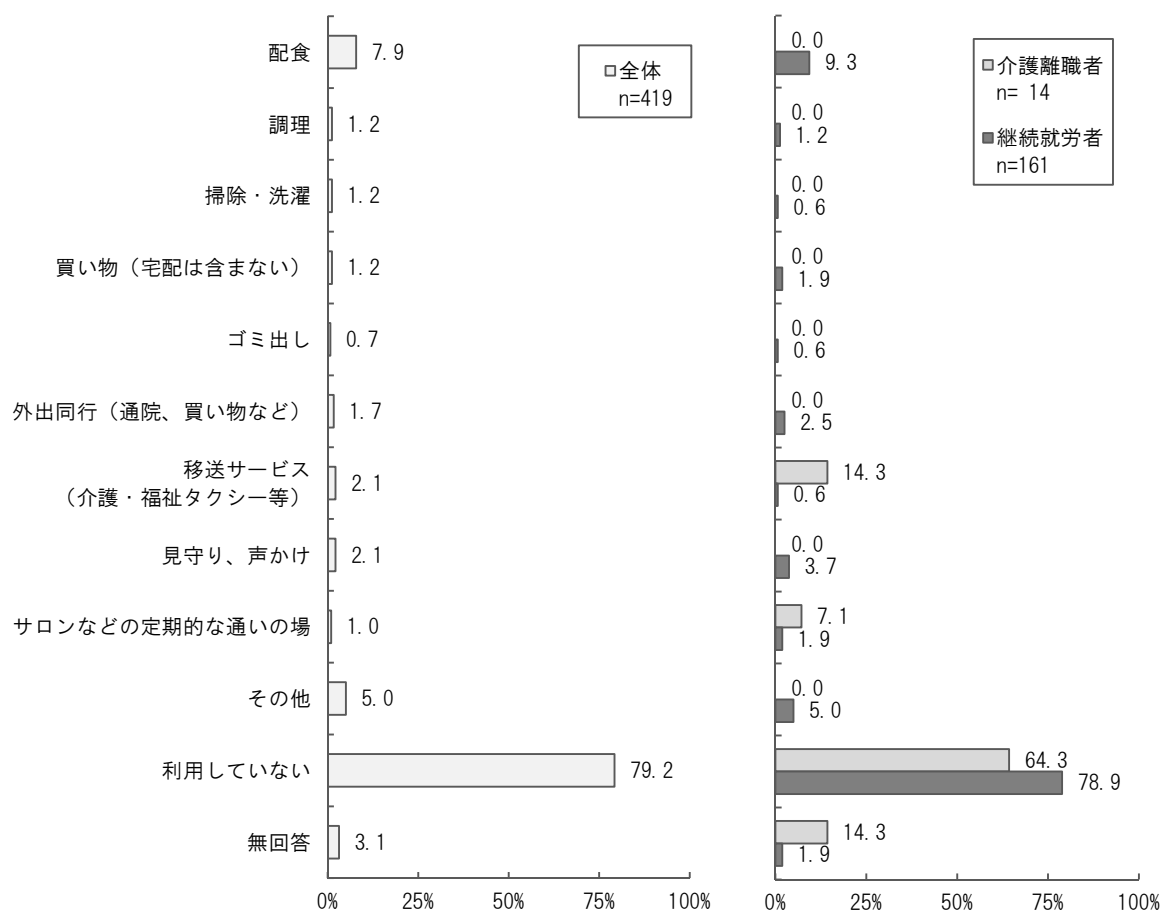
3 支援・サービス・訪問診療の利用状況・ニーズについて

(1) 介護保険サービス以外に利用している支援・サービス

○介護保険サービス以外の支援・サービスは、全体では「利用していない」(79.2%)が約8割となっています。一方、利用している支援・サービスをみると、「配食」が7.9%となっており、その他の項目でも1割に満たない状況です。

○介護離職者・継続就労者別にみると、「利用していない」方は介護離職者(64.3%)より継続就労者(78.9%)が14.6^{ポイント}高くなっています。

A問8 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況



※介護離職者：A問7で「仕事を辞めた(転職除く)」と回答(「1」「2」を選択)した方です。

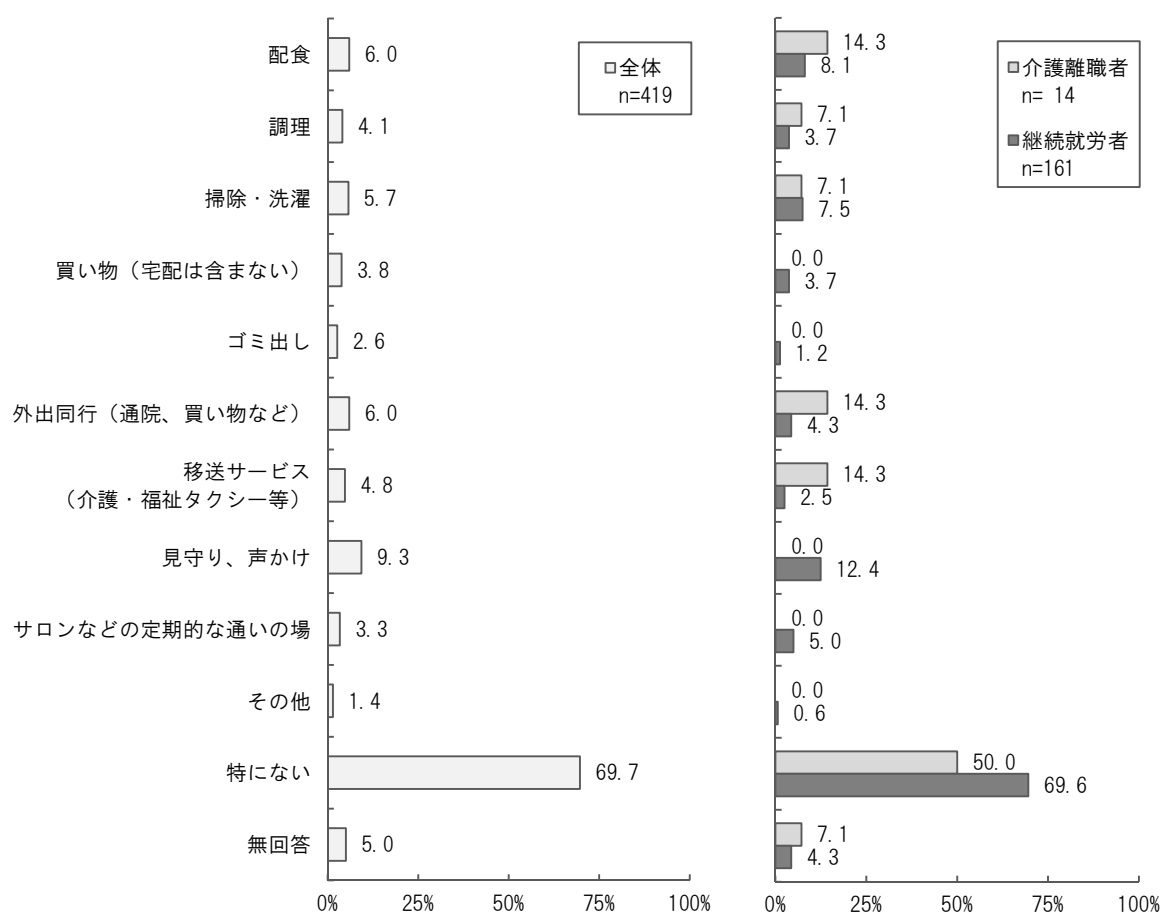
※継続就労者：①A問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方と、
②A問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、B問1で「働いている」と回答(「1」「2」を選択)した方の計です。

(2) 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービス

○在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスは、全体では「特にない」が約7割と最も高くなっています。支援・サービスの項目の中では「見守り、声かけ」(9.3%)、が最も高く、次いで「配食」「外出同行(通院、買い物など)」(各6.0%)、「掃除・洗濯」(5.7%)となっているものの、いずれも1割未満と低くなっています。

○介護離職者・継続就労者別にみると、介護離職者は「配食」「外出同行(通院、買い物など)」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(各14.3%)、継続就労者は「見守り、声かけ」(12.4%)が最も高くなっています。

A問9 在宅生活を今後も続けていくために必要な支援・サービス



※介護離職者：A問7で「仕事を辞めた(転職除く)」と回答(「1」「2」を選択)した方です。

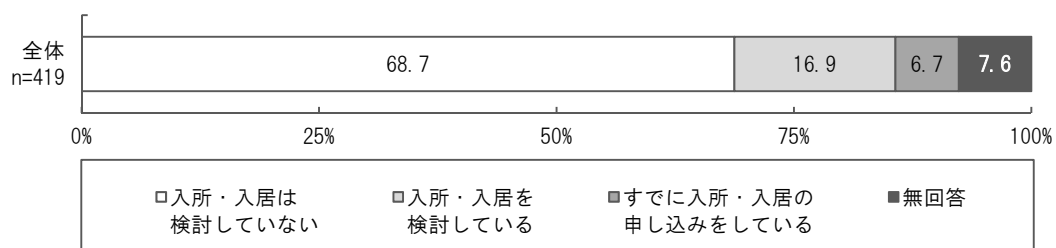
※継続就労者：①A問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方と、
②A問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、B問1で「働いている」と回答(「1」「2」を選択)した方の計です。

（３）施設等への入所・入居について

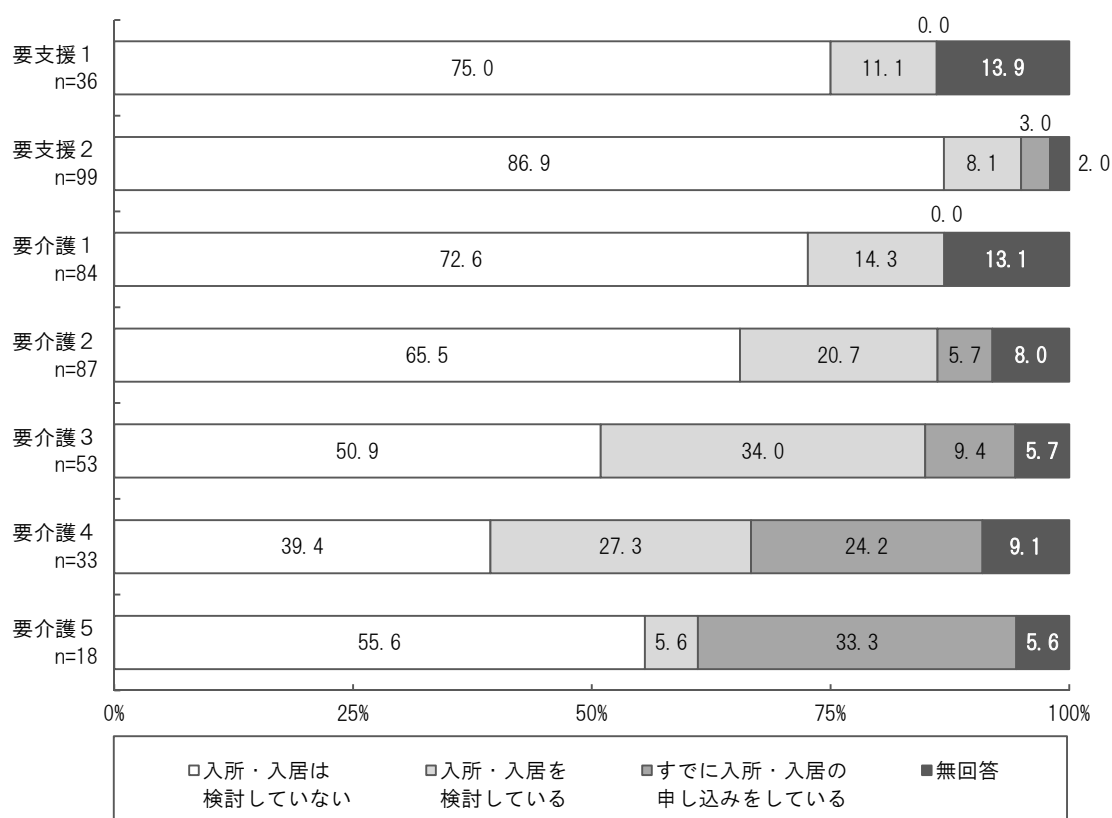
○施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた23.6%の方が入所・入居予定または検討中となっています。

○介護度別にみると、入所・入居予定または検討中の方の割合は、要介護2の2割台に対し、要介護3では4割台、要介護4では5割台と高くなっています。

A 問 10 施設等への入所・入居に関する検討状況



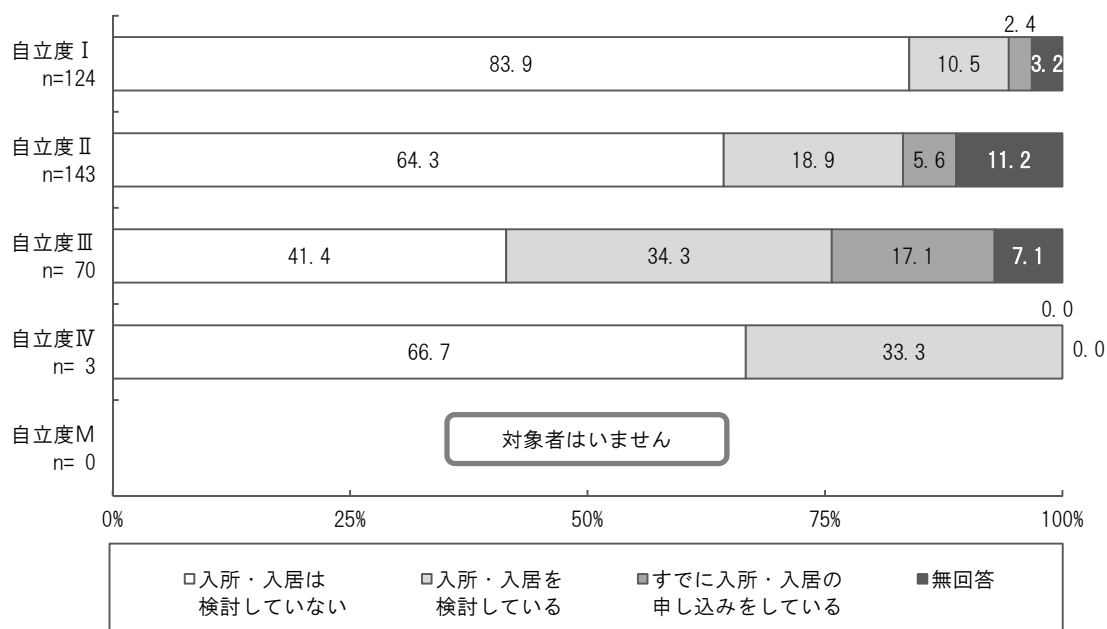
「A 問 10 施設等への入所・入居に関する検討」 × 「介護度」



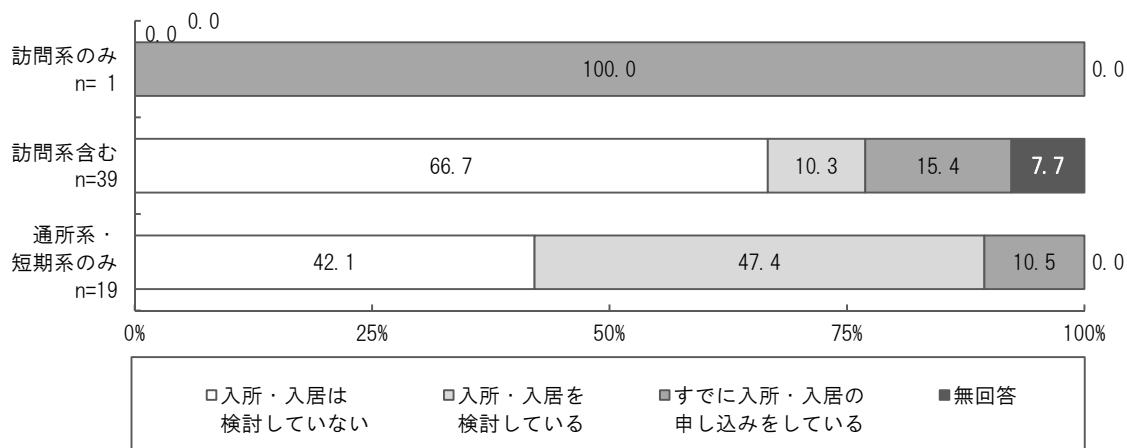
○認知症高齢者日常生活自立度別にみると、入所・入居予定または検討中の方の割合は、自立度Ⅱの2割台に対し、自立度Ⅲでは5割台と高くなっています。

○利用サービス別にみると、「入所・入居を検討している」通所系・短期系のみの利用者は47.4%と高くなっています。

「A問10 施設等への入所・入居に関する検討」×「認知症高齢者日常生活自立度」



「A問10 施設等への入所・入居に関する検討」×「利用サービス」(要介護度3以上)

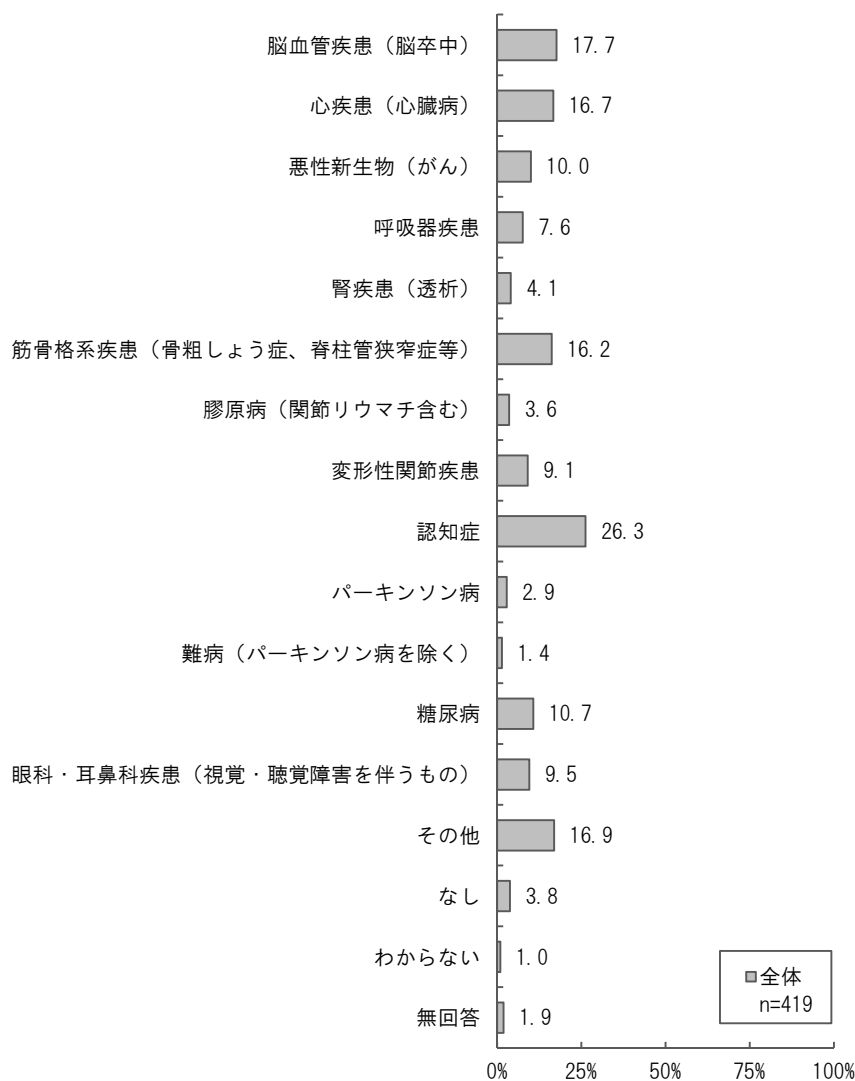


（４）現在の傷病状況と訪問診療の利用状況

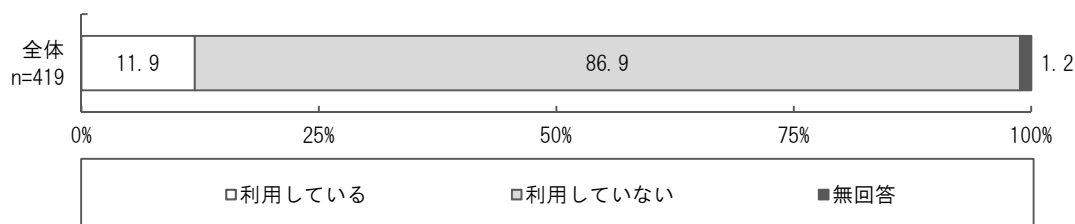
○現在抱えている傷病をみると、「認知症」（26.3%）が最も高く、次いで「脳血管疾患（脳卒中）」（17.7%）、「心疾患（心臓病）」（16.7%）となっています。

○訪問診療を「利用している」は11.9%となっています。

A 問 11 要介護者が現在抱えている傷病名



A 問 12 訪問診療の利用の有無

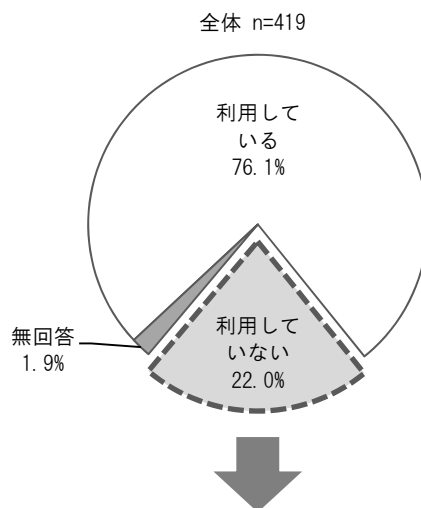


（５）介護保険サービスの利用状況

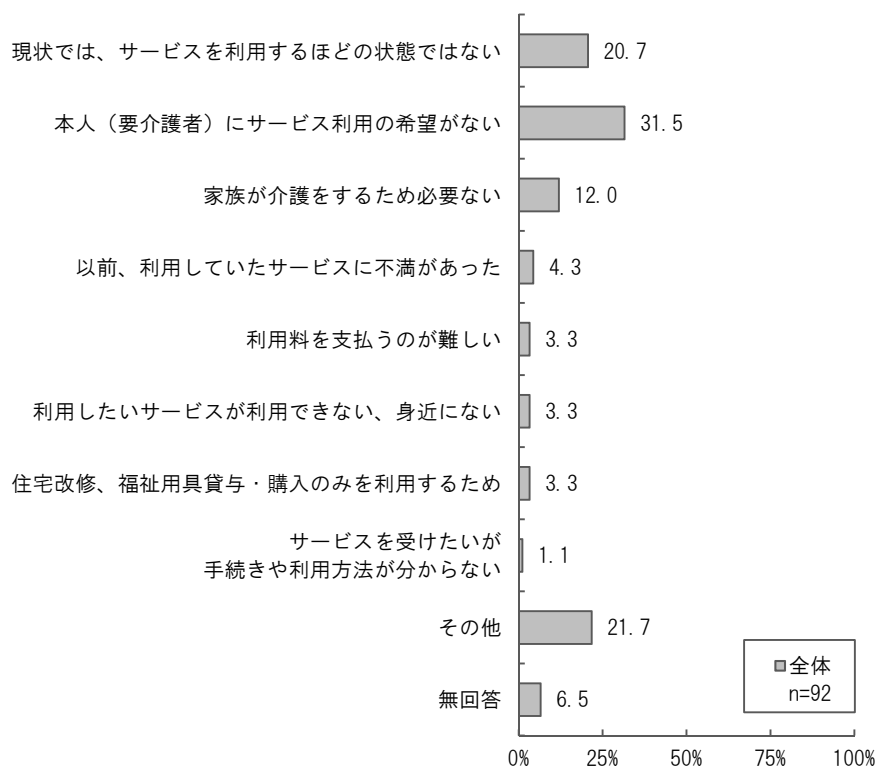
○（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを「利用している」は76.1%となっています。

○一方、「利用していない」は22.0%となり、その理由は「本人（要介護者）にサービス利用の希望がない」が31.5%と最も高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が20.7%、「家族が介護をするため必要ない」が12.0%となっています。

A問 13 介護保険サービスの利用状況



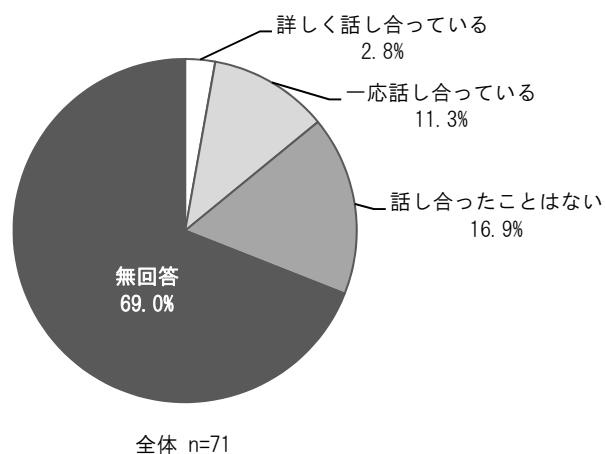
A問 14 介護保険サービスを利用していない理由



（６）終末期における医療・療養に関する意向について

○人生の最終段階における医療・療養に関する意向について、家族や医療介護関係者との話し合いの状況をみると、「詳しく話し合っている」は2.8%、「一応話し合っている」は11.3%となっています。

A問 15 人生の最終段階において、医療・療養を受けるかについて
家族や医療介護関係者と話し合っているか

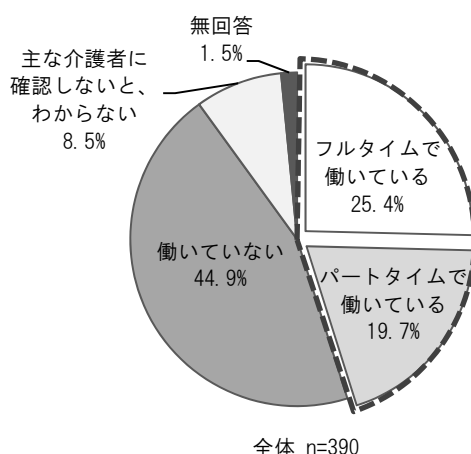


4 主な介護者の就労状況について

(1) 主な介護者の勤務形態

○主な介護者の現在の勤務形態をみると、「フルタイムで働いている」(25.4%)と「パートタイムで働いている」(19.7%)を合わせた45.1%の方が介護をしながら働いている状況です。

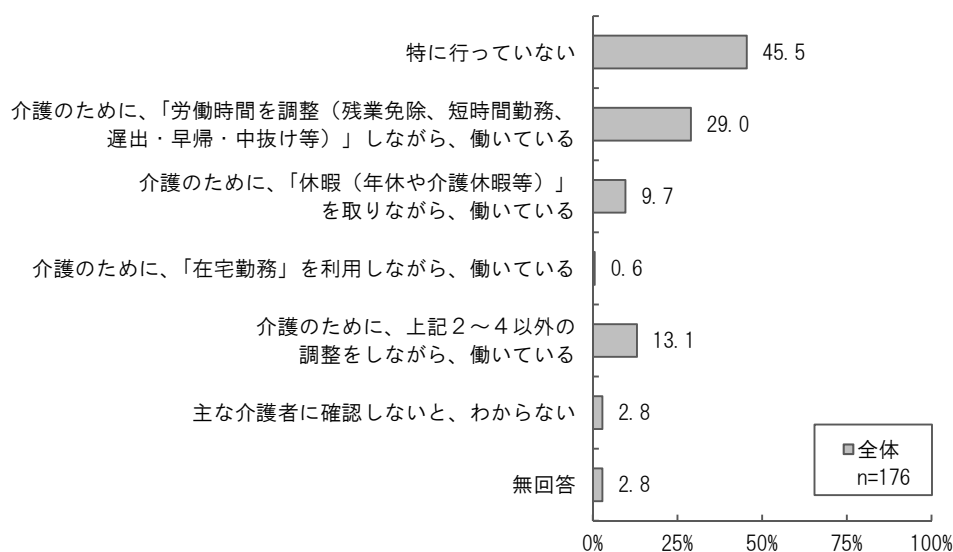
B問1 主な介護者の現在の勤務形態



(2) 就労している介護者の就労実態と意向

○介護による働き方の調整をみると、「特に行っていない」(45.5%)が最も高いものの、29.0%の方は「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」、9.7%の方は「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」などの調整をしていると回答しています。

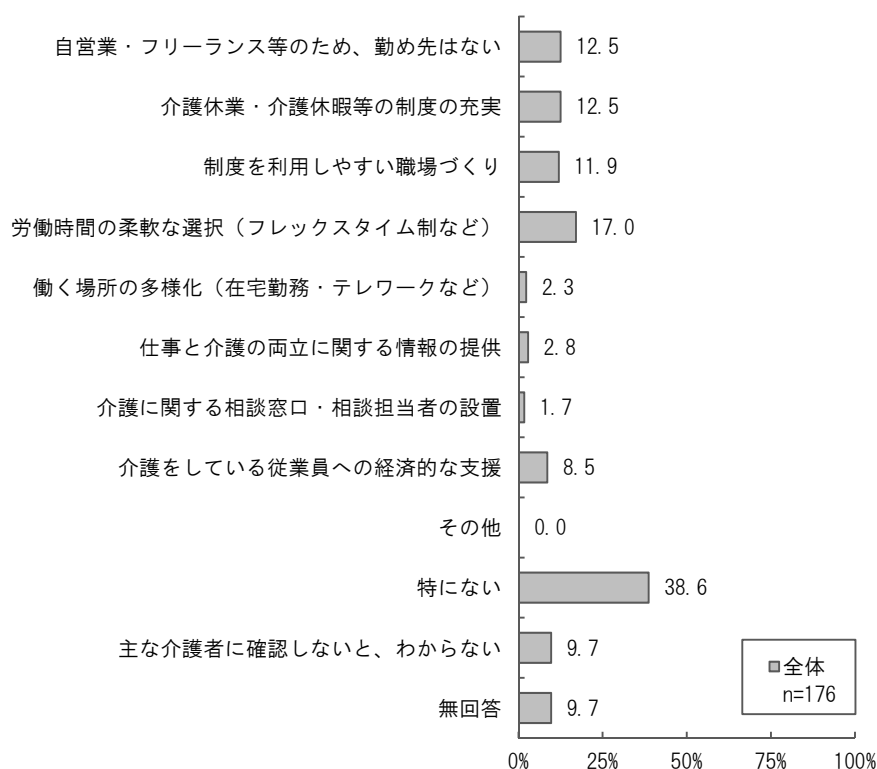
B問2 働き方を調整しているか



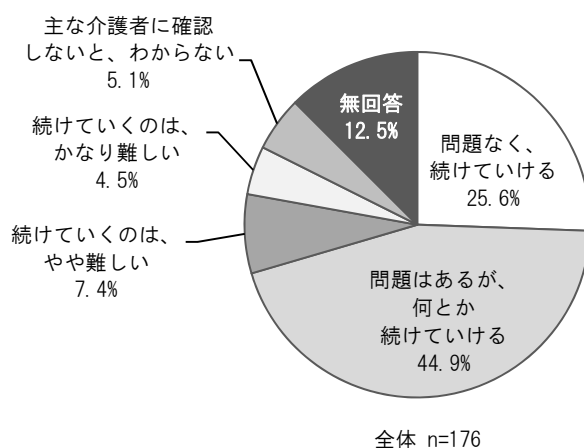
○仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は、17.0%の方が「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、12.5%の方が「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、11.9%が「制度を利用しやすい職場づくり」と回答していますが、約4割の方は「特にない」としています。

○今後の介護と仕事の両立について、「問題なく、続けていける」（25.6%）と「問題はあるが、何とか続けていける」（44.9%）を合わせた継続できる方は70.5%、一方、「続けていくのは、やや難しい」（7.4%）と「続けていくのは、かなり難しい」（4.5%）を合わせた継続が困難な方は11.9%となっています。

B問3 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援



B問4 今後も働きながら介護を続けられるか



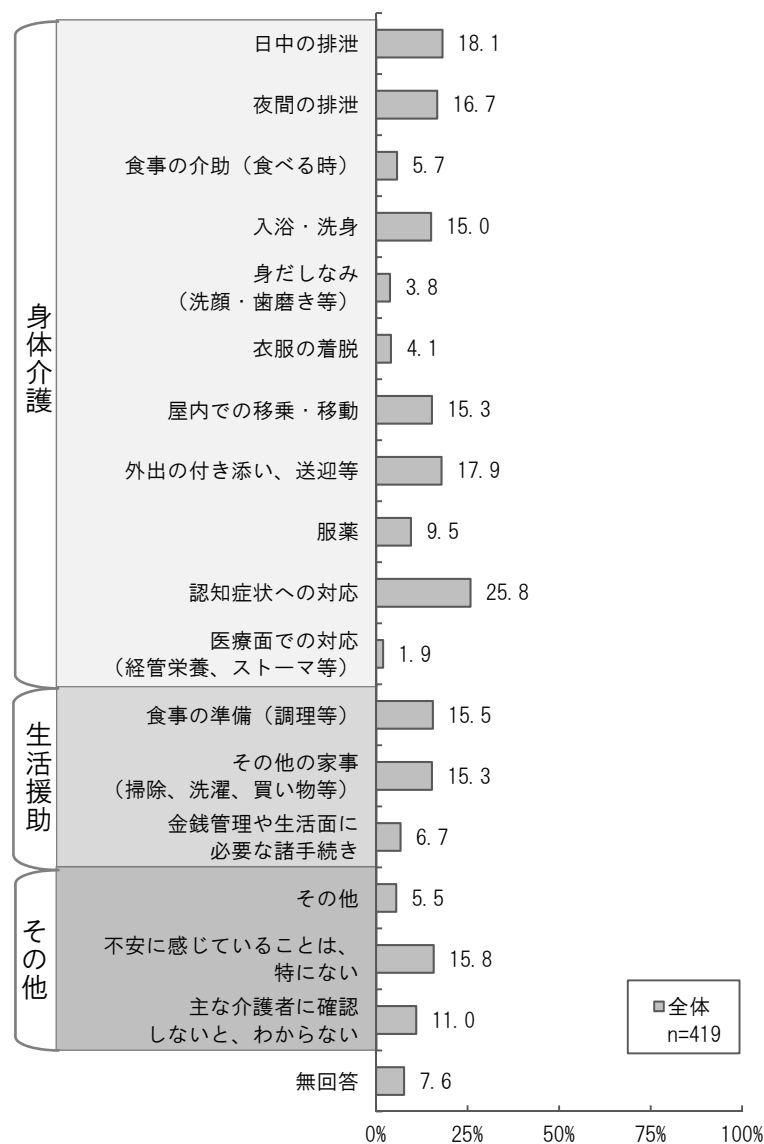
5 介護生活が続ける際の不安や困りごと

(1) 主な介護者が不安に感じる介護等の内容

○主な介護者が不安に感じる身体介護は、「認知症状への対応」(25.8%)が最も高く、次いで「日中の排泄」(18.1%)、「外出の付き添い、送迎等」(17.9%)となっています。

○生活援助では、「食事の準備(調理等)」(15.5%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(15.3%)で高くなっています。

B問5 主な介護者が不安に感じる介護等

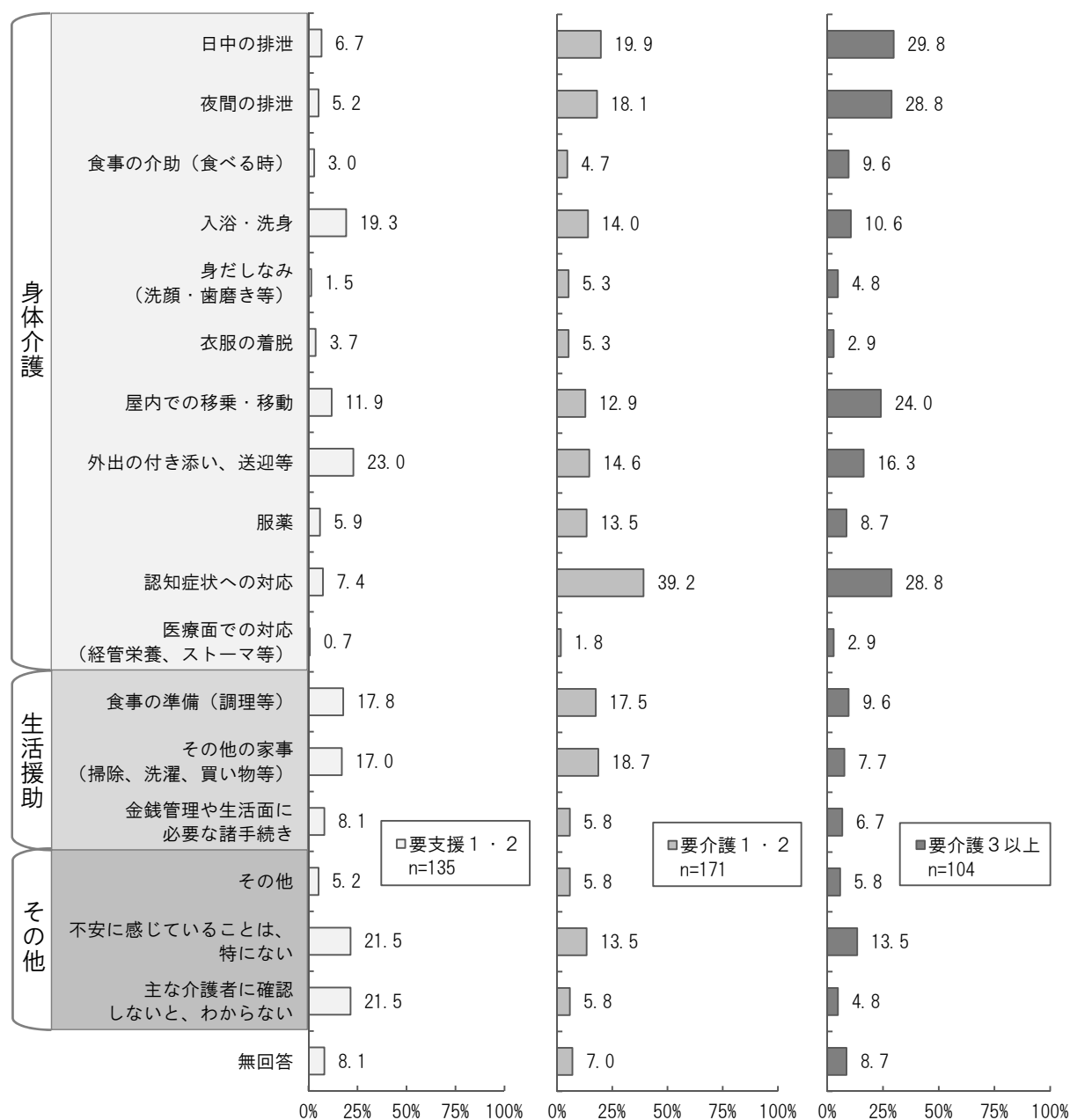


○主な介護者が不安に感じる身体介護を介護度グループ別にみると、要支援１・２は「外出の付き添い、送迎等」（23.0%）、要介護１・２は「認知症状への対応」（39.2%）、要介護３以上は「日中の排泄」（29.8%）が最も高くなっています。

○また、「日中の排泄」「夜間の排泄」は介護度が上がるにつれ、顕著に割合が高くなっています。

○生活援助を介護度グループ別にみると、「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」では要介護３以上が要支援１・２、要介護１・２より割合が低くなっています。

「B問５ 主な介護者が不安に感じる介護等」×「介護度グループ」



6 介護離職の要因について

主な介護者の介護離職に関する要因を調べるために、(1) 主な介護者の介護環境、(2) 主な介護者の就労環境、(3) 要介護者の様態、(4) 介護給付サービス等の利用状況等について介護離職者と継続就労者との差を比較しました。

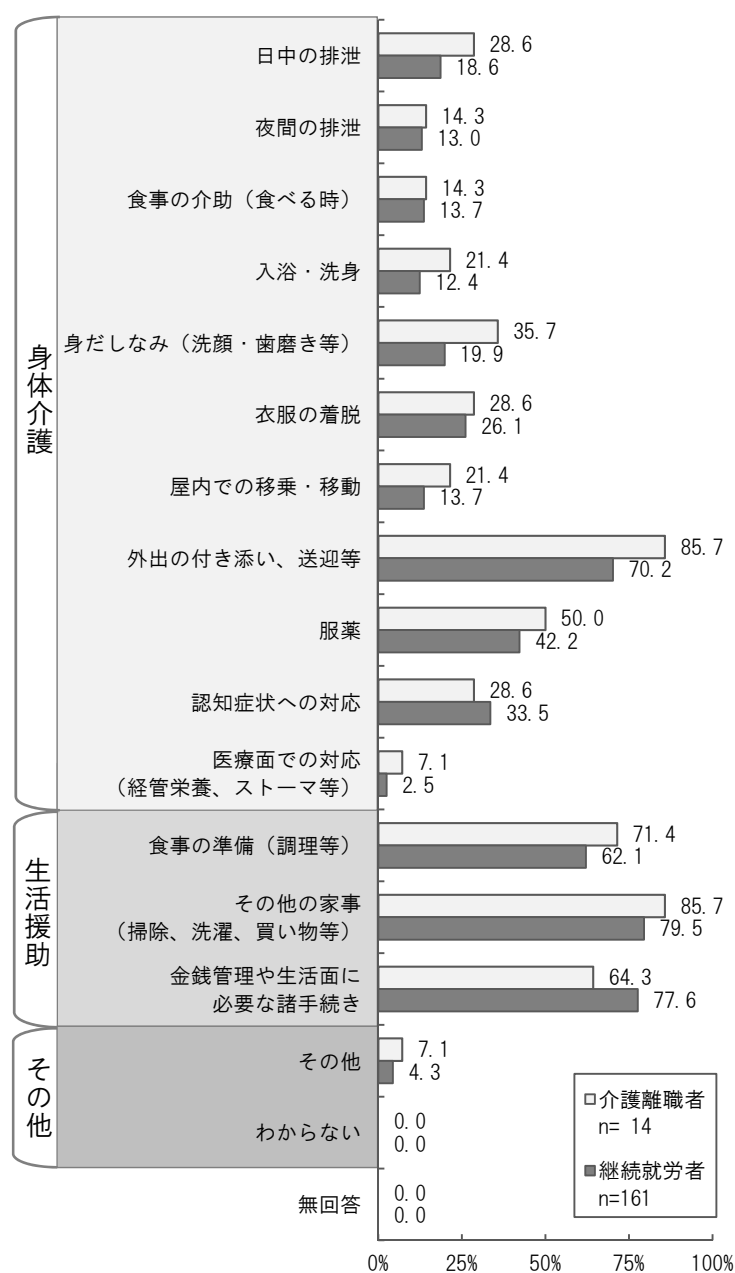
(1) 主な介護者を取り巻く介護環境等

① 介護者が行っている介護内容

○主な介護者が行っている身体介護を介護離職者・継続就労者別にみると、介護離職者・継続就労者ともに「外出の付き添い、送迎等」(85.7%・70.2%)が最も高く、次いで「服薬」(50.0%・42.2%)となっています。また、生活援助の3項目は介護離職者・継続就労者ともに6割以上と高くなっています。

○介護離職者と継続就労者で割合差が大きい身体介護は、「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」が15.8^{ポイント}、「外出の付き添い、送迎等」が15.5^{ポイント}、「日中の排泄」が10.0^{ポイント}、「入浴・洗身」が9.0^{ポイント}となり、いずれも介護離職者の割合が高くなっています。

「介護離職者・継続就労者別」×「A問6 主な介護者が行っている介護等」



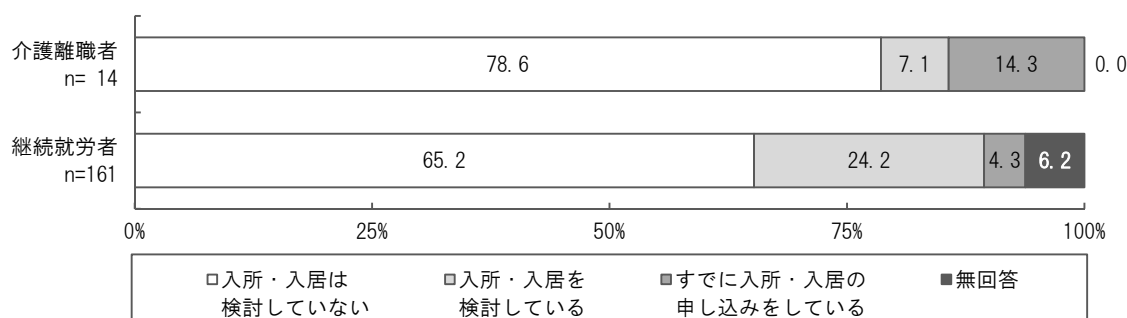
※介護離職者：A問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

※継続就労者：①A問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方と、
②A問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、B問1で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方の計です。

② 施設等への入所・入居の検討

○施設等への入所・入居に関する検討状況を介護離職者・継続就労者別にみると、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた入所・入居予定または検討中の方は、介護離職者が21.4%、継続就労者が28.5%となっています。

「介護離職者・継続就労者別」×「A問10 施設等への入所・入居に関する検討状況」



※介護離職者：A問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

※継続就労者：①A問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方と、
②A問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、
B問1で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方の計です。

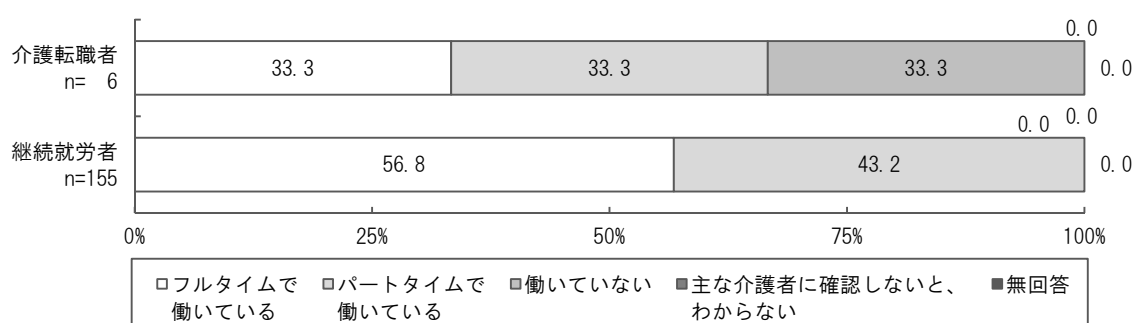
（2）就業している主な介護者に関する就労環境

ここでは、就労している主な介護者を介護のために転職をした「介護転職者」と「継続就労者」に分け、比較しています。（ただし、介護転職者は対象者が少数のため、コメントを省略します。）

① 現在の勤務形態

○継続就労者は「フルタイムで働いている」が56.8%、「パートタイムで働いている」が43.2%となっています。

「介護転職者・継続就労者別」×「B問1 主な介護者の現在の勤務形態」



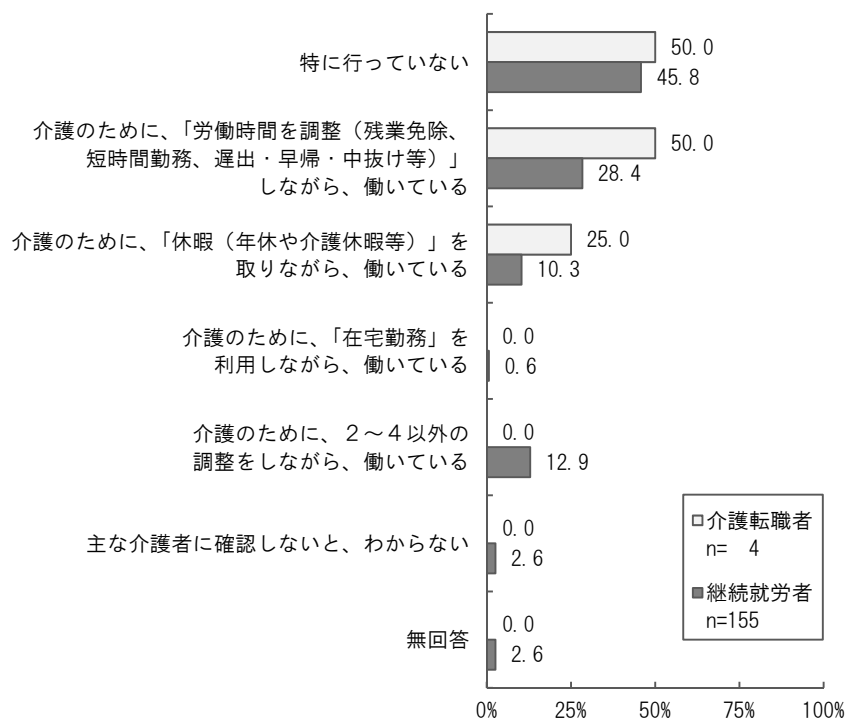
※介護転職者：A問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方です。

※継続就労者：A問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、B問1で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

② 介護のために働き方の調整等

○継続就労者の働き方の調整状況をみると、「特に行っていない」（45.8%）が最も高いものの、28.4%の方は「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」、10.3%の方は「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」などの調整をしていると回答しています。

「介護転職者・継続就労者別」×「B問2 働き方を調整しているか」



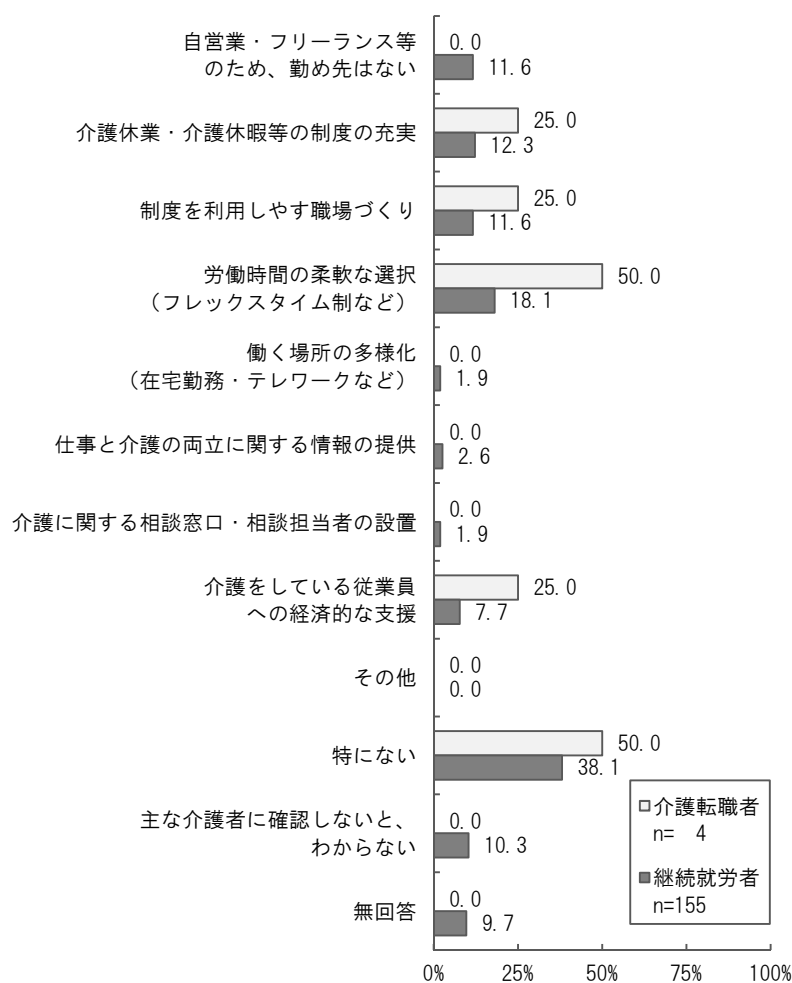
※介護転職者：A問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方です。

※継続就労者：A問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、B問1で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

③ 仕事と介護の両立に効果的な職場の支援内容

○継続就労者が仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は、18.1%の方が「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、12.3%の方が「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、11.6%の方が「制度を利用しやすい職場づくり」と回答しています。

「介護転職者・継続就労者別」
×
「B問3 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援」



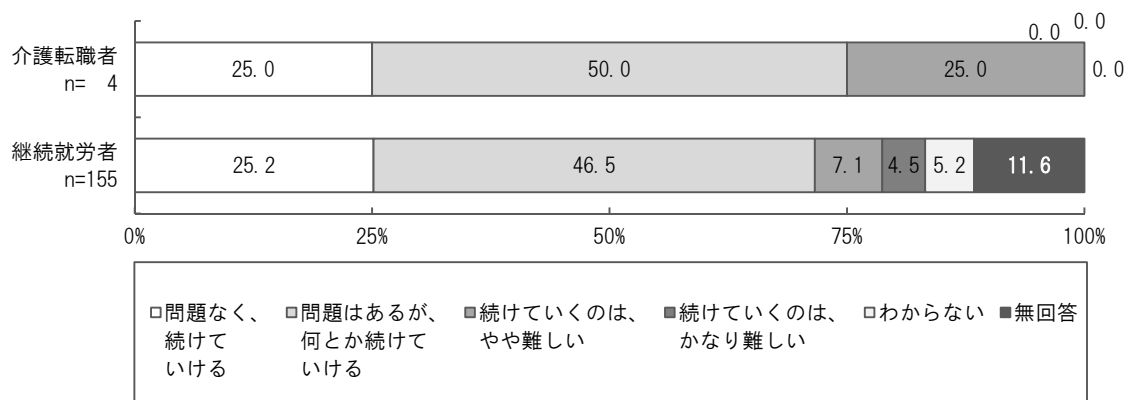
※介護転職者：A問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方です。

※継続就労者：A問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、B問1で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

④ 仕事と介護の両立に関して継続する意向

○継続就労者の今後の介護と仕事の両立について、「続けていくのは、やや難しい」は7.1%、「続けていくのは、かなり難しい」は4.5%となり、合わせて11.6%の方が継続が困難であると回答しています。

「介護転職者・継続就労者別」×「B問4 今後も働きながら介護を続けていけそうか」



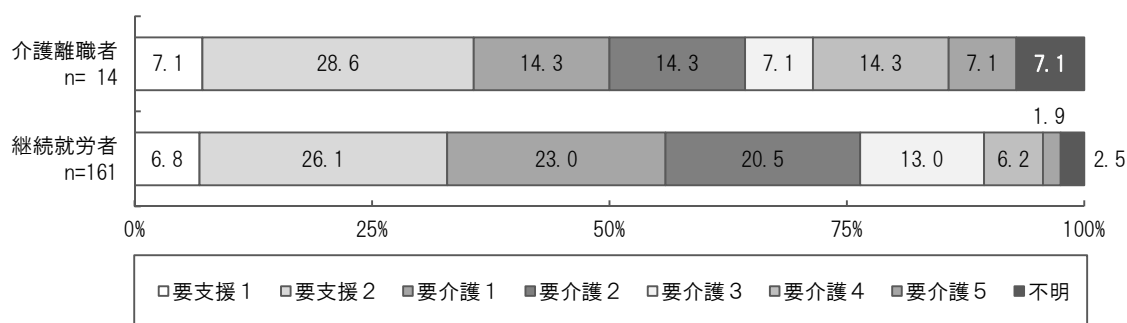
※介護転職者：A問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方です。

※継続就労者：A問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、B問1で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

（3）要介護者の様態

○介護している方の介護度を介護離職者・継続就労者別にみると、「要介護3以上」の重度認定者は前者が28.5%、後者が21.1%となり、前者が7.4ポイント高くなっています。

「介護離職者・継続就労者別」×「要介護者の介護度」



※介護離職者：A問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

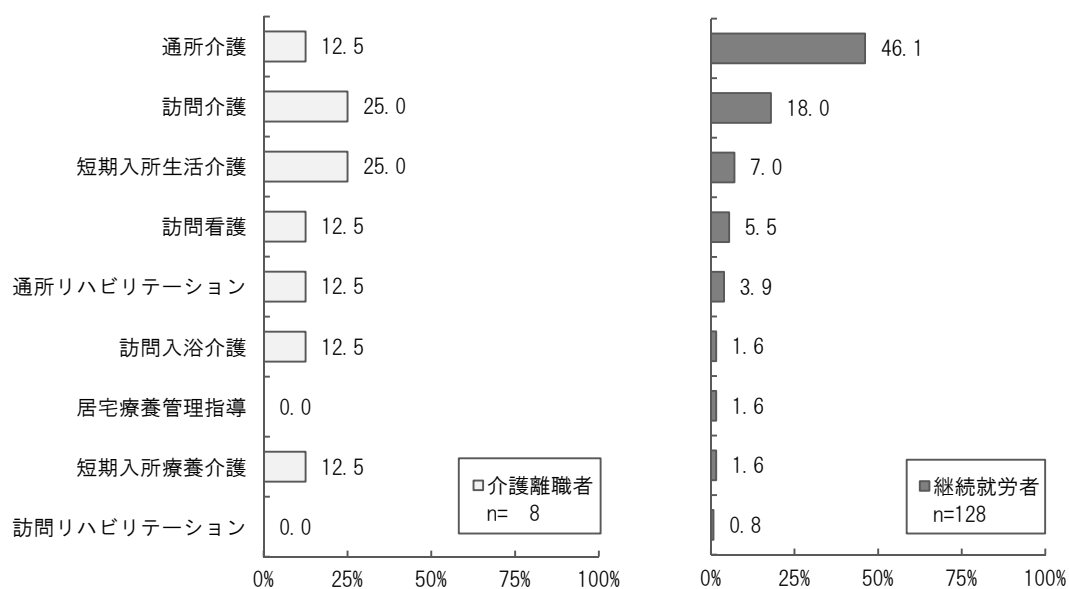
※継続就労者：①A問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方と、
②A問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、B問1で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方の計です。

（４）介護給付サービス等の利用状況

① 介護給付サービスの利用状況

○介護保険サービスの利用状況をみると、継続就労者では「通所介護」（46.1％）が最も高く、次いで「訪問介護」（18.0％）、「短期入所生活介護」（7.0％）となっています。
（介護離職者は対象者が少数のため、コメントを省略します。）

「介護離職者・継続就労者別」×「サービス利用状況」



※介護離職者：A問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

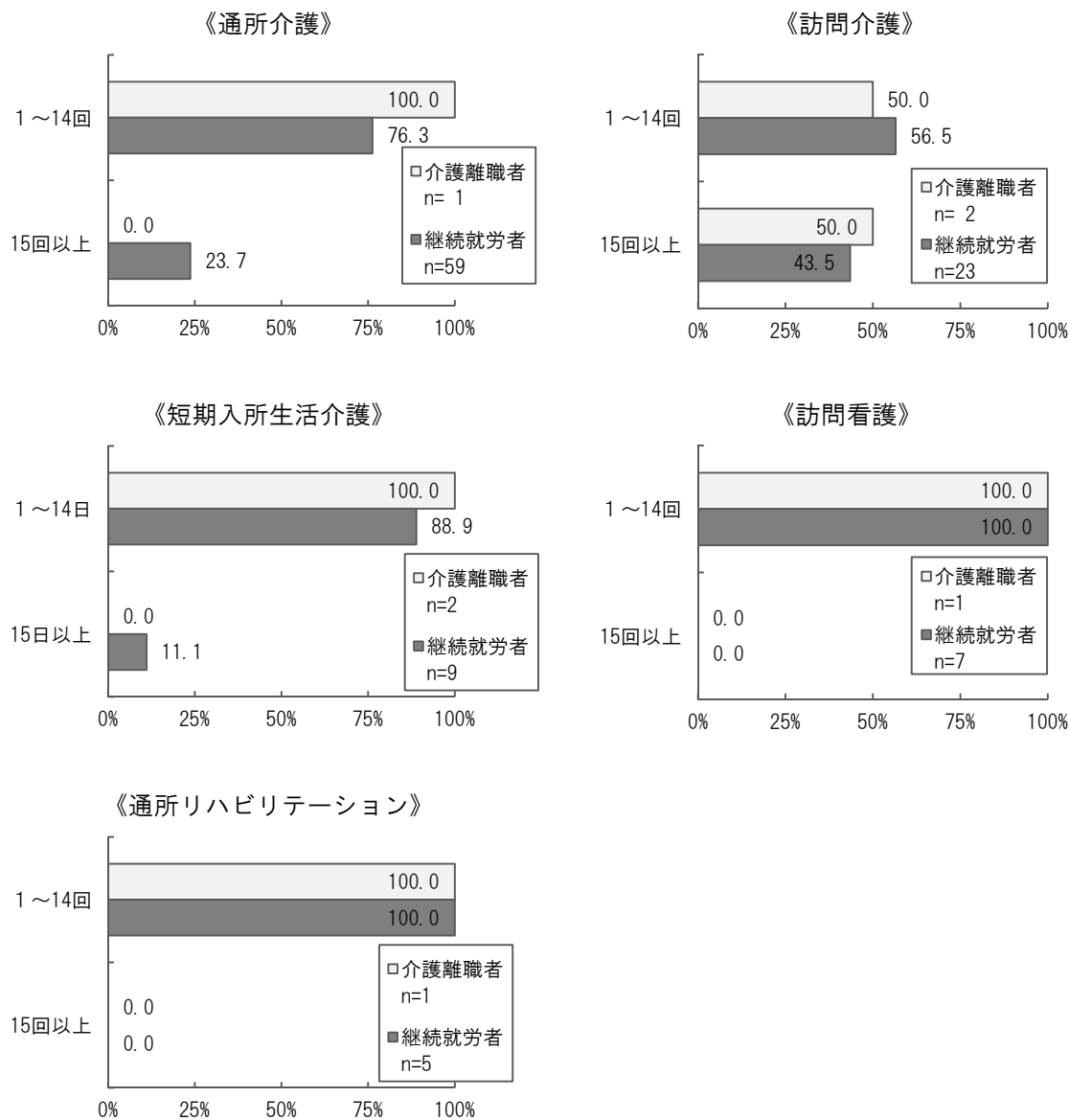
※継続就労者：①A問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方と、
②A問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、B問1で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方の計です。

② 介護給付サービス別の実回（日）数

○継続就労者の利用割合上位5位のサービスについて利用実回（日）数をみると、訪問介護以外では介護離職者・継続就労者ともに「1～14回（日）」の利用の割合が高くなっています。

（介護離職者は対象者が少数のため、コメントを省略します。）

「介護離職者・継続就労者別」×「要介護者のサービス利用回（日）数」（継続就労者の上位5位）



※介護離職者：A問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方です。

※継続就労者：①A問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方と、
②A問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、B問1で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方の計です。

第4章

日常生活圏域別地域分析

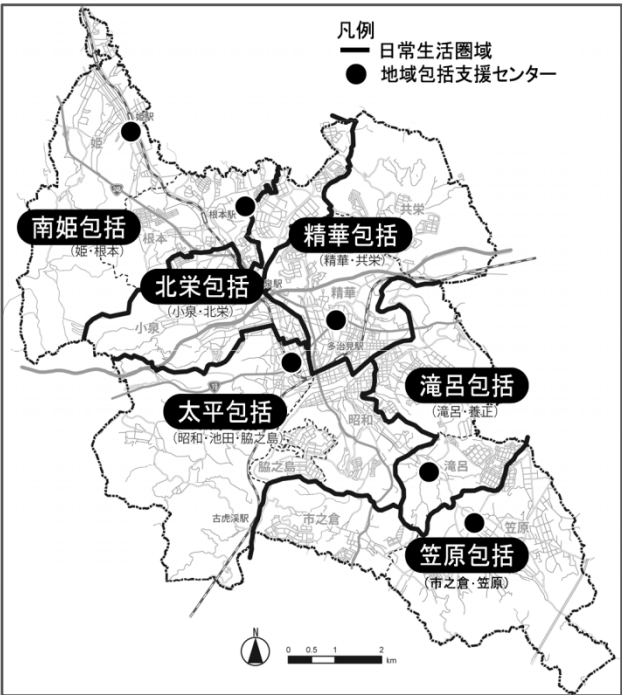
第4章 日常生活圏域別地域分析

第4章は調査結果から6つの地域包括支援センター圏域別に市全域と比較しながら、高齢者の健康自立度や生活実態、地域の活動やたすけあいの状況など、各圏域の地域特性を分析しました。

圏域名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者率 (%)
市全域	110,231	33,179	30.1	16,782	16,397	14.9
滝呂包括	17,598	5,396	30.7	2,433	2,963	16.8
太平包括	19,873	6,204	31.2	3,346	2,858	14.4
精華包括	19,295	4,585	23.8	2,136	2,449	12.7
南姫包括	16,430	5,399	32.9	2,800	2,599	15.8
北栄包括	20,991	5,815	27.7	3,195	2,620	12.5
笠原包括	16,044	5,780	36.0	2,872	2,908	18.1

圏域名	一般高齢者 (人)	要支援 認定者 (人)	要介護 認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3～5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
市全域	29,048	950	3,181	12.5	1,708	5.1
滝呂包括	4,686	180	530	13.2	290	5.4
太平包括	5,432	177	595	12.4	312	5.0
精華包括	3,897	174	514	15.0	263	5.7
南姫包括	4,758	162	479	11.9	258	4.7
北栄包括	5,174	134	507	11.0	276	4.8
笠原包括	5,101	123	556	11.7	309	5.3

※上記の数値は令和元年12月1日現在

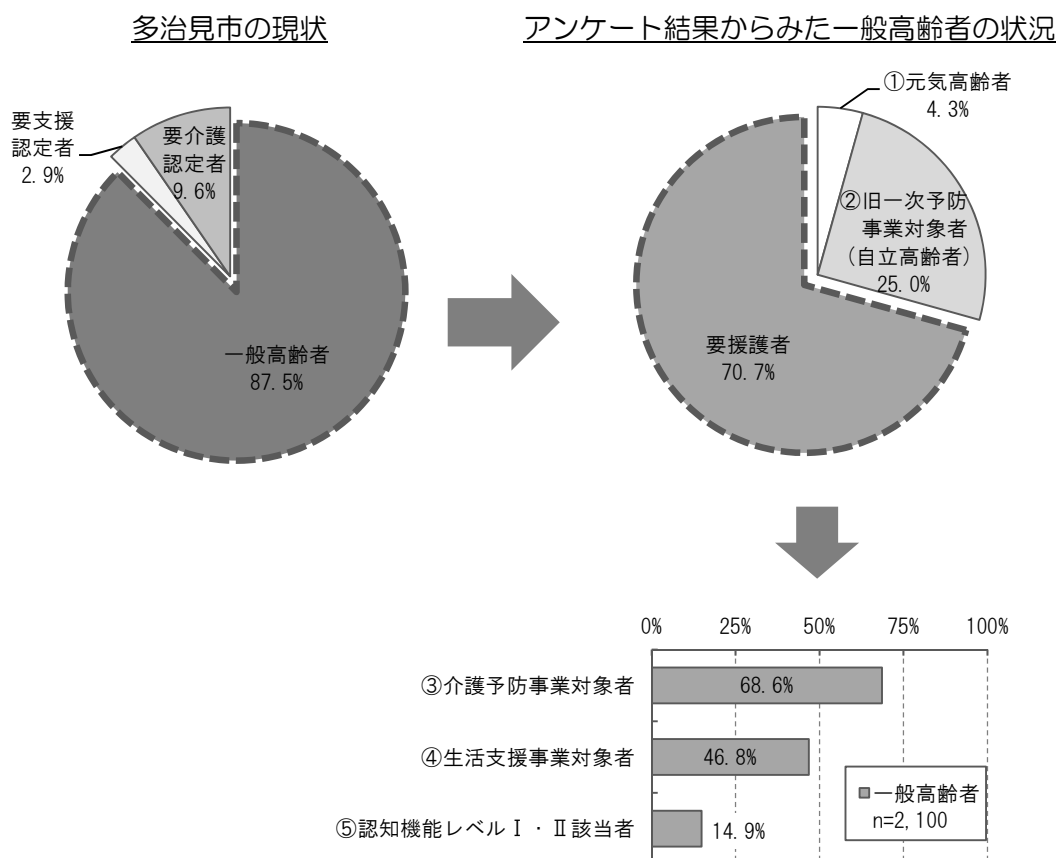


1 “5つの高齢者像”からみた地域分析

本市における令和元年12月現在の認定者数は4,131人（認定率12.5%）となっています。一方、認定者を除いた一般高齢者数は29,048人と高齢者人口の9割近くを占めています。

また、調査結果から高齢者像別に出現率をみると、要援護者は70.7%、旧一次予防事業対象者は25.0%、元気高齢者は4.3%となっています。

図 5.1 高齢者像別出現率



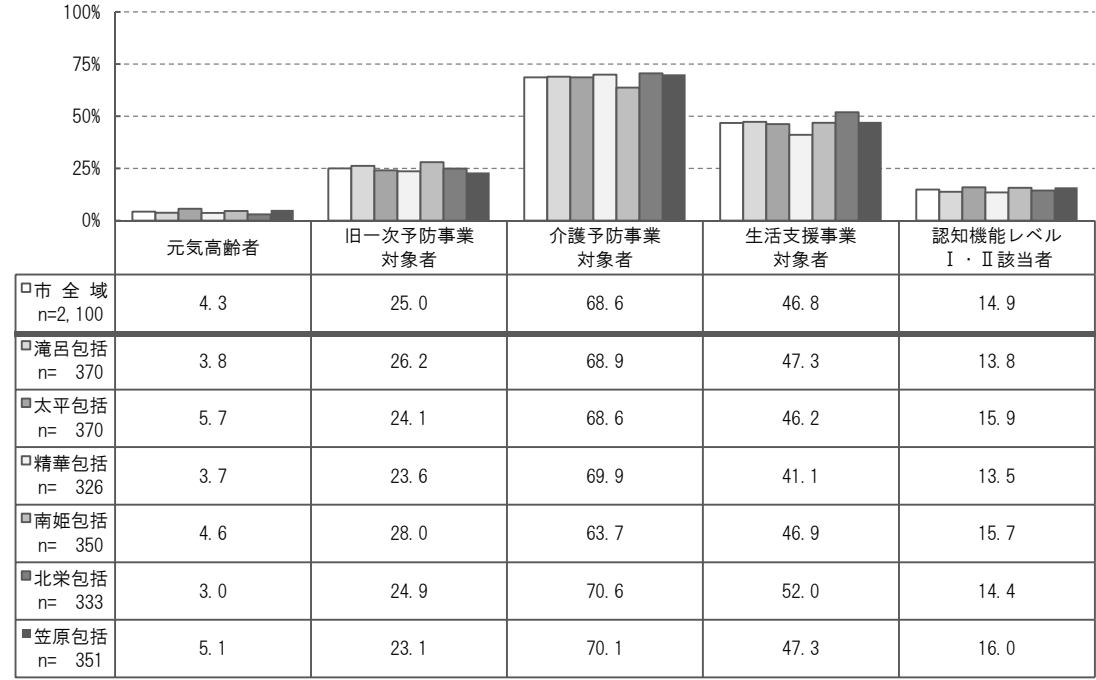
※「介護予防事業対象者」「生活支援事業対象者」「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」には重複があります。

※「旧一次予防事業対象者」は、一般高齢者から元気高齢者や要援護者（介護予防事業対象者、生活支援事業対象者、認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者）を除いた高齢者です。

○一般高齢者について、5つの高齢者像別出現率を圏域別にみると、元気高齢者は〈太平包括〉、旧一次予防事業対象者は〈南姫包括〉が最も高くなっています。

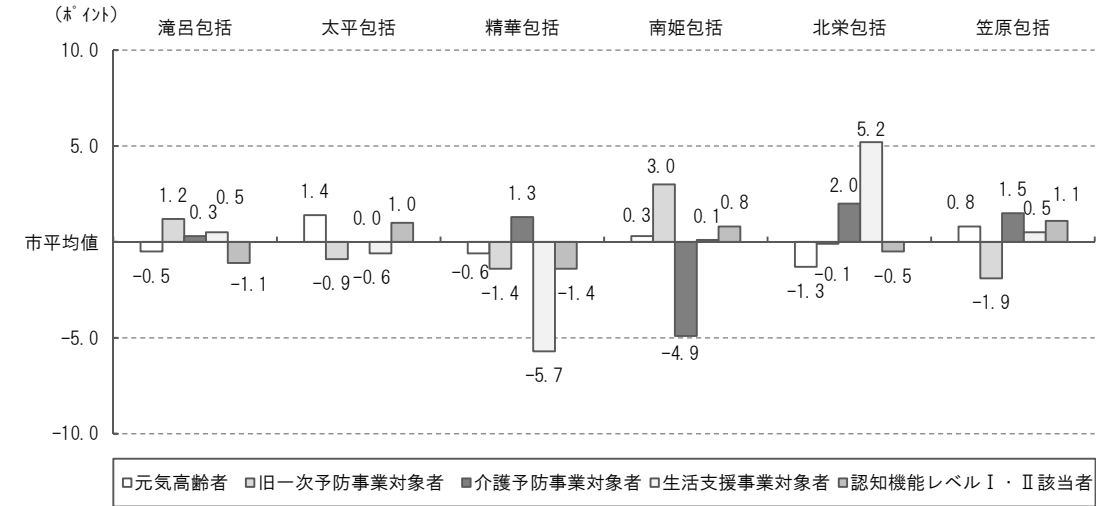
○一方、要援護者となる介護予防事業対象者と生活支援事業対象者は〈北栄包括〉、認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者は〈笠原包括〉が最も高くなっています。

図 5.2 5つの高齢者像別出現率



※「旧一次予防事業対象者」…一般高齢者全体から元気高齢者、介護予防事業対象者、生活支援事業対象者、認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者を除いた高齢者です。

図 5.3 5つの高齢者像別出現率の地域差



※市全域の出現率を市平均値（0.0）とします。

2 介護予防・日常生活支援総合事業に関する出現率と地域差

(1) 介護予防事業対象者の状況

○介護予防事業対象者の出現率の地域差をみると、一般高齢者では〈北栄包括〉が2.0ポイント、〈笠原包括〉が1.5ポイント、〈精華包括〉が1.3ポイント、〈滝呂包括〉が0.3ポイント市平均値より高くなっています。

図 5.4 介護予防事業対象者出現率

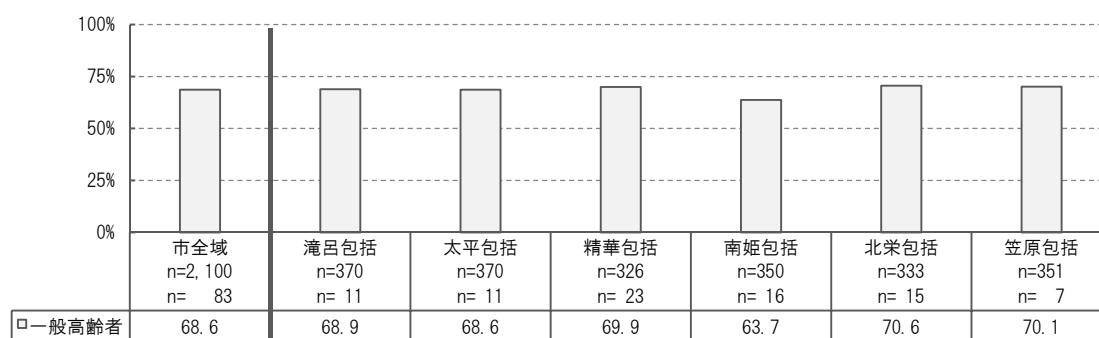
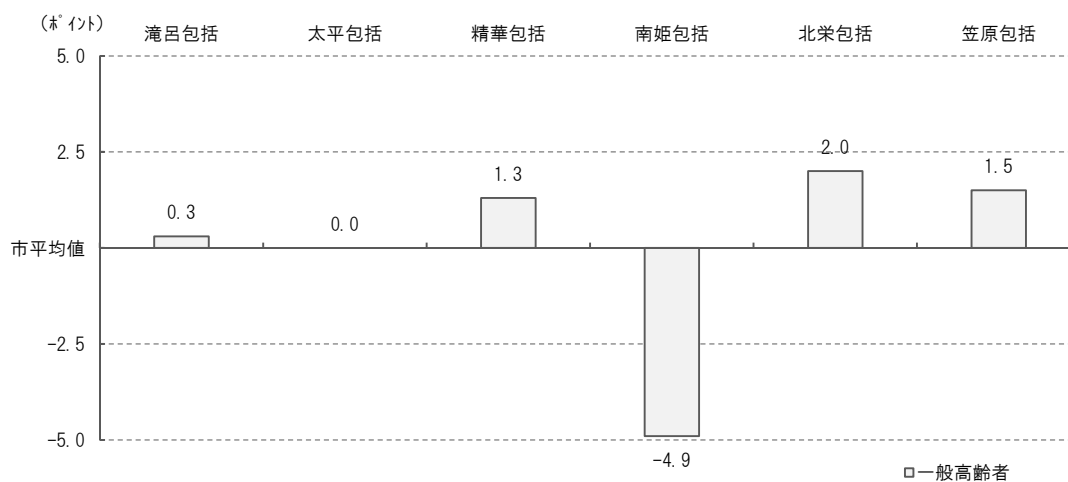


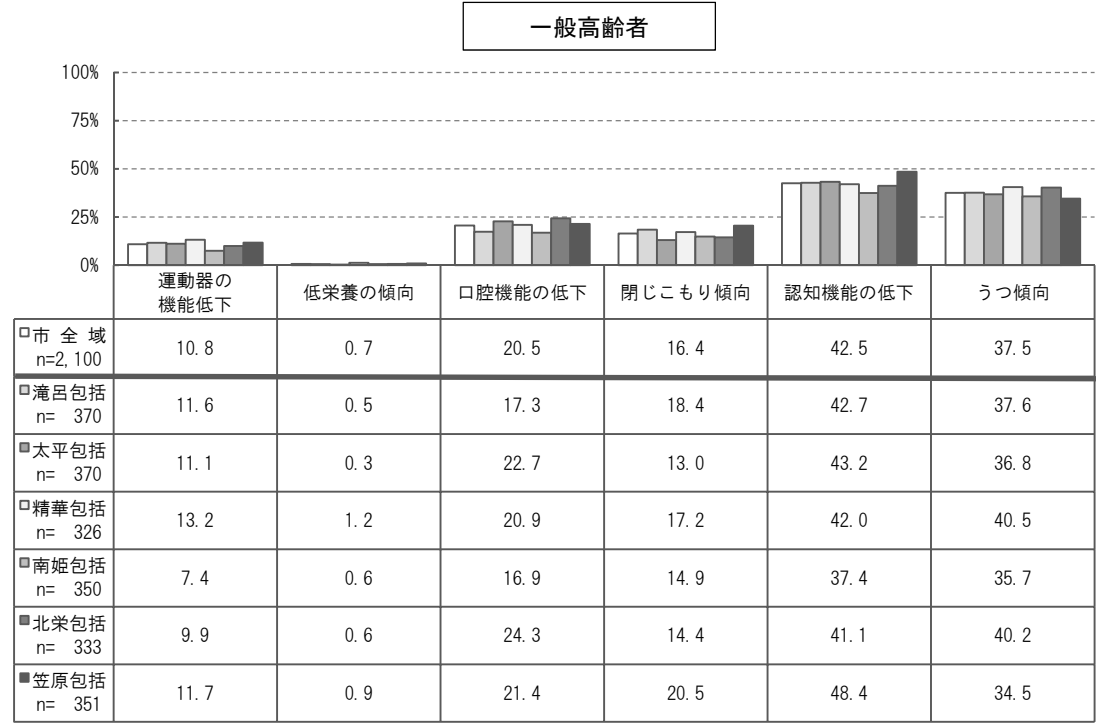
図 5.5 介護予防事業対象者出現率の地域差



(2) リスクに該当する高齢者の状況

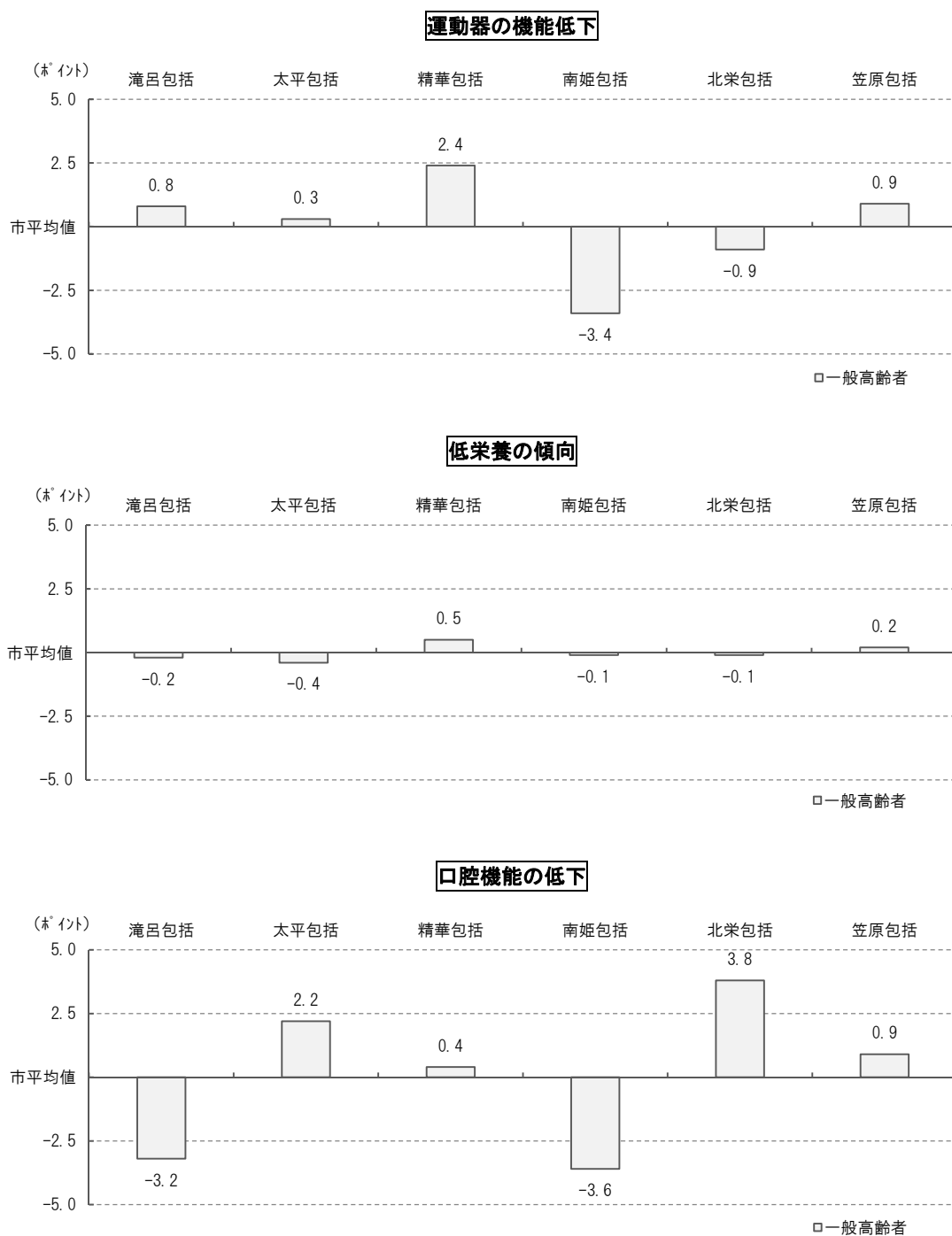
○市全域のリスク別出現率をみると、一般高齢者では「認知機能の低下」(42.5%)が最も高く、次いで「うつ傾向」(37.5%)、「口腔機能の低下」(20.5%)となっています。

図 5.6 リスクに該当する高齢者の出現率



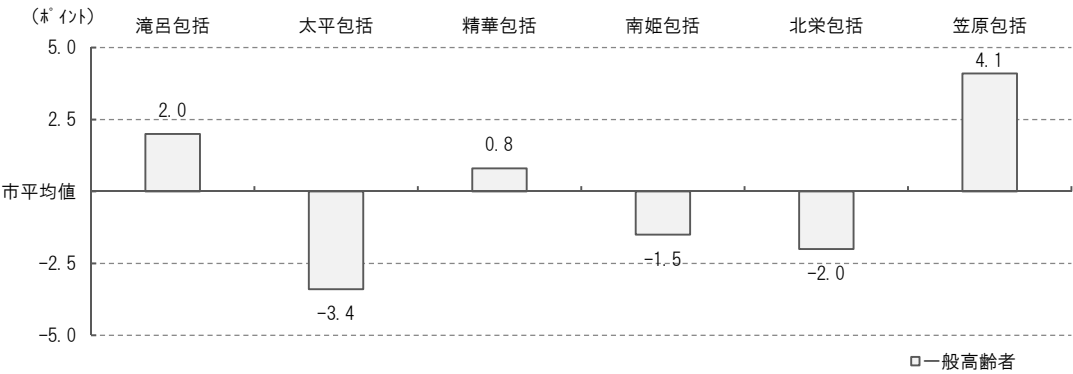
- 「運動器の機能低下」リスク者出現率の地域差をみると、一般高齢者では〈精華包括〉〈笠原包括〉〈滝呂包括〉〈太平包括〉が市平均値より高くなっています。
- 「低栄養の傾向」をみると、一般高齢者では〈精華包括〉〈笠原包括〉が市平均値より高くなっています。
- 「口腔機能の低下」をみると、一般高齢者では〈北栄包括〉〈太平包括〉〈笠原包括〉〈精華包括〉が市平均値より高くなっています。

図 5.7 リスク者出現率の地域差

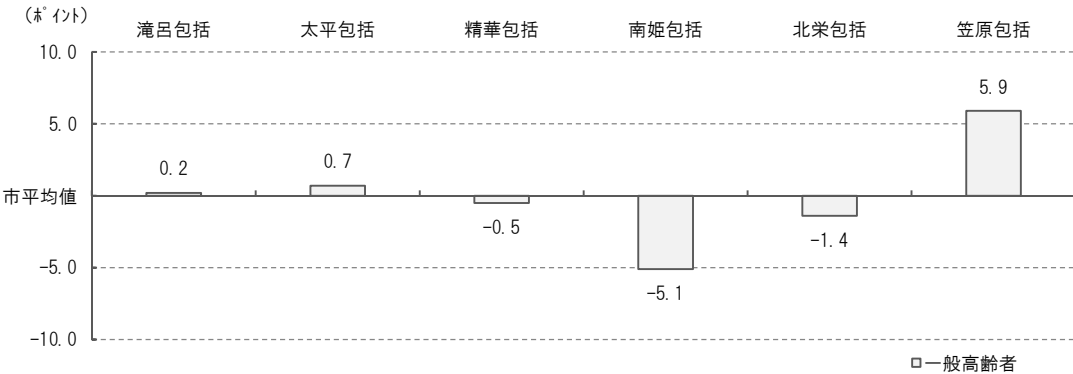


- 「閉じこもり傾向」をみると、一般高齢者では〈笠原包括〉〈滝呂包括〉〈精華包括〉が市平均値より高くなっています。
- 「認知機能の低下」をみると、一般高齢者では〈笠原包括〉〈太平包括〉〈滝呂包括〉が市平均値より高くなっています。
- 「うつ傾向」をみると、一般高齢者では〈精華包括〉〈北栄包括〉〈滝呂包括〉が市平均値より高くなっています。

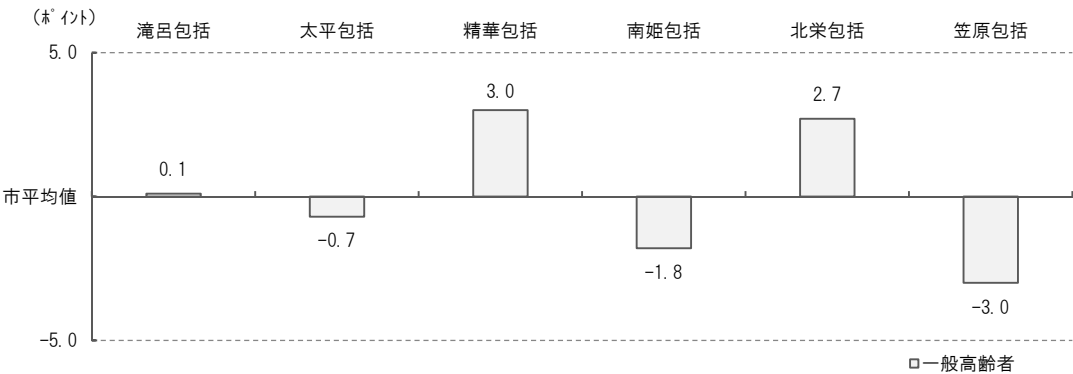
閉じこもり傾向



認知機能の低下



うつ傾向



（３）生活支援事業対象者の状況

○生活支援事業対象者の出現率の地域差をみると、一般高齢者では〈北栄包括〉が5.2ポイント、〈滝呂包括〉〈笠原包括〉が各0.5ポイント、〈南姫包括〉が0.1ポイント市平均値より高くなっています。

図 5.8 生活支援事業対象者出現率

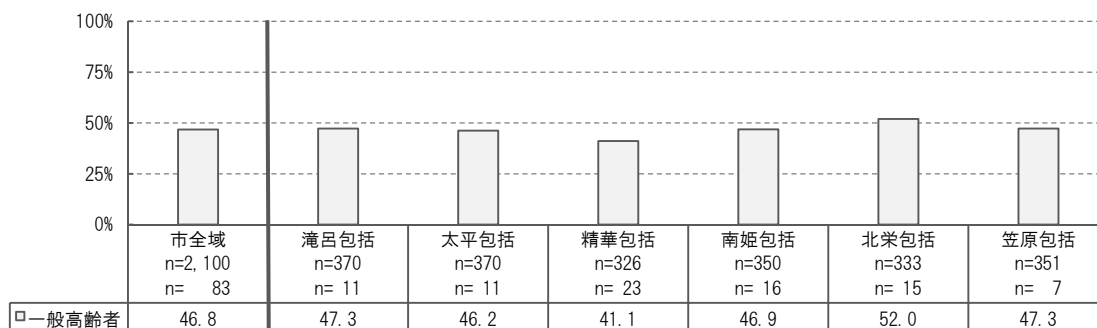
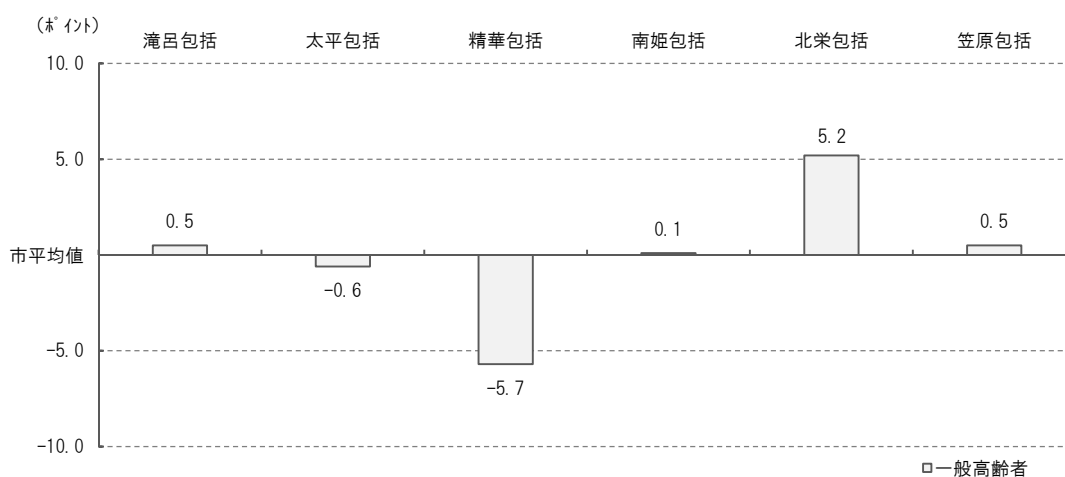


図 5.9 生活支援事業対象者出現率の地域差



(4) 生活支援を担う元気高齢者の状況

○元気高齢者の出現率の地域差をみると、〈太平包括〉が1.4^{ポイント}、〈笠原包括〉が0.8^{ポイント}、〈南姫包括〉が0.3^{ポイント}市平均値より高くなっています。

○元気高齢者の推計人数をみると、市全域で約1.2千人となる見込みです。

図 5.10 元気高齢者出現率

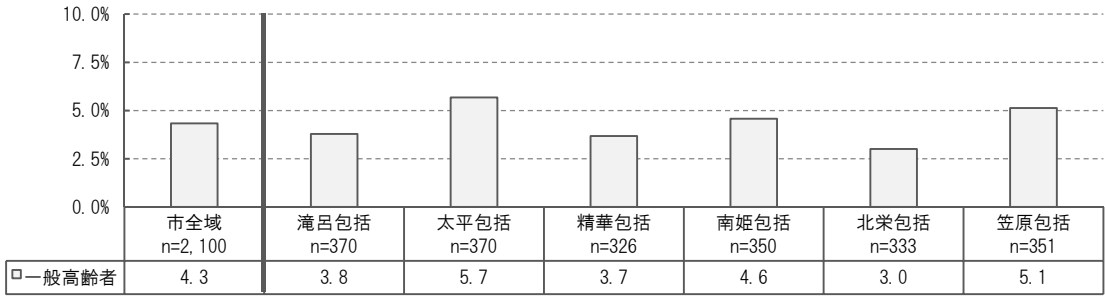


図 5.11 元気高齢者出現率の地域差

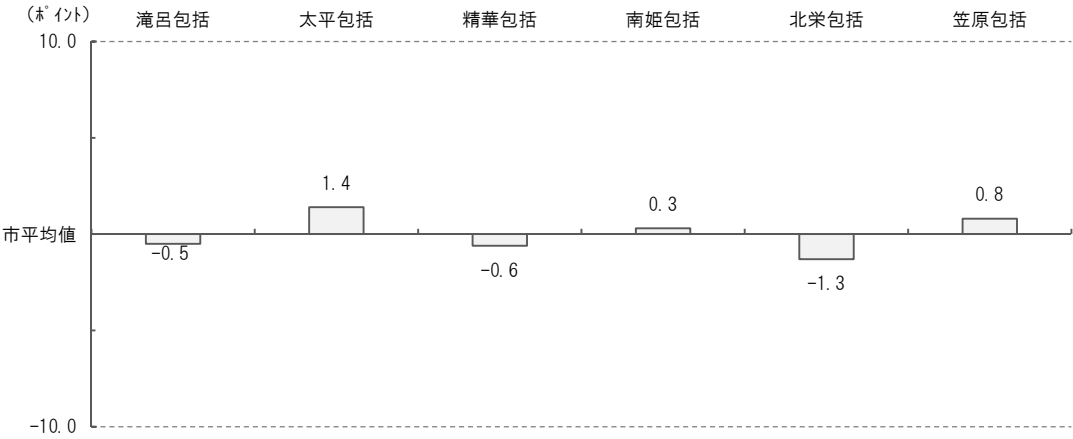
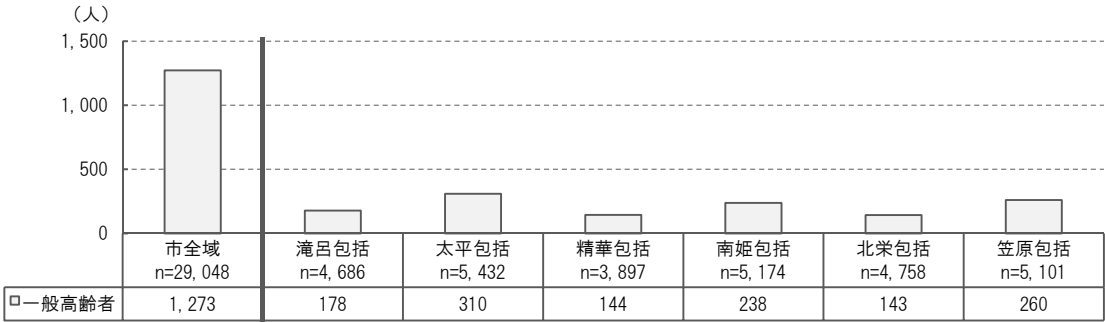


図 5.12 元気高齢者数（推計）



3 認知症高齢者に関する出現率と地域差

(1) 認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者の状況

○認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者の出現率の地域差をみると、一般高齢者では〈笠原包括〉が1.1ポイント、〈太平包括〉が1.0ポイント、〈南姫包括〉が0.8ポイント市平均値より高くなっています。

図 5.13 認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者出現率

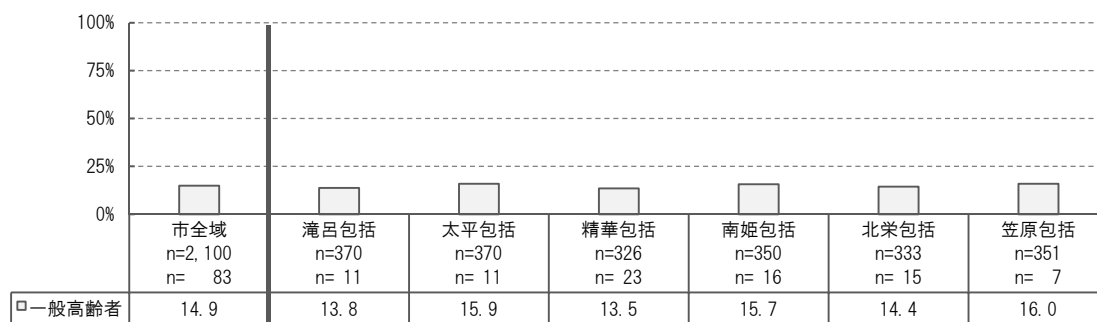
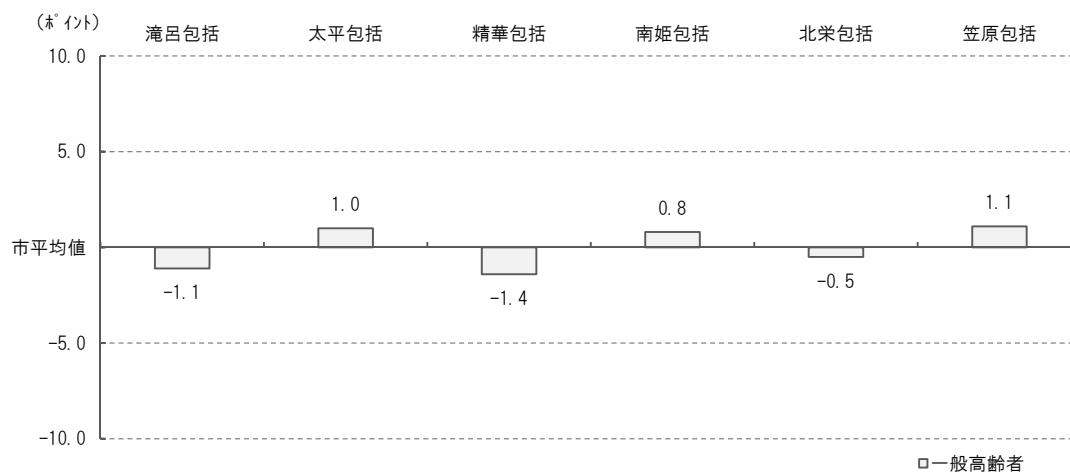


図 5.14 認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者出現率の地域差



4 フレイル等の出現率と地域差

(1) フレイル・プレフレイルに該当する高齢者の状況

○要介護状態に至る前段階として位置づけられるフレイル・プレフレイルの出現率をみると、市全域では「フレイル」が19.4%、「プレフレイル」が30.4%となっています。また、圏域別にみると、「フレイル」は〈太平包括〉、「プレフレイル」は〈精華包括〉が最も高くなっています。

○「フレイル」の出現率の地域差をみると、〈太平包括〉が2.5^{ポイント}、〈笠原包括〉が2.0^{ポイント}、〈北栄包括〉が1.0^{ポイント}市平均値より高くなっています。

○一方、「プレフレイル」の出現率の地域差をみると、〈精華包括〉が3.3^{ポイント}、〈滝呂包括〉が1.5^{ポイント}市平均値より高くなっています。

図 5.15 フレイル・プレフレイル該当者の出現率

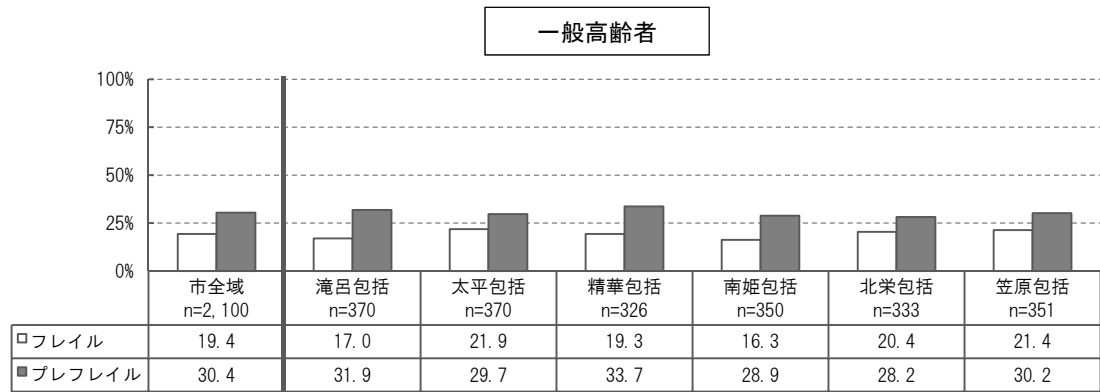
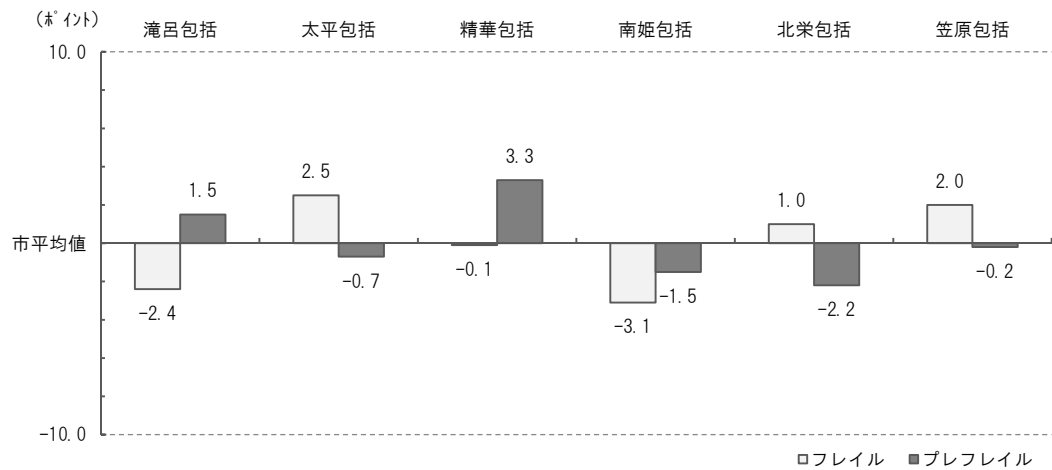


図 5.16 フレイル・プレフレイル該当者出現率の地域差



5 在宅医療・介護の推進

(1) 要介護者の状況

○本市の令和元年12月現在の要支援・要介護認定者（4,131人）の介護度別認定者数は以下のとおりです。

○高齢者人口に対する介護度別認定率は、市全域では「要介護2」（2.3%）が最も高く、次いで「要介護1」（2.1%）、「要支援2」（1.9%）となっています。また、「要介護3～5」の重度認定率は5.2%となっています。

○圏域別にみると、「要介護3～5」の重度認定率は〈精華包括〉〈滝呂包括〉〈笠原包括〉が市全域より高くなっています。

図 5.17 地域の介護度別要介護者数

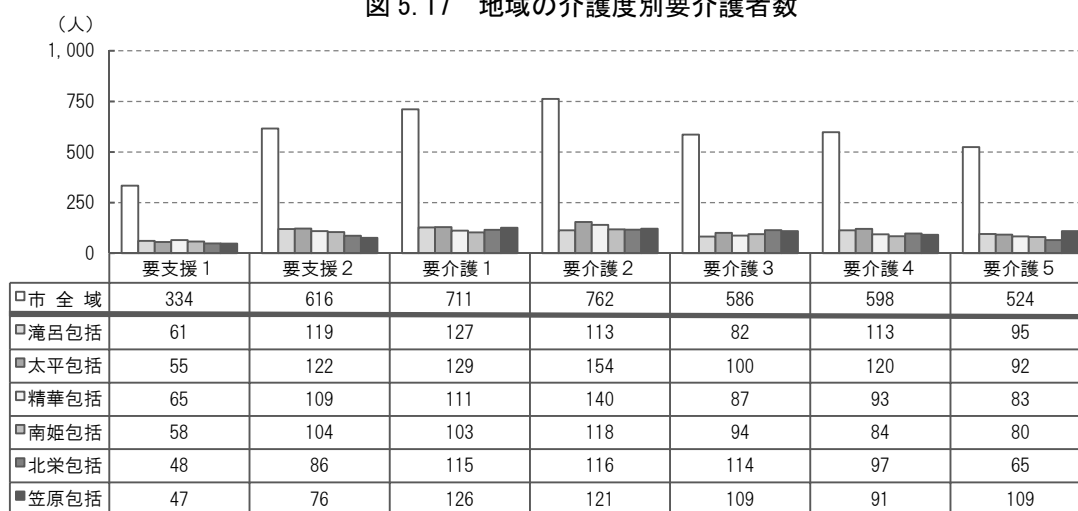
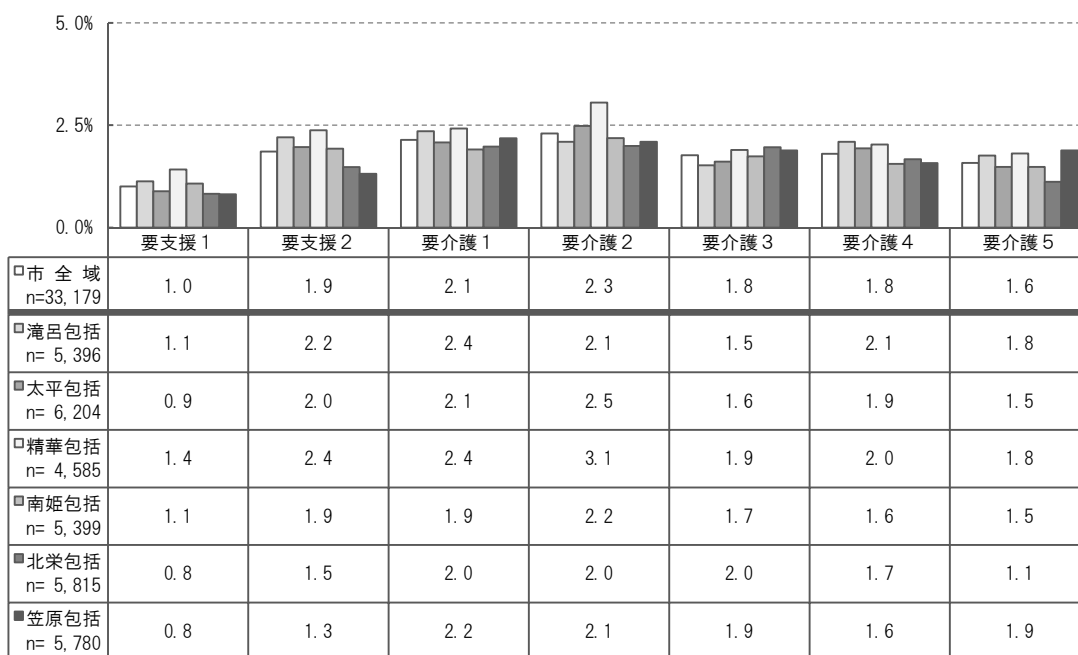


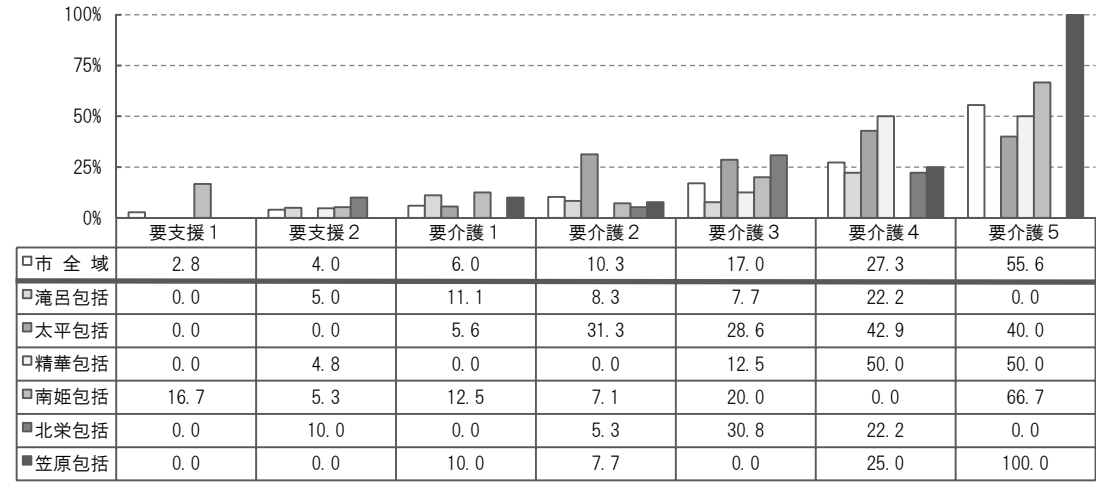
図 5.18 地域の介護度別認定率



（２）在宅医療に関するニーズ

○訪問診療利用率を介護度別にみると、市全域では「要介護５」（55.6％）が最も高く、次いで「要介護４」（27.3％）、「要介護３」（17.0％）となっています。
（圏域別は対象者が少数のため、コメントを省略します。）

図 5.19 介護度別の訪問診療利用率

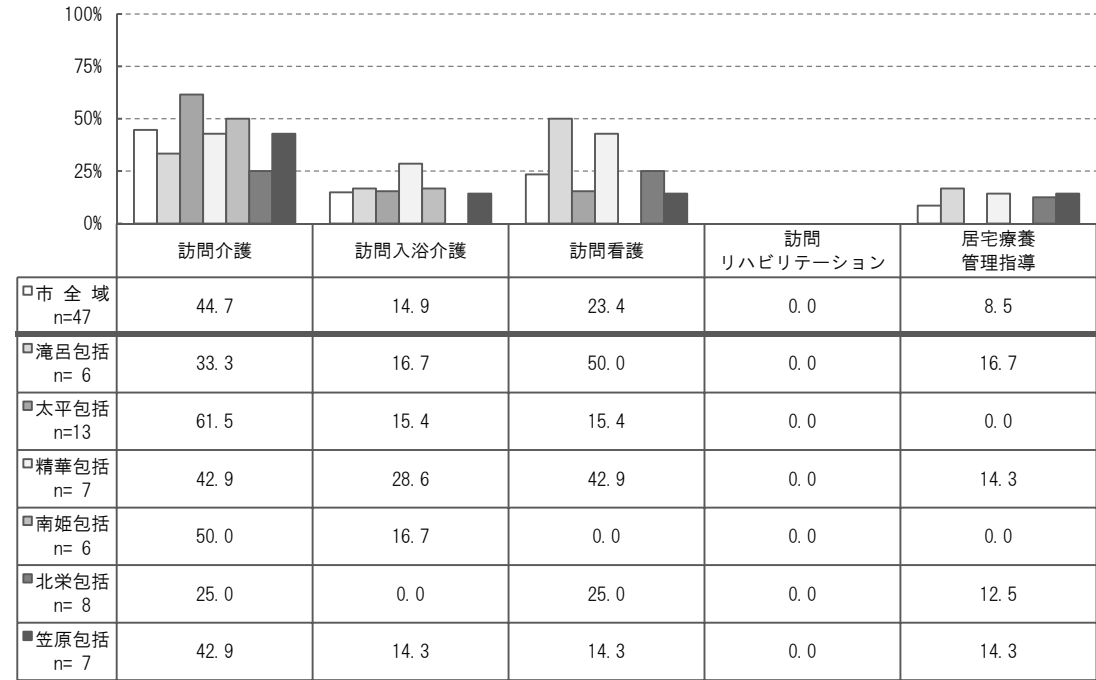


※母数は圏域別・介護度別で異なるため表記を省略しています。

（３）訪問診療利用者の状況

○訪問診療利用者の訪問系介護サービス利用率みると、市全域では「訪問介護」（44.7％）が最も高く、次いで「訪問看護」（23.4％）、「訪問入浴介護」（14.9％）となっています。
（圏域別は対象者が少数のため、コメントを省略します。）

図 5.20 訪問診療利用者の訪問系介護サービス利用率



6 介護離職の要因と問題軽減

(1) 家族介護者の介護離職の状況

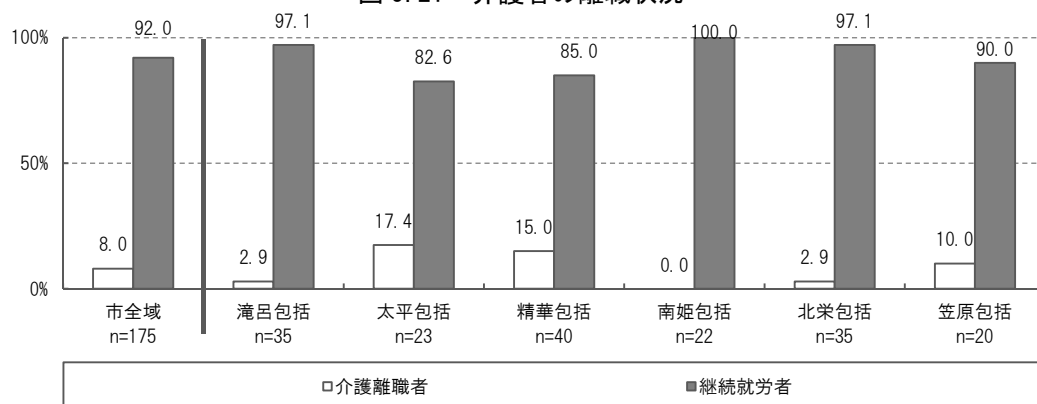
○介護者の離職状況をみると、市全域では、転職者を含む「継続就労者」が「介護離職者」を上回り、圏域別でも同様の状況となっています。

○「介護離職者」割合の地域差をみると、〈太平包括〉〈精華包括〉〈笠原包括〉が市全域より高くなっています。

○介護離職者が介護している方の状態をみると、市全域では「要介護3～5」が28.6%、「認知症高齢者」は50.0%となっています。

(圏域別は対象者が少数のため、コメントを省略します。)

図 5.21 介護者の離職状況

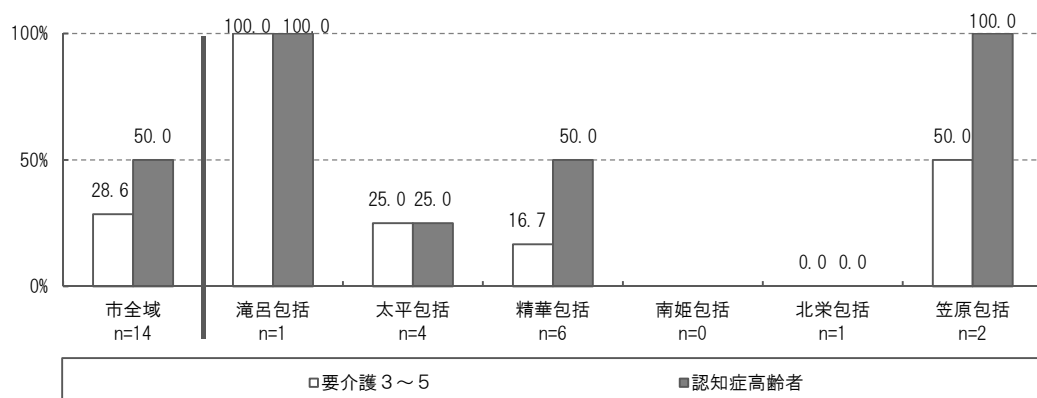


※介護離職者：A票問7で「仕事を辞めた(転職除く)」と回答(「1」「2」を選択)した方の割合です。

※継続就労者：①A票問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方

②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、B票問1で「働いている」と回答(「1」「2」を選択)した方の割合の計です。

図 5.22 離職者が介護する要介護者の状態



※認知症高齢者：認知症高齢者自立度が「Ⅱ」以上の方の割合です。

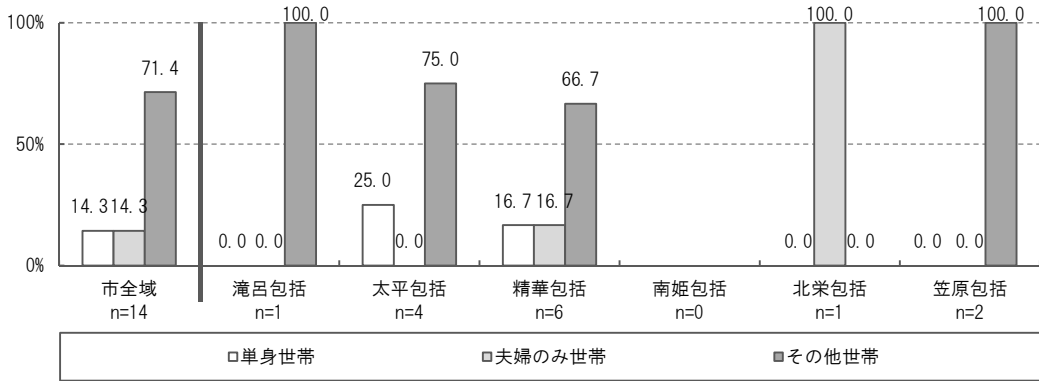
○介護離職者が介護する要介護者の世帯状況をみると、市全域では「その他世帯」が71.4%、「単身世帯」「夫婦のみ世帯」が各14.3%となっています。

（圏域別は対象者が少数のため、コメントを省略します。）

○継続就労者の今後の仕事と介護の両立についてみると、市全域では「(何とか) 続けていける」(70.8%) が、「続けていくのは、難しい」(11.8%) を大きく上回っています。

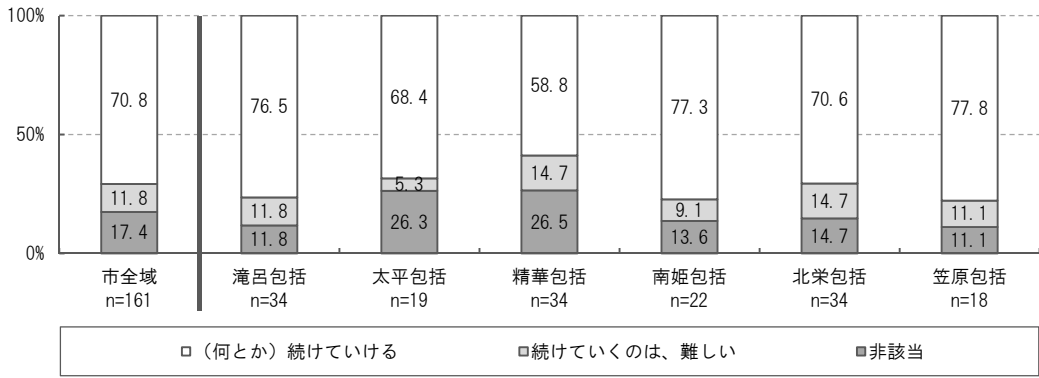
○「続けていくのは、難しい」と回答した割合の地域差をみると、〈精華包括〉〈北栄包括〉が市全域より高くなっています。

図 5.23 離職者が介護する要介護者の世帯状況



※介護離職者：A票問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方の割合です。

図 5.24 就労している介護者の今後の仕事と介護の両立について



※「(何とか)」続けていける」…B票問4で「1. 問題なく、続けていける」「2. 問題はあるが、何とか続けていける」と回答した方です。

※「続けていくのは、難しい」…同設問で「3. 続けていくのは、やや難しい」「4. 続けていくのは、かなり難しい」と回答した方です。

※非該当…同設問で上記以外に回答した方とB票問1で対象外となった方です。

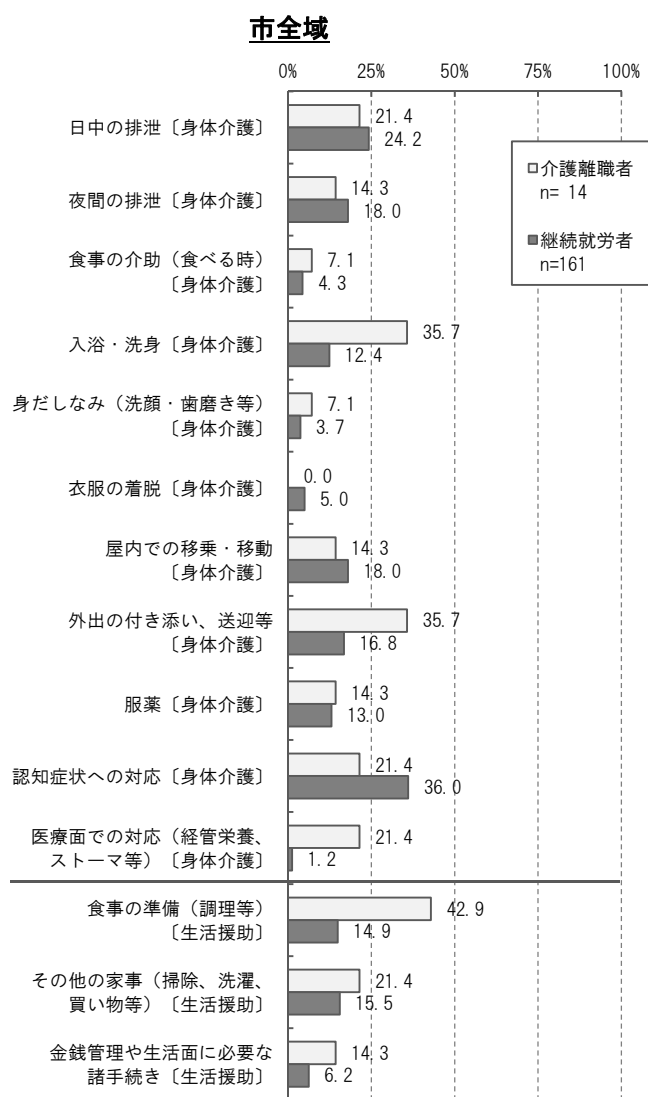
（２）家族介護者の介護状況

○主な介護者が現在の生活を今後も続けていくうえで不安に思う身体介護を介護離職者・継続就労者別にみると、市全域では介護離職者は「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」（各35.7%）が最も高く、次いで「日中の排泄」「認知症状への対応」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」（各21.4%）となり、継続就労者は「認知症状への対応」（36.0%）が最も高く、次いで「日中の排泄」（24.2%）、「夜間の排泄」「屋内での移乗・移動」（各18.0%）となっています。

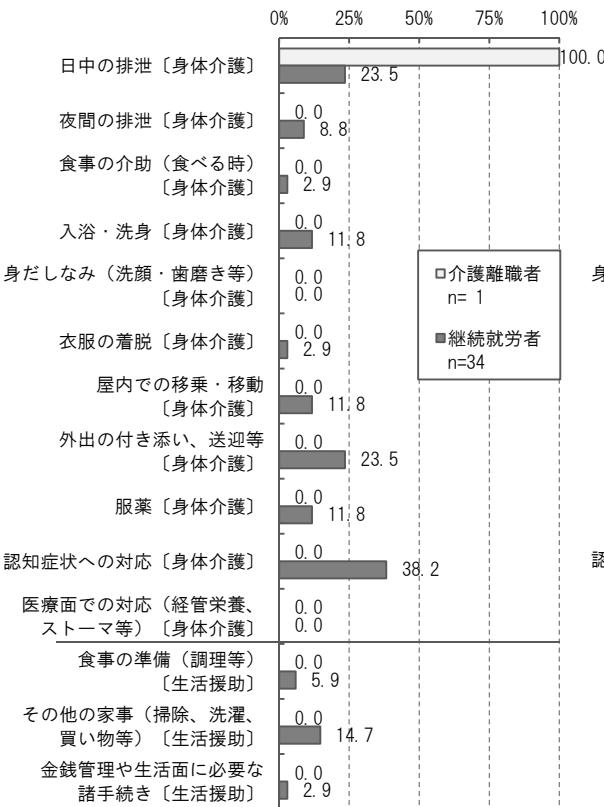
○継続就労者が不安に思う身体介護を圏域別にみると、〈北栄包括〉以外のすべての圏域では「認知症状への対応」が最も高くなっています。特に〈笠原包括〉は61.1%と高くなっています。

（介護離職者は対象者が少数のため、コメントを省略します。）

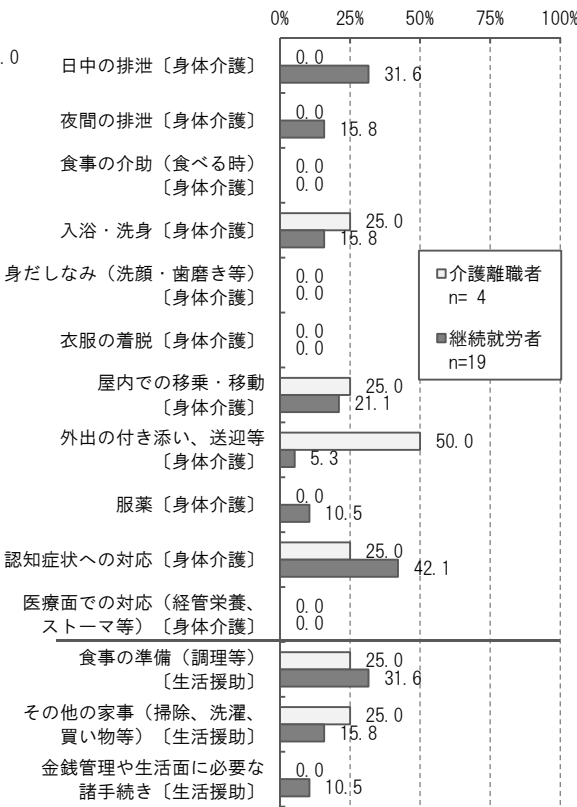
図 5.25 主な介護者が不安に思う介護等



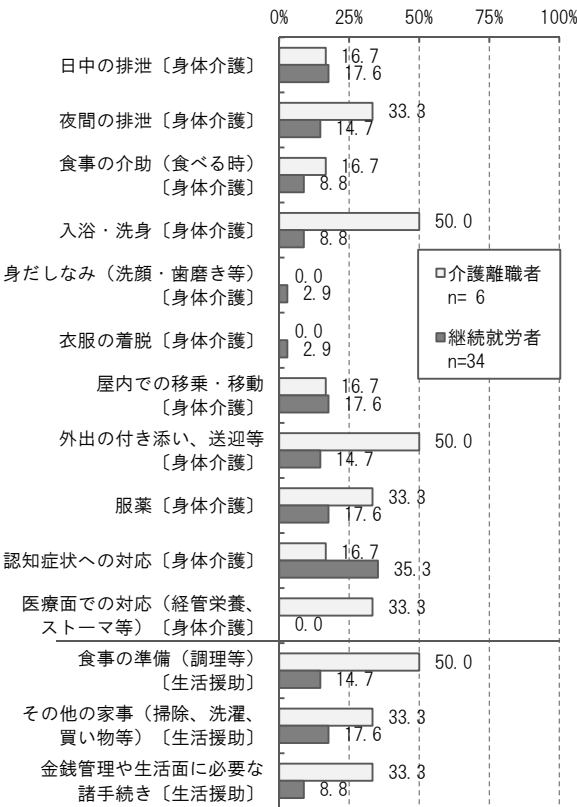
滝呂包括



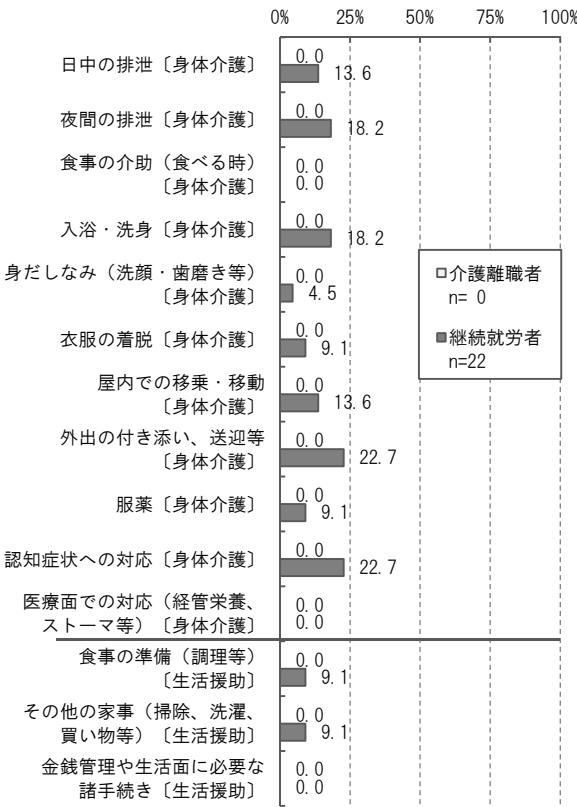
太平包括



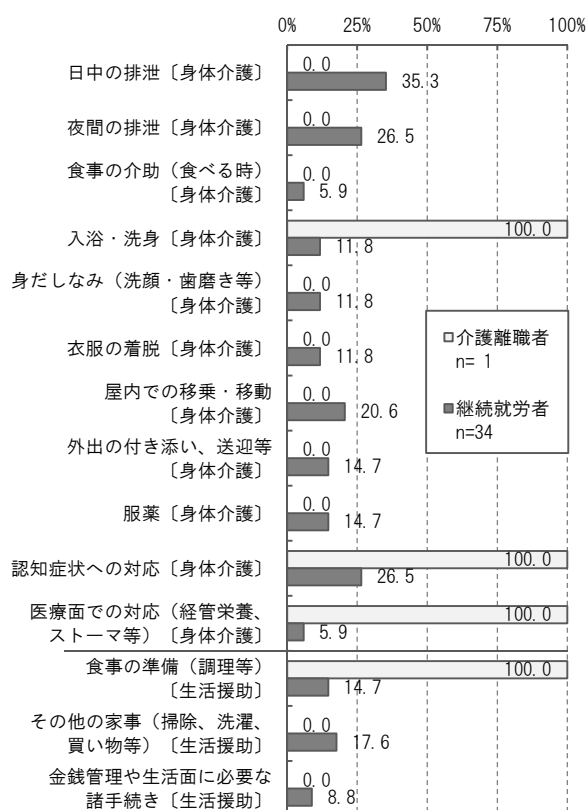
精華包括



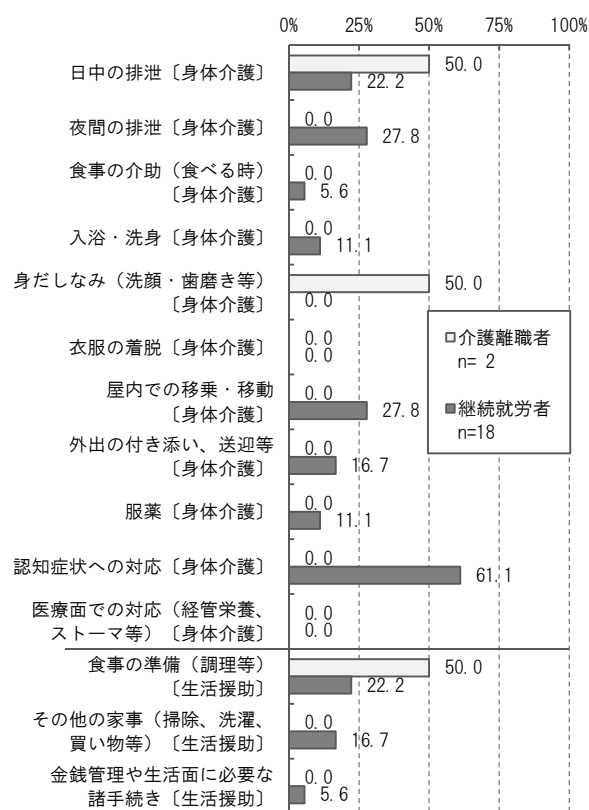
南姫包括



北栄包括



笠原包括



（3）介護給付サービス利用状況

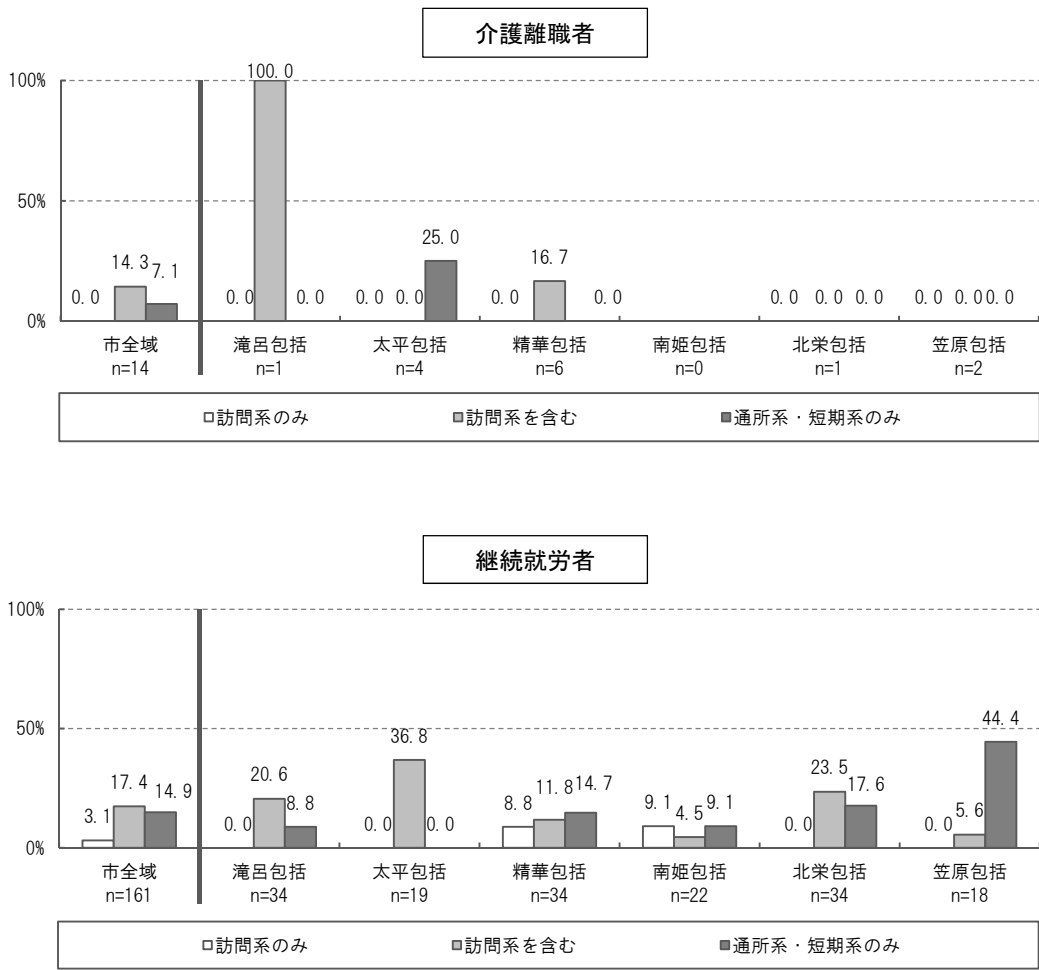
○介護離職者が介護している方のサービス利用状況をみると、市全域では「訪問系を含む」が14.3%、「通所系・短期系のみ」が7.1%となっています。

（圏域別は対象者が少数のため、コメントを省略します。）

○継続就労者が介護している方のサービス利用状況をみると、市全域では「訪問系を含む」が17.4%、「訪問系のみ」が3.1%、「通所系・短期系のみ」が14.9%となり、いずれも介護離職者より利用割合が高くなっています。

○継続就労者を圏域別にみると、「訪問系を含む」では〈太平包括〉〈北栄包括〉〈滝呂包括〉、「通所系・短期系のみ」では〈笠原包括〉〈北栄包括〉が市全域より高くなっています。

図 5.26 要介護者のサービス利用状況



※介護離職者：A票問7で「仕事を辞めた（転職除く）」と回答（「1」「2」を選択）した方の割合です。
※継続就労者：①A票問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方
②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、B票問1で「働いている」と回答（「1」「2」を選択）した方の割合の計です。

○今後も介護と仕事の両立できると回答した介護者が介護している方のサービス利用状況をみると、市全域では「訪問系を含む」が21.0%、「通所系・短期系のみ」が16.1%、「訪問系のみ」が3.2%となっています。

○圏域別にみると、「訪問系を含む」では〈太平包括〉〈滝呂包括〉〈北栄包括〉、「通所系・短期系のみ」では〈笠原包括〉〈北栄包括〉が市全域より高くなっています。

○また、上記の方の訪問系サービス利用日数は、市全域では「1～10日」が53.3%と最も高くなっています。

（圏域別は対象者が少数のため、コメントを省略します。）

図 5.27 要介護者のサービス利用状況（今後も両立できる介護者）

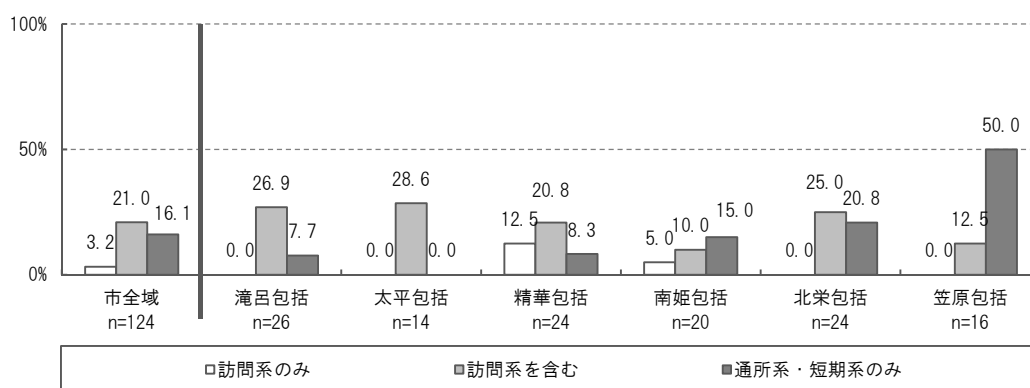
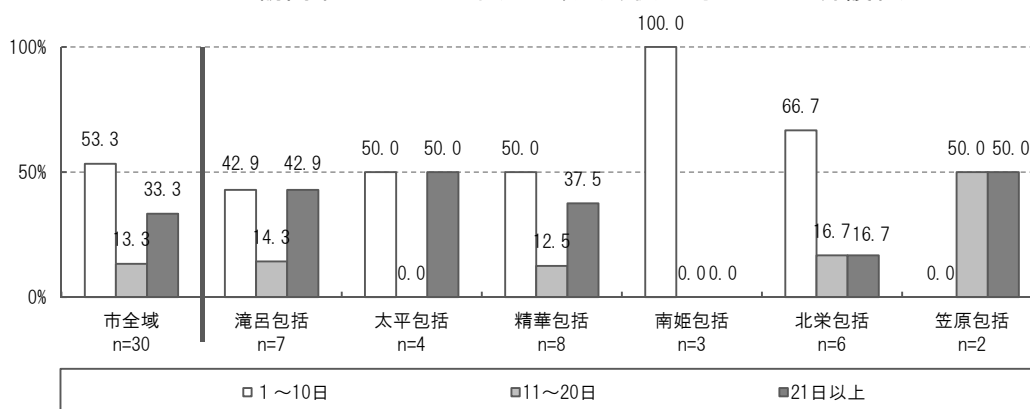


図 5.28 訪問系サービスの利用日数（今後も両立できる介護者）



7 住まいのニーズ

(1) 要介護者の施設入所意向

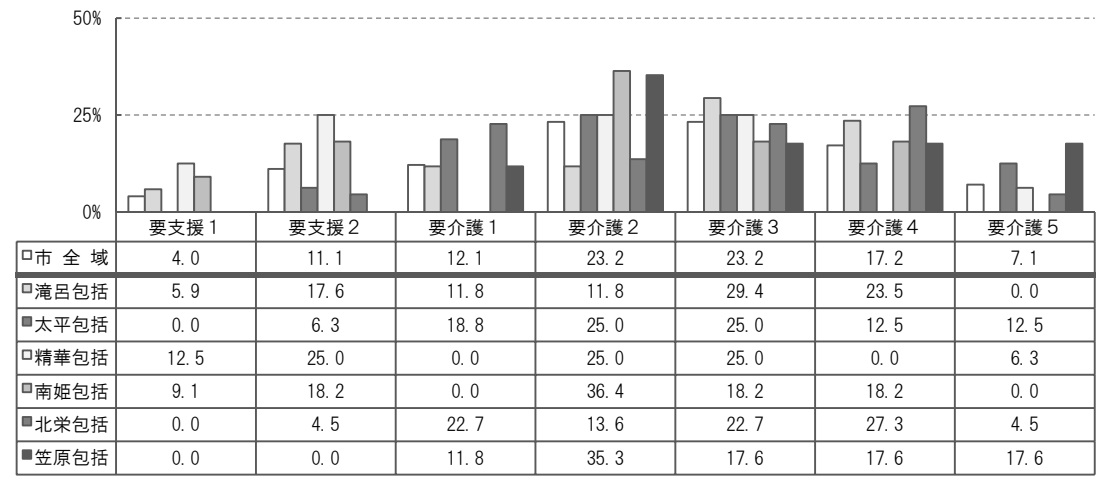
○介護施設等への入所希望者を介護度別にみると、市全域では「要介護2」「要介護3」（各23.2%）が最も高く、次いで「要介護4」（17.2%）となっています。

○圏域別にみると、〈北栄包括〉〈滝呂包括〉〈笠原包括〉〈太平包括〉では「要介護3以上」の割合が市全域より高くなっています。

○施設入所希望者の世帯類型をみると、市全域では「その他世帯」（61.6%）が6割以上占め、「単身世帯」は25.3%、「夫婦のみ世帯」が12.1%となっています。

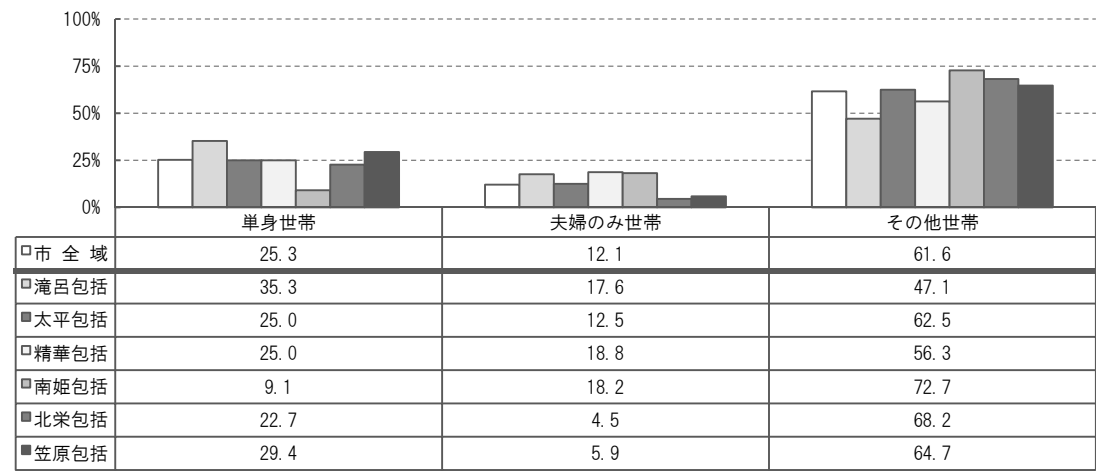
○圏域別にみると、「単身世帯」は〈滝呂包括〉〈笠原包括〉、「夫婦のみ世帯」は〈精華包括〉〈南姫包括〉〈滝呂包括〉〈太平包括〉が市全域より高くなっています。

図 5.29 施設入所希望者の介護度別



※母数は圏域別・介護度別で異なるため表記を省略しています。

図 5.30 施設入所希望者の世帯類型



※母数は圏域別・世帯類型別で異なるため表記を省略しています。

8 地域資源等の把握

(1) 地域活動等への参加状況

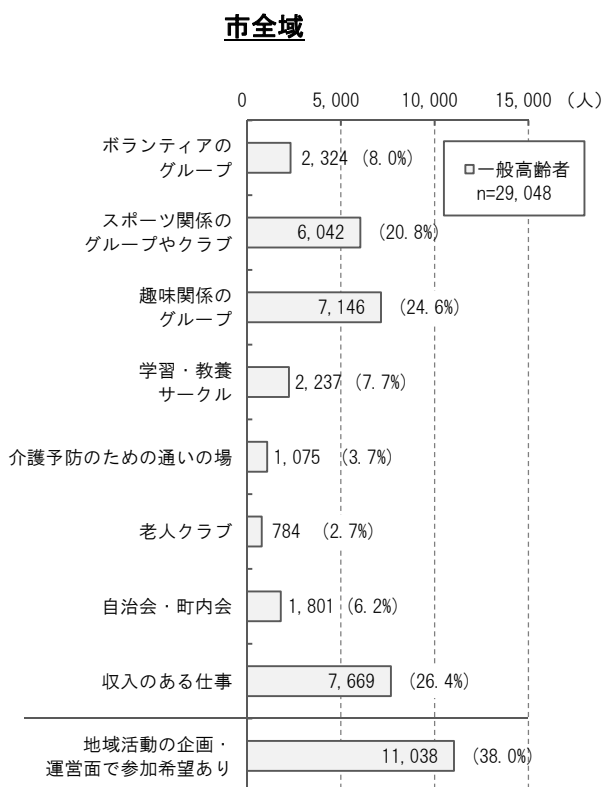
○一般高齢者の地域活動等への参加割合をみると、市全域では上位3位は「収入のある仕事」「趣味関係のグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」となっています。また、参加者数を市全域の一般高齢者人口に換算すると、「収入のある仕事」は約7.5千人、「趣味関係のグループ」は約7千人、「スポーツ関係のグループやクラブ」は約6千人と推計されます。

○圏域別にみると、〈滝呂包括〉と〈精華包括〉はほとんどの活動（8項目中6項目）で市全域の参加割合より低くなっています。一方、〈太平包括〉は「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」で6圏域中最も参加割合が高くなっています。

○一般高齢者の支援活動の企画・運営面での参加希望割合は、市全域では38.0%となり、一般高齢者人口に換算すると約1万人と推計されます。

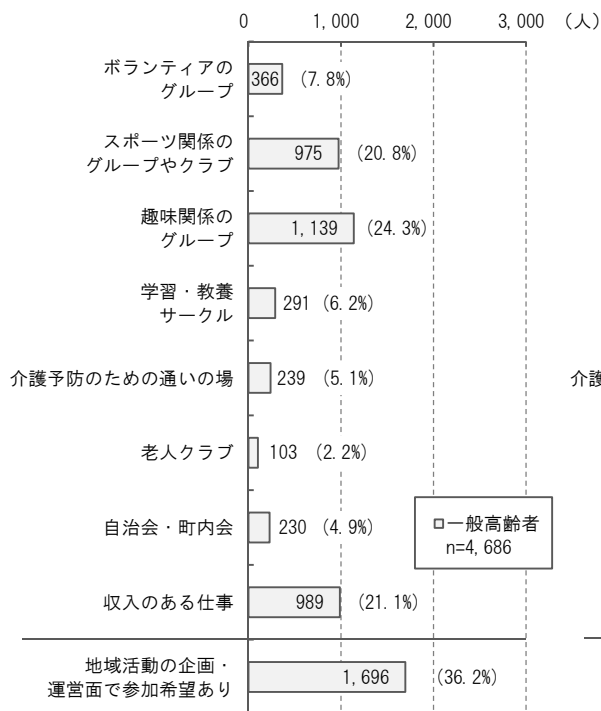
○圏域別にみると、企画・運営面での参加希望割合は〈太平包括〉（40.5%）が最も高く、一方、〈滝呂包括〉（36.2%）が最も低くなっています。

図 5.31 一般高齢者の活動状況と企画運営支援意向（推計）

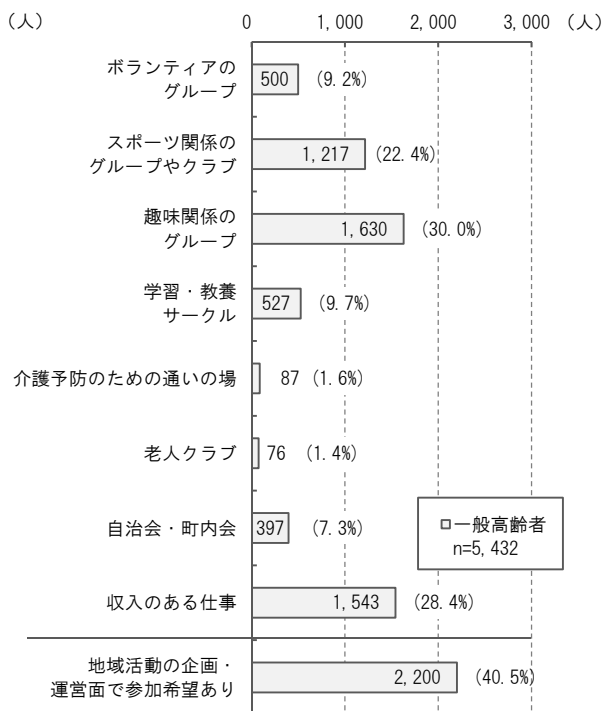


※問5（1）①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④学習・教養、⑤介護予防のための通いの場、⑥老人クラブ、⑦自治会・町内会、⑧収入のある仕事で、「週4回以上」～「月に1～3回」のいずれかに回答した割合、また、問5（3）地域活動の企画・運営に「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」に回答した割合です。

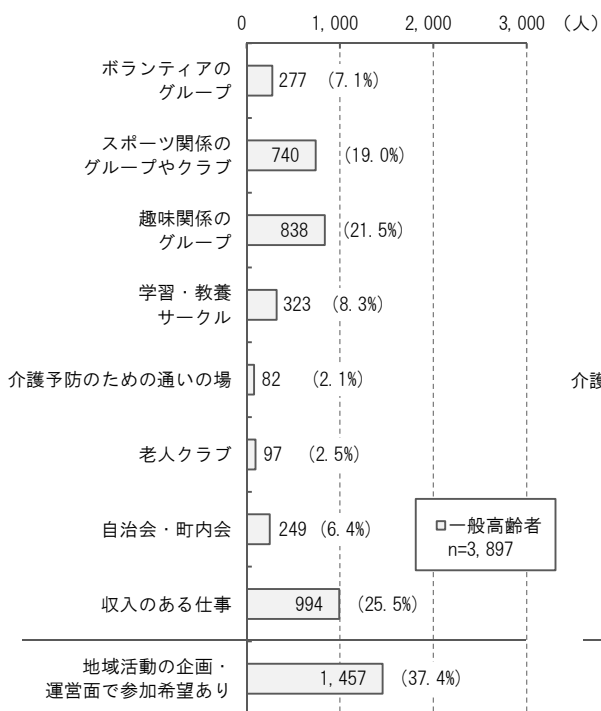
滝呂包括



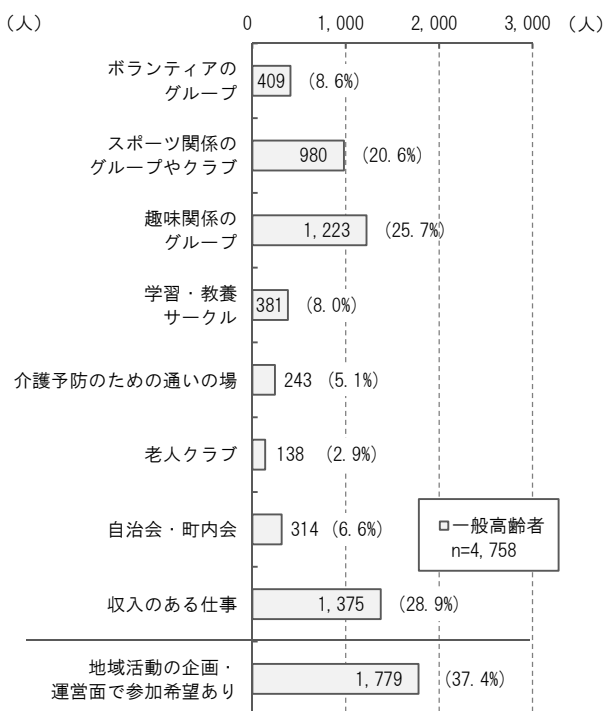
太平包括



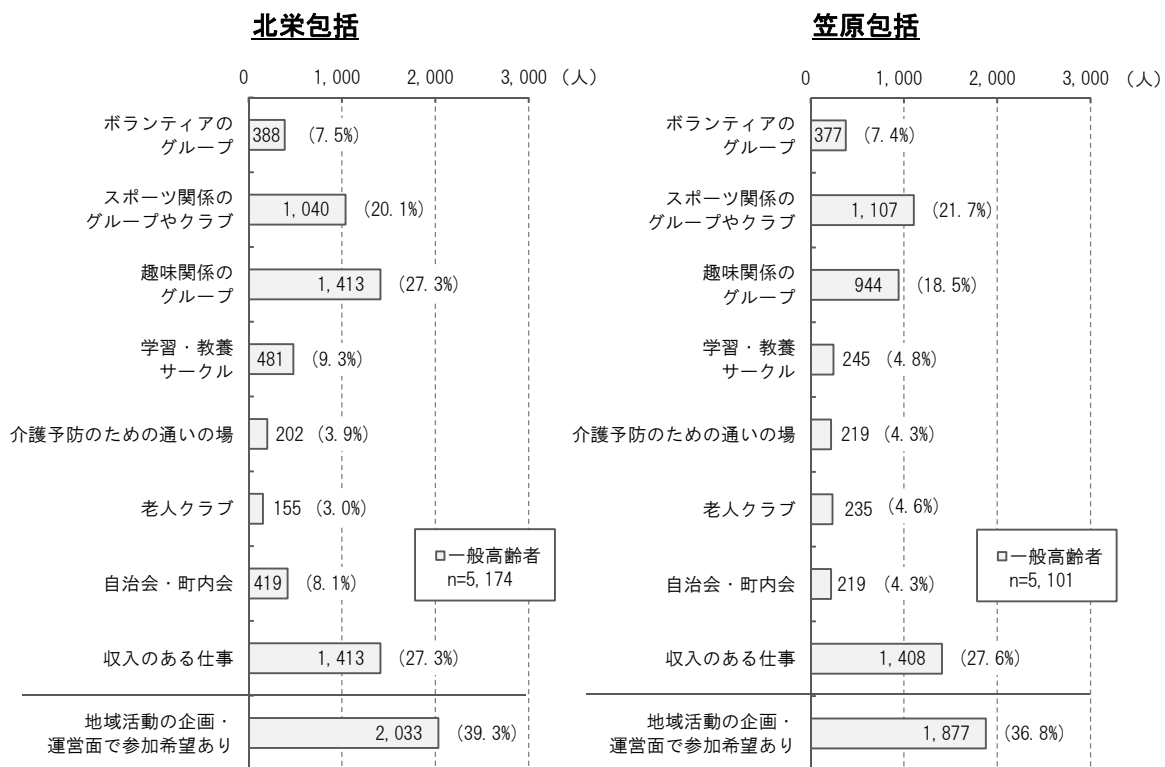
精華包括



南姫包括



※問5（1）①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④学習・教養、⑤介護予防のための通いの場、⑥老人クラブ、⑦自治会・町内会、⑧収入のある仕事で、「週4回以上」～「月に1～3回」のいずれかに回答した割合、また、問5（3）地域活動の企画・運営に「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」に回答した割合です。



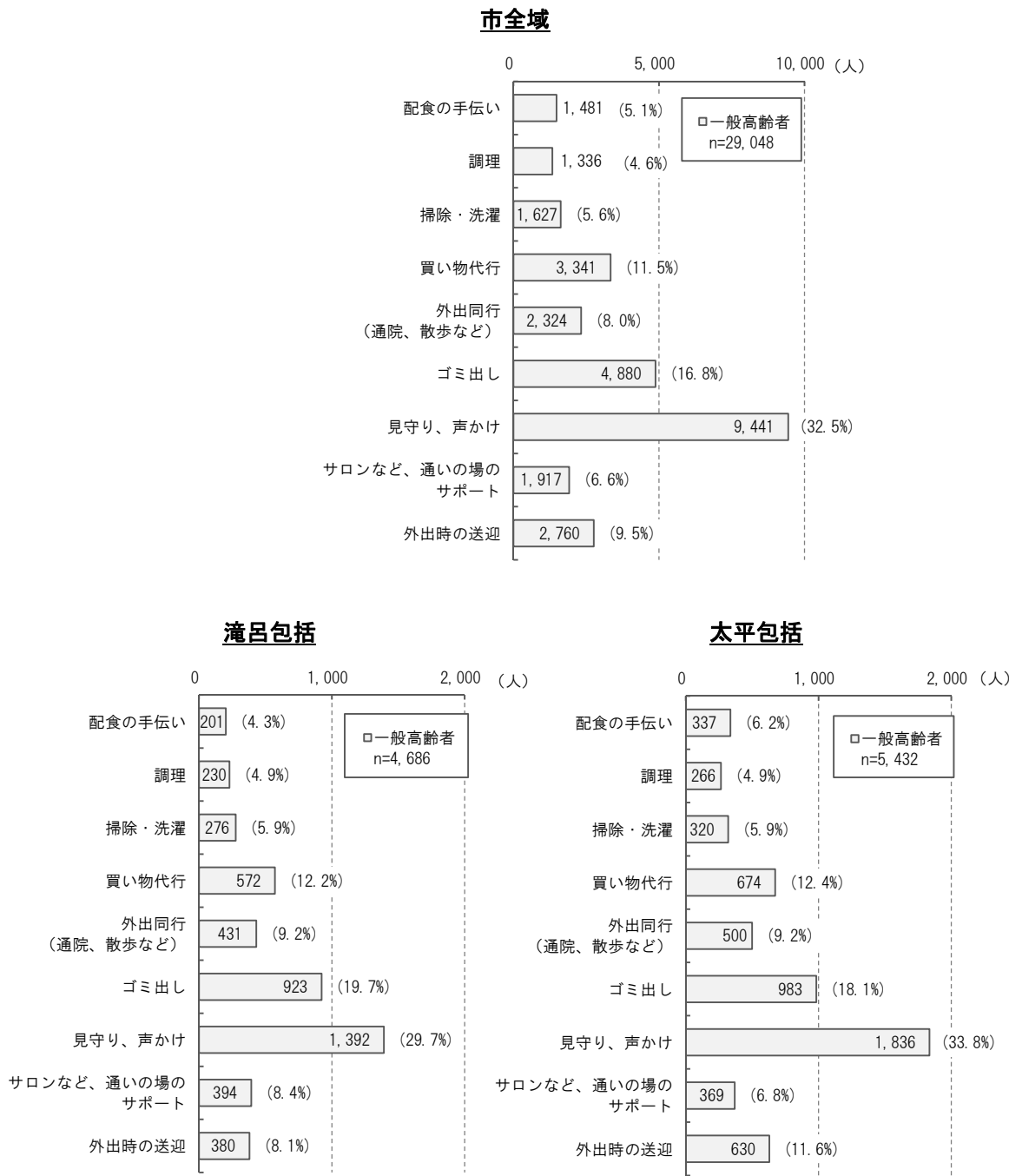
※問5（1）①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④学習・教養、⑤介護予防のための通いの場、⑥老人クラブ、⑦自治会・町内会、⑧収入のある仕事で、「週4回以上」～「月に1～3回」のいずれかに回答した割合、また、問5（3）地域活動の企画・運営に「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」に回答した割合です。

(2) 住んでいる地域で高齢者ができる生活支援について

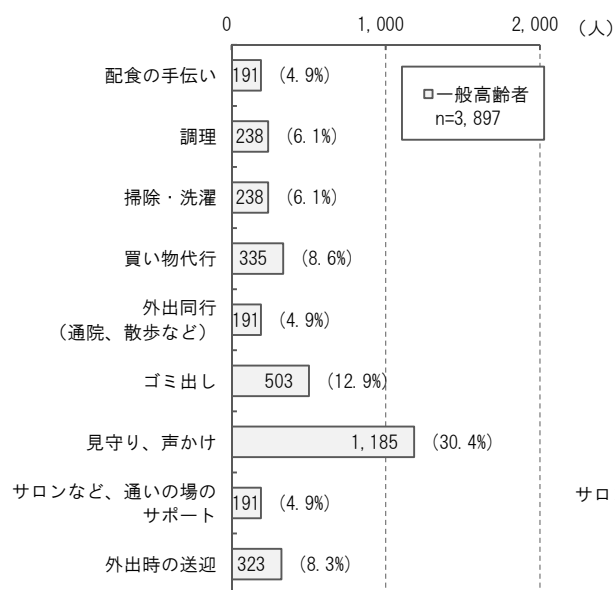
○一般高齢者が支援できると回答したサービスをみると、市全域では「見守り、声かけ」(32.5%)が最も高く、次いで「ゴミ出し」(16.8%)、「買い物代行」(11.5%)となっています。また、支援ができる高齢者数を一般高齢者人口に換算すると、「見守り、声かけ」は約1万人と推計されます。

○圏域別にみると、上位3位はすべての圏域で市全域同様に「見守り、声かけ」「ゴミ出し」「買い物代行」となっています。また、〈太平包括〉はすべての支援項目で市全域より割合が高くなっています。

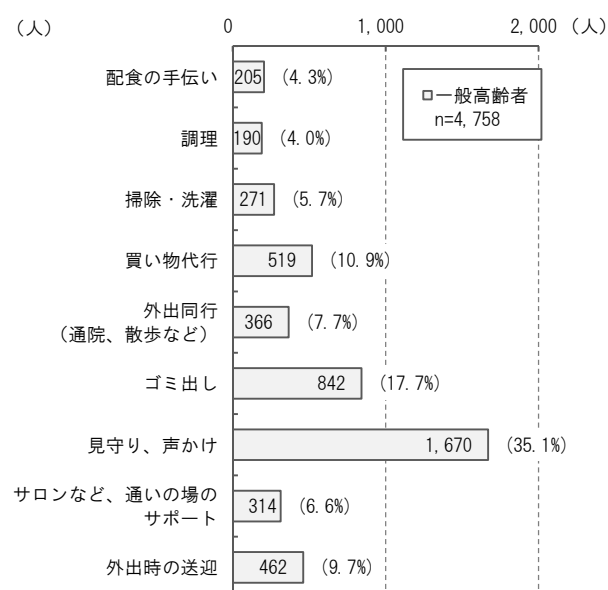
図 5.32 地域でできる生活支援の意向（推計）



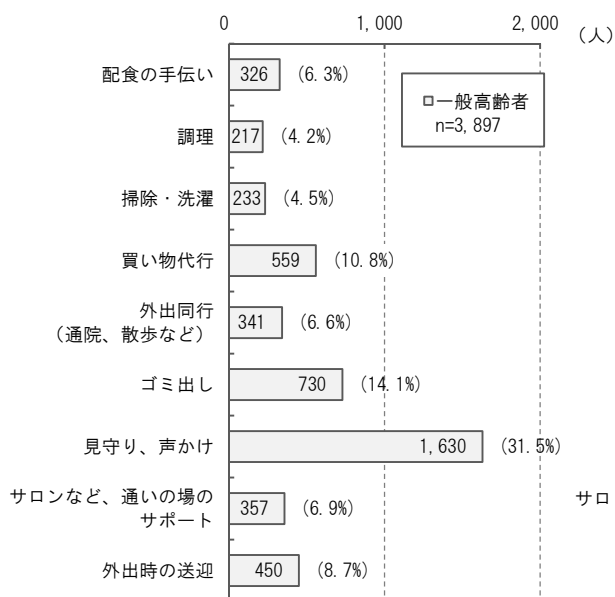
精華包括



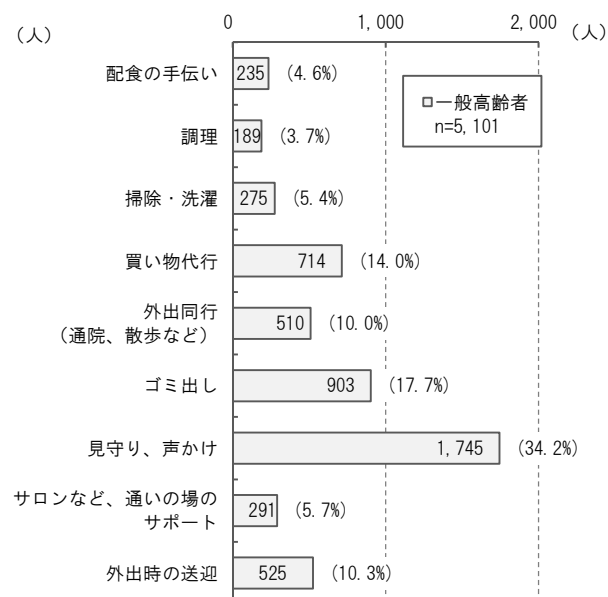
南姫包括



北栄包括



笠原包括

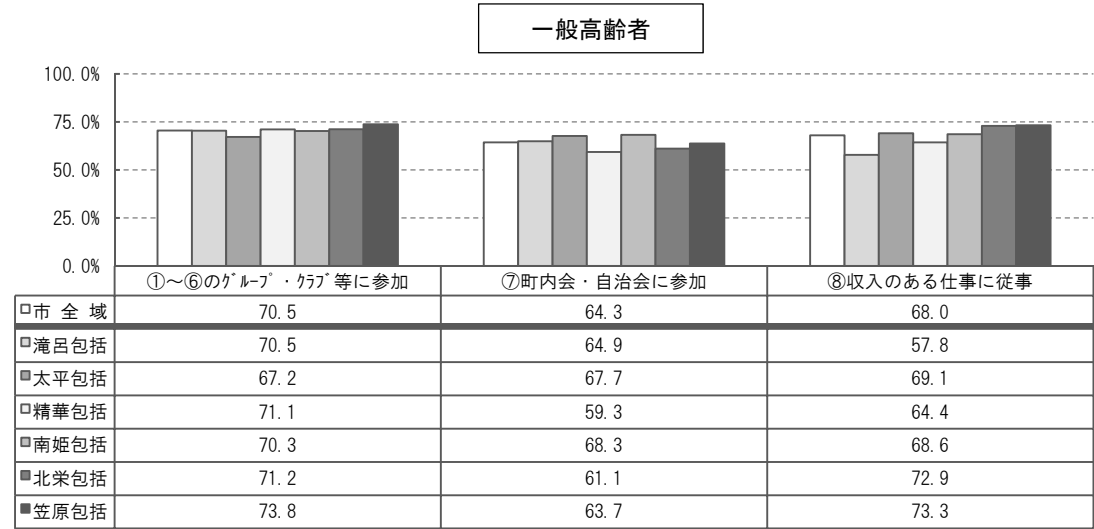


(3) 社会参加と生きがい

○一般高齢者の参加している地域活動の種類別に生きがいを感じている割合をみると、市全域では「①～⑥のグループ・クラブ等の参加」が70.5%と最も高くなっています。

○圏域別にみると、〈笠原包括〉〈精華包括〉〈滝呂包括〉〈南姫包括〉では「①～⑥のグループ・クラブ等の参加」、〈北栄包括〉〈太平包括〉では「⑧収入のある仕事」の割合が最も高くなっています。

図 5.33 地域活動参加者が生きがいを感じている割合

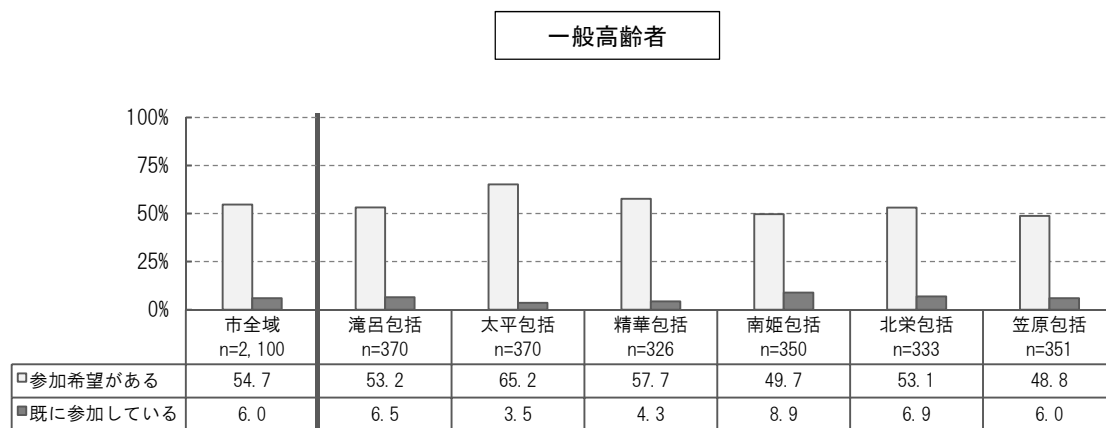


※母数は圏域別で異なるため表記を省略。

○一般高齢者の地域づくりのための活動に対する参加意向をみると、「参加希望がある」は54.7%、「既に参加している」が6.0%となっています。

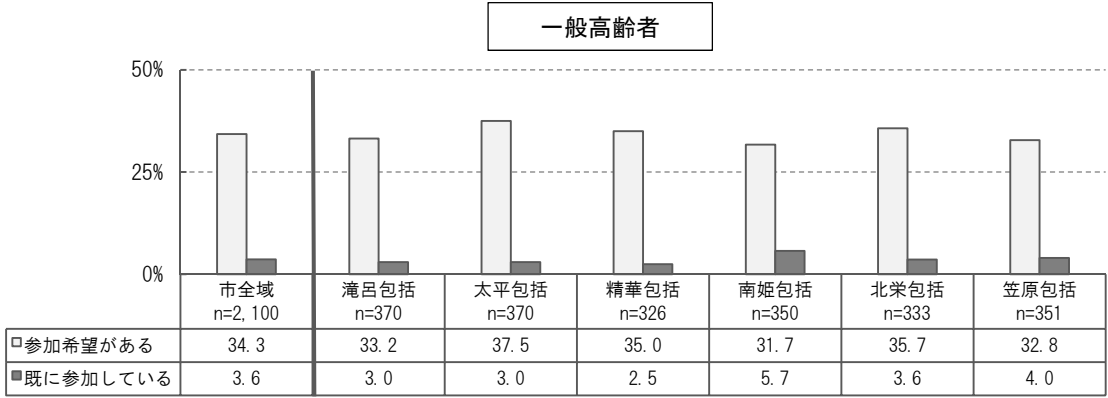
○圏域別にみると、「参加希望がある」は〈太平包括〉〈精華包括〉、「既に参加している」は〈南姫包括〉〈北栄包括〉〈滝呂包括〉が市全域より高くなっています。

図 5.34 地域活動に参加者としての参加意向



- 一般高齢者の地域づくりのための活動にお世話役としての参加意向をみると、「参加希望がある」は34.3%、「既に参加している」が3.6%となっています。
- 圏域別にみると、「参加希望がある」は〈太平包括〉〈北栄包括〉〈精華包括〉、「既に参加している」は〈南姫包括〉〈笠原包括〉が市全域より高くなっています。

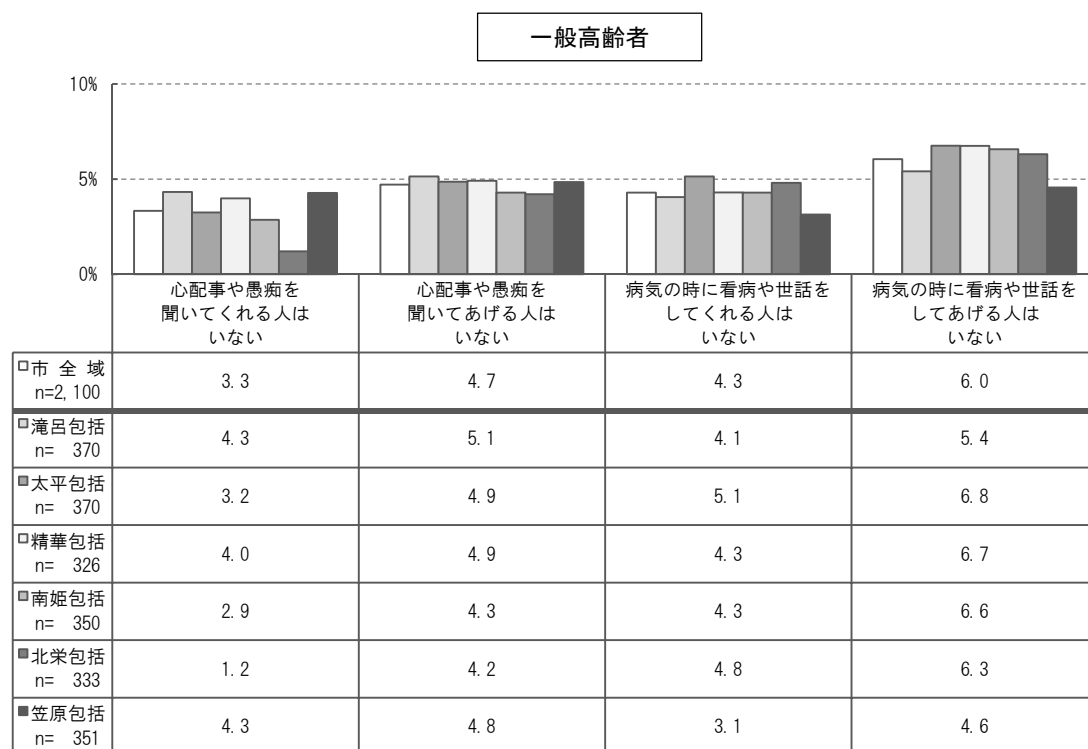
図 5.35 地域活動にお世話役としての参加意向



○一般高齢者のたすけあいの状況をみると、市全域では「病気の時に看病や世話をしてくれる人はいない」（6.0％）が最も高くなっています。

○圏域別にみると、「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」では〈滝呂包括〉〈笠原包括〉〈精華包括〉、「病気の時に看病や世話をしてくれる人はいない」では〈太平包括〉〈北栄包括〉が市全域より高くなっています。

図 5.36 たすけあいの状況



※問6（１）～（４）で、「そのような人はいない」と回答した割合です。

9 高齢者の公共交通機関の利用状況

○外出する際の公共交通機関の利用率の地域差をみると、一般高齢者では〈太平包括〉が5.7ポイント、〈滝呂包括〉が3.5ポイント、〈精華包括〉が0.2ポイント市平均値より高くなっています。

○公共交通機関利用者数の推計人数をみると、市全域では約7千人と見込まれます。

図 5.37 高齢者の公共交通機関利用率

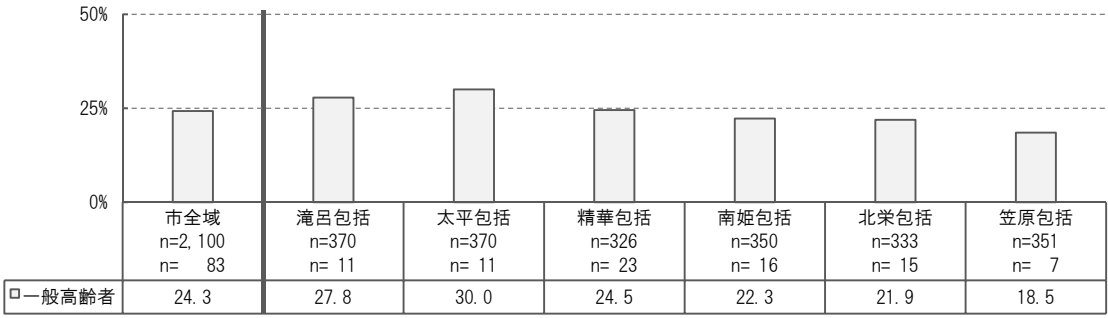


図 5.38 高齢者の公共交通機関利用率の地域差

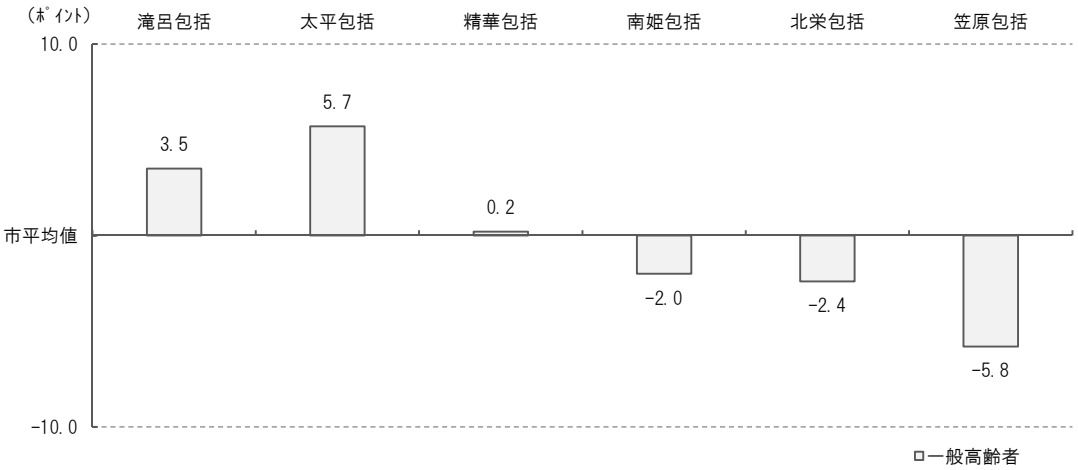
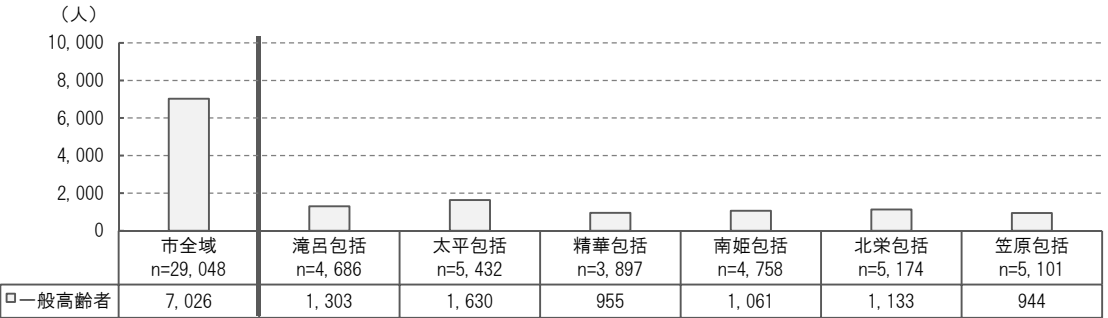


図 5.39 高齢者の公共交通機関利用者数（推計）



10 健康について

(1) 高齢者の健康感や幸福感

① 一般高齢者の主観的健康感

○一般高齢者の主観的健康感をみると、市全域では「まあよい」(69.2%)が最も高く、次いで「あまりよくない」(13.2%)、「とてもよい」(11.0%)、「よくない」(2.1%)となり、〈精華包括〉〈笠原包括〉以外の圏域では同様の傾向となっています。

○また、主観的健康感で「あまりよくない」と「よくない」の合計の地域差をみると、〈北栄包括〉〈太平包括〉〈滝呂包括〉〈精華包括〉が市平均値より高くなっています。

図 5.40 主観的健康感

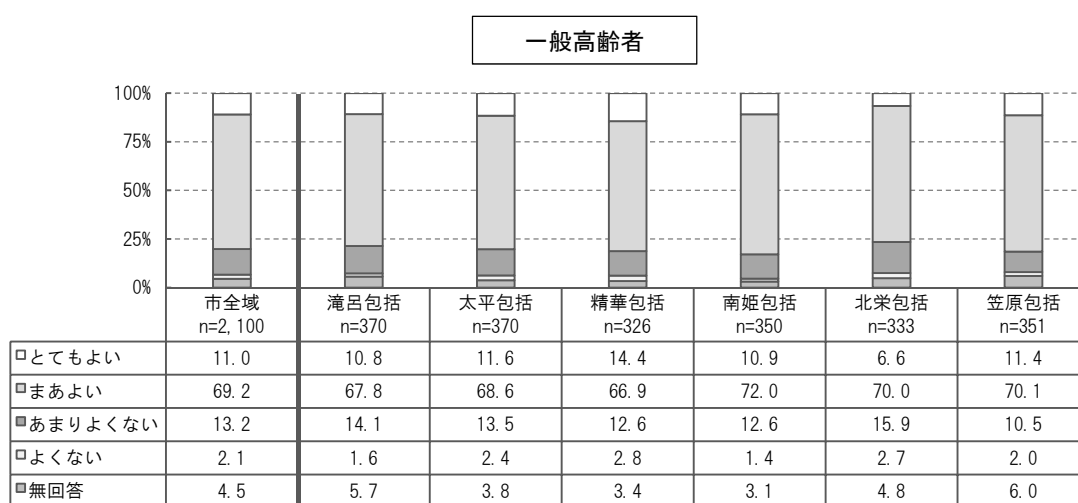
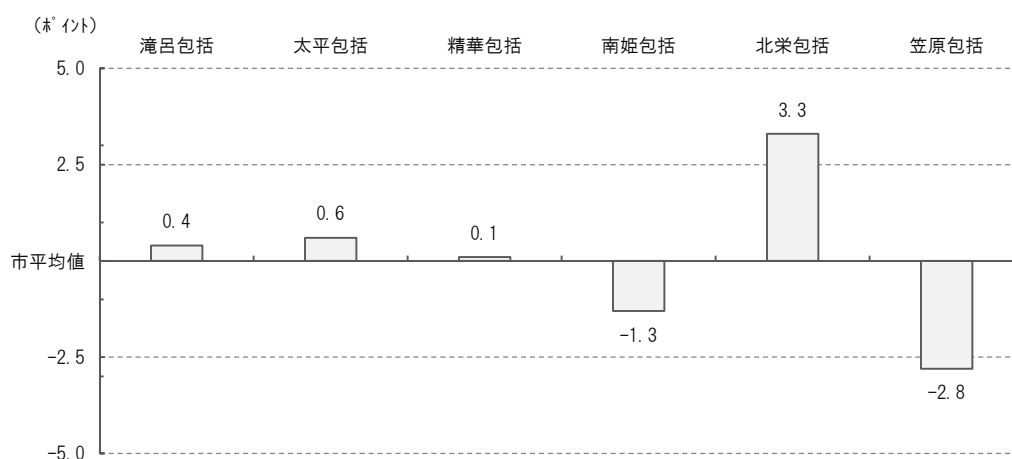


図 5.41 主観的健康感（「あまりよくない」＋「よくない」）の地域差



② 主観的幸福感

○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数の地域差をみると、〈笠原包括〉が0.1点市平均値より低くなっています。

図 5.42 主観的幸福感（平均点数）

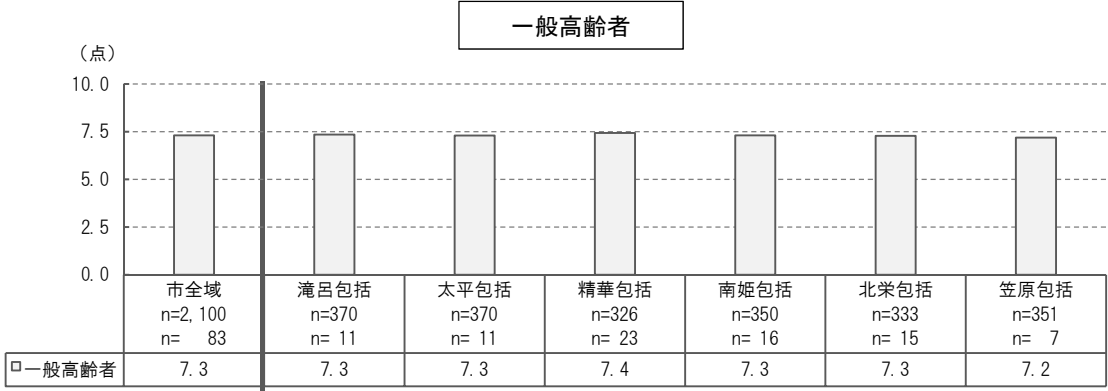
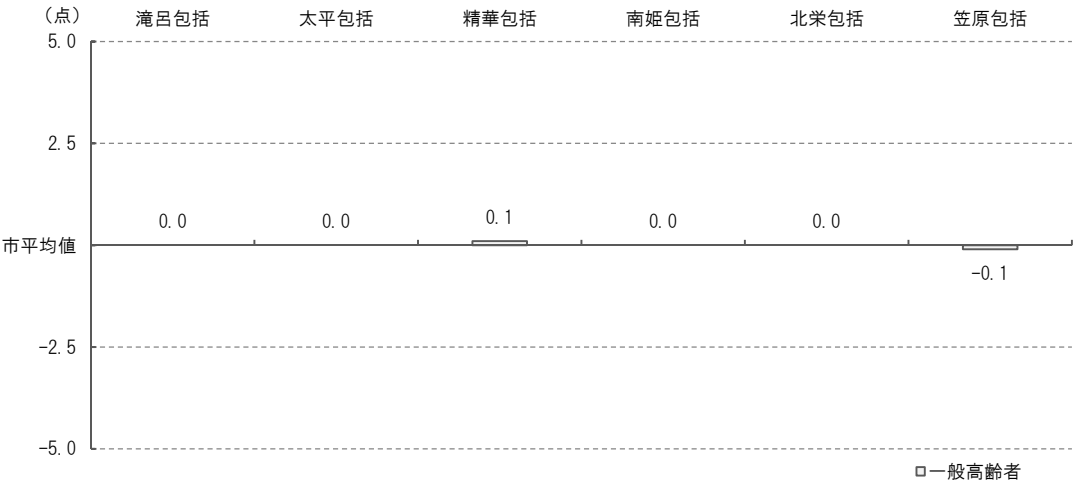


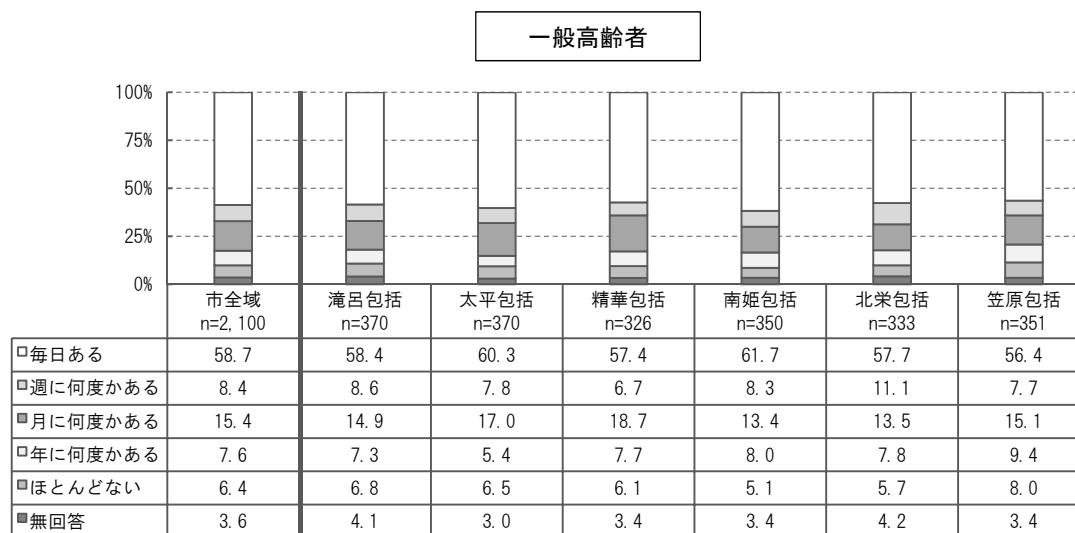
図 5.43 主観的幸福感の地域差



（２）誰かとともに食事をする頻度

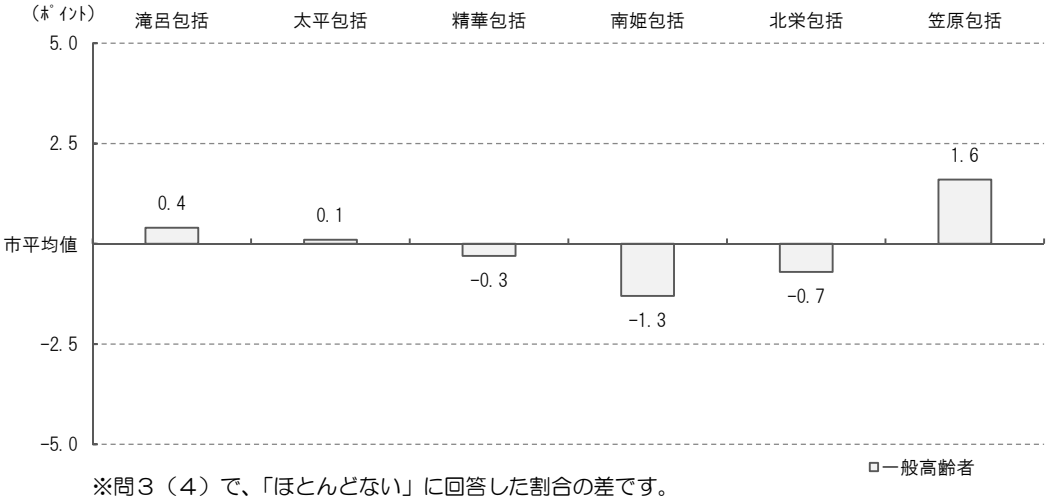
○一般高齢者の誰かとともに食事をする頻度をみると、市全域では「毎日ある」（58.7％）が最も高く、次いで「月に何度かある」（15.4％）、「週に何度かある」（8.4％）となり、〈精華包括〉〈笠原包括〉以外の圏域では同様の傾向となっています。

図 5. 44 誰かとともに食事をする頻度



○また、誰かとともに食事をするのが「ほとんどない」と回答した割合の地域差をみると、一般高齢者では〈笠原包括〉が1.6^{ポイント}、〈滝呂包括〉が0.4^{ポイント}、〈太平包括〉が0.1^{ポイント}市平均値より高くなっています。

図 5. 45 孤食状況の地域差



資料編

資料編

1 電算処理の判定条件等

集計等の電算処理にあたっては、以下の判定条件に基づいて行いました。

■高齢者像の判定条件（該当設問に無回答があれば、「判定できず」とする）

項 目	判定条件
元気高齢者 ※要支援・要介護認定者を除く 65 歳以上の高齢者のうち、介護予防事業対象者、生活支援事業対象者、軽度認知機能障害対象者に該当していない、健康で元気に暮らしている 65～74 歳（前期高齢者）の方を称しています。	●要支援・要介護認定者以外 and ●介護予防事業対象者以外 and ●生活支援事業対象者以外 and ●軽度認知機能障害該当者以外 and ●74歳以下 and ●問 7-（1）で「1. とてもよい」に回答
旧一次予防事業対象者 ※要支援・要介護認定者を除く 65 歳以上の高齢者のうち、元気高齢者、介護予防事業対象者、生活支援事業対象者、軽度認知機能障害該当者に該当していない方を称しています。	●要支援・要介護認定者以外 and ●元気高齢者以外 and ●介護予防事業対象者以外 and ●生活支援事業対象者以外 and ●軽度認知機能障害該当者以外
介護予防事業対象者 ※旧二次予防事業対象者。 要支援・要介護認定者を除く 65 歳以上の高齢者のうち、要支援又は要介護状態になるおそれがあると判定された方を称しています。	●「運動器の機能低下」「低栄養の傾向」「口腔機能の低下」「閉じこもり傾向」「認知機能の低下」「うつ傾向」「虚弱」リスク判定のいずれかの該当者
生活支援事業対象者 ※右記①②に該当する高齢者を称します。	①要支援認定者 and ●問 1-（1）で「1. 1 人暮らし」or「2. 夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）」or 問 1-①で「1. よくある」に回答 or ②介護予防事業対象者 and ●問 1-（1）で「1. 1 人暮らし」or「2. 夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）」に回答 or 問 1-①で「1. よくある」に回答
軽度認知機能障害該当者 （認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当） ※認知機能の障害程度がレベルⅠ（境界域）・レベルⅡ（軽度）に該当した高齢者を称し、認知症の予防効果が見込める軽度認知機能障害該当者として位置づけています。	●C P S（認知機能尺度、認知機能障害の程度）を用いたリスク判定で「レベルⅠ」「レベルⅡ」に該当した方

■リスクの判定条件

項 目		判定条件
虚弱	該当	・ 10点以上
	非該当	・ 0点以上9点以下
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合
運動器の機能低下	該当	・ 3点以上
	非該当	・ 0点以上2点以下
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合
口腔機能の低下	該当	・ 2点以上
	非該当	・ 0点以上1点以下
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合
低栄養の傾向	該当	・ 2点
	非該当	・ 0点以上1点以下
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合
閉じこもり傾向	該当	・ 1点
	非該当	・ 0点
	判定できず	・ 判定設問に無回答があった場合
認知機能の低下	該当	・ 1点
	非該当	・ 0点
	判定できず	・ 判定設問に無回答があった場合
うつ傾向	該当	・ 1点以上
	非該当	・ 0点
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合

■フレイルの判定条件

項 目	判定条件
フレイル該当	・ 8点以上
プレフレイル該当	・ 4点以上7点以下
非該当	・ 0点以上3点以下
判定できず	・ 判定設問に無回答が8問以上あった場合

※フレイルとは、加齢とともに心身の活力(運動機能や認知機能等)が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態であるが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像です。また、プレフレイルはフレイルの前段階にあたります。

■虚弱の判定・評価

問番号	項 目	選択肢
問2-(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」：1点
問2-(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	
問2-(3)	15分位続けて歩いていますか	
問2-(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」または「2. 1度ある」：1点
問2-(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」または「2. やや不安である」：1点
問2-(6)	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」または「2. 週1回」：1点
問2-(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「1. とても減っている」または「2. 減っている」：1点
問3-(1)	身長()cm 体重()kg	BMI<18.5：1点
問3-(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」：1点
問3-(5)	お茶や汁物等でむせることがありますか	
問3-(6)	口の渇きが気になりますか	
問3-(8)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	
問4-(1)	物忘れが多いと感じますか	「3. できない」：1点
問4-(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	
問4-(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問4-(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「2. いいえ」：1点
問4-(7)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	
問4-(8)	今日が何月何日かわからない時がありますか	「1. はい」：1点
問4-(13)	友人の家を訪ねていますか	「2. いいえ」：1点
問4-(14)	家族や友人の相談にのっていますか	

※10点以上：該当 0点以上9点以下：非該当

※0点のうち判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

■運動器の機能低下の判定・評価

問番号	項 目	選択肢
問2-(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」：1点
問2-(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	
問2-(3)	15分位続けて歩いていますか	
問2-(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」または「2. 1度ある」：1点
問2-(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」または「2. やや不安である」：1点

※3点以上：該当 0点以上2点以下：非該当

※0点のうち判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

■口腔機能の低下の判定・評価

問番号	項 目	選択肢
問3-(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」：1点
問3-(5)	お茶や汁物等でむせることがありますか	
問3-(6)	口の渇きが気になりますか	

※2点以上：該当 0点以上1点以下：非該当

※0点のうち判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

■低栄養の傾向の判定・評価

問番号	項 目	選択肢
問3-(1)	身長 () cm 体重 () kg	BMI<18.5：1点
問3-(8)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」：1点

※2点：該当 0点以上1点以下：非該当

※0点のうち判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

■閉じこもり傾向の判定・評価

問番号	項 目	選択肢
問2-(6)	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」または「2. 週1回」：1点

※1点：該当 0点：非該当

※判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

■認知機能の低下の判定・評価

問番号	項 目	選択肢
問4-(1)	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」：1点

※1点：該当 0点：非該当

※判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

■うつ傾向の判定・評価

問番号	項 目	選択肢
問 7- (3)	この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」：1 点
問 7- (4)	この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	

※1 点以上：該当 0 点：非該当

※0 点のうち判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

■ I A D L（手段的自立度）の判定・評価 … 老研指標

問番号	項 目	選択肢
問 4- (2)	バスや電車を使って 1 人で外出していますか (自家用車でも可)	「1. できるし、している」 または 「2. できるけどして いない」：1 点
問 4- (3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問 4- (4)	自分で食事の用意をしていますか	
問 4- (5)	自分で請求書の支払いをしていますか	
問 4- (6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

※5 点：問題なし 4 点：やや低い 0～3 点：低い

※判定条件の設問に無回答が 2 項目以上あった場合には、「判定できず」とします。

■社会参加（知的能動性）の判定・評価 … 老研指標

問番号	項 目	選択肢
問 4- (9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「1. はい」：1 点
問 4- (10)	新聞を読んでいますか	
問 4- (11)	本や雑誌を読んでいますか	
問 4- (12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	

※4 点：問題なし 3 点：やや低い 0～2 点：低い

※判定条件の設問に無回答が 1 項目以上あった場合には、「判定できず」とします。

■社会参加（社会的役割）の判定・評価 … 老研指標

問番号	項 目	選択肢
問 4- (13)	友人の家を訪ねていますか	「1. はい」：1 点
問 4- (14)	家族や友人の相談にのっていますか	
問 4- (15)	病人を見舞うことができますか	
問 4- (16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	

※4 点：問題なし 3 点：やや低い 0～2 点：低い

※判定条件の設問に無回答が 1 項目以上あった場合には、「判定できず」とします。

■老研指標総合評価

※ I A D L（手段的自立度）、社会参加（知的能動性）、社会参加（社会的役割）の合計点

11 点以上：問題なし 9～10 点：やや低い 8 点以下：低い

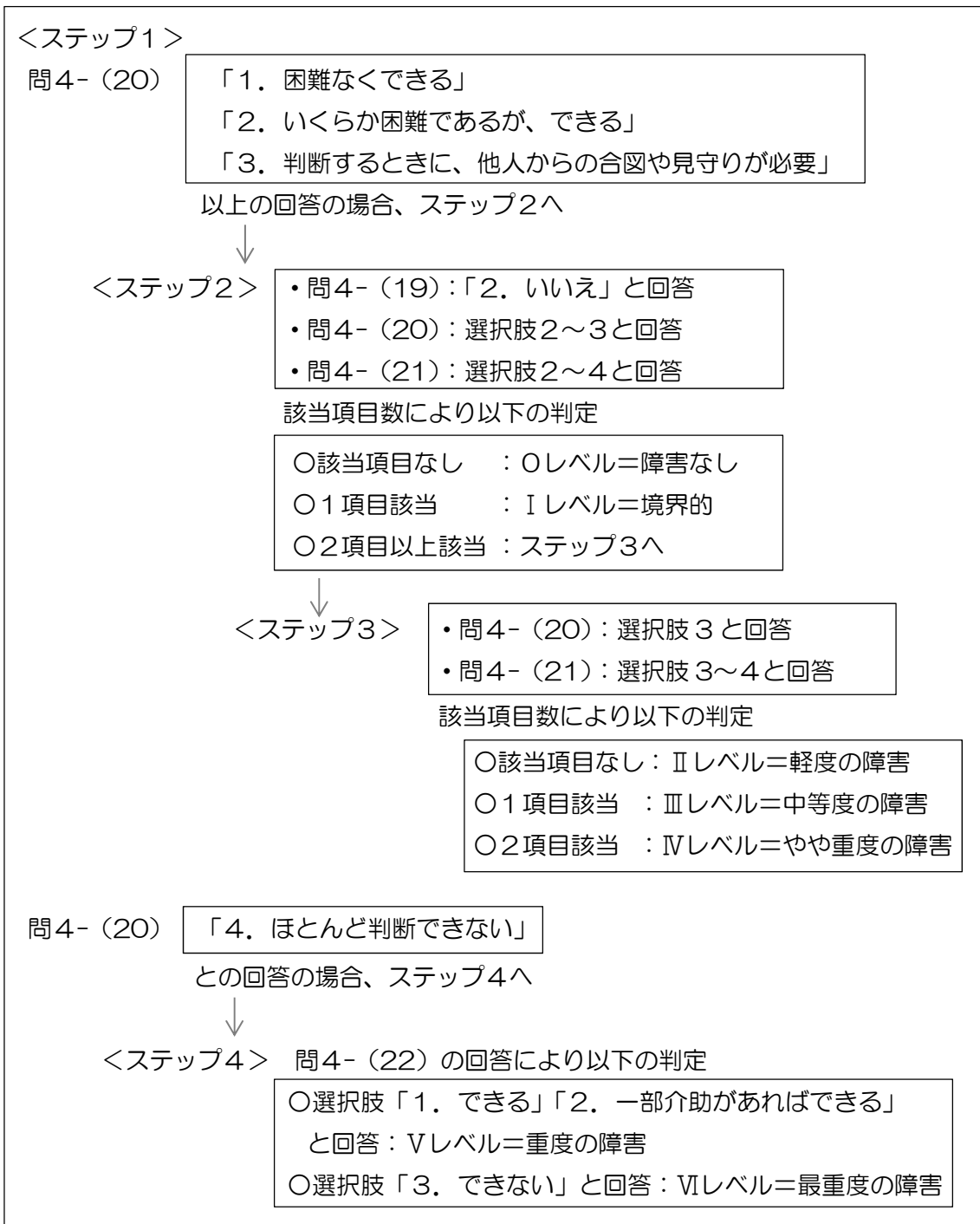
■フレイル（高齢者の虚弱）判定・評価

問番号	項 目	選択肢
問4-(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	「3. できない」: 1点
問4-(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問4-(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	
問4-(13)	友人の家を訪ねていますか	「2. いいえ」: 1点
問4-(14)	家族や友人の相談にのっていますか	
問2-(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」: 1点
問2-(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	
問2-(3)	15分位続けて歩いていますか	
問2-(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 または 「2. 1度ある」: 1点
問2-(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」または「2. やや不安である」: 1点
問3-(8)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」: 1点
問3-(1)	身長()cm 体重()kg	BMI<18.5: 1点
問3-(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」: 1点
問3-(5)	お茶や汁物等でむせることがありますか	
問3-(6)	口の渇きが気になりますか	
問2-(6)	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」または 「2. 週1回」: 1点
問2-(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「1. とても減っている」または「2. 減っている」: 1点
問4-(23)	いつも同じことを聞くなどと言われますか	「1. はい」: 1点
問4-(7)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「2. いいえ」: 1点
問4-(8)	今日が何月何日かわからない時がありますか	「1. はい」: 1点
問7-(8)	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	「1. はい」: 1点
問7-(9)	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが 楽しめなくなった	
問7-(10)	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今では おっくうに感じられる	
問7-(11)	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	
問7-(12)	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	

※8点以上：フレイル該当 4点以上7点以下：プレフレイル該当 0点以上3点以下：非該当

※判定設問に無回答が8問以上あった場合は、「判定できず」とします。

■CPS（軽度認知機能障害）判定ルール



※レベルⅢ～Ⅵ：障害あり、レベルⅠ～Ⅱ：やや障害あり、レベル0：障害なし
 ※判定条件の設問に無回答が1項目以上あった場合には、「判定できず」とします。

2 アンケート調査票

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

多治見市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください (Oは1つ)

1. 1人暮らし

2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)

3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)

4. 息子・娘との2世帯

5. その他 ()

【(1) において「1. 1人暮らし」以外の方のみ】

① 日中、1人になることがありますか (Oは1つ)

1. よくある

2. たまにある

3. ない

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要です か (Oは1つ)

1. 介護・介助は必要ない

2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (Oはいくつでも)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)

2. 心臓病

3. がん (悪性新生物)

4. 呼吸器の病気 (肺炎・肺がん等)

5. 関節の病気 (リウマチ等)

6. 認知症 (アルツハイマー病等)

7. パーキンソン病

8. 糖尿病

9. 腎疾患 (透析)

10. 視覚・聴覚障害

11. 骨折・脱臼

12. 脊椎損傷

13. 高齢による衰弱

14. その他 ()

15. 不明

【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

② 主にどなたの介護、介助を受けていますか (Oはいくつでも)

1. 配偶者 (夫・妻)

2. 息子

3. 娘

4. 子の配偶者

5. 孫

6. 兄弟・姉妹

7. 介護サービスのヘルパー

8. その他 ()

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (Oは1つ)

1. 大変苦しい

2. やや苦しい

3. ふつう

4. ややゆとりがある

5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (Oは1つ)

1. 持家 (一戸建て)

2. 持家 (集合住宅)

3. 公営賃貸住宅

4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)

5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)

6. 借家

7. その他 ()

2

142

問2 からだを動かすことについて

- (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)
1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない
- (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)
1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない
- (3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)
1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない
- (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)
1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
- (5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)
1. とても不安である 2. やや不安である
3. あまり不安でない 4. 不安でない
- (6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)
1. ほとんど外出しない 2. 週1回
3. 週2～4回 4. 週5回以上
- (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)
1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

- (8) 外出を控えていますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- 【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】
- ① 外出を控えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)
1. 病気 2. 障害 (脳卒中、^{けいれん}発作、^{てんかん}後遺症など)
3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配 (失禁など)
5. 耳の障害 (聞こえの問題など) 6. 目の障害
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない 10. その他 ()
- (9) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)
1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク
4. 自動車 (自分で運転) 5. 自動車 (人に乗せてもらう) 6. 電車
7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす
10. 電動車いす (カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー
13. その他 ()
- (10) 買物や散歩に出かける頻度を教えてください
- ① 買物で外出する頻度はどのくらいですか (○は1つ)
1. ほぼ毎日 2. 週4～5日 3. 週2～3日
4. 週1日 5. 週1日未満
- ② 散歩で外出する頻度はどのくらいですか (○は1つ)
1. ほぼ毎日 2. 週4～5日 3. 週2～3日
4. 週1日 5. 週1日未満
- (11) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ

(7) 歯磨き（人にやってもら場合も含む）を毎日していますか（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

(9) 1日の食事の回数は何回ですか（○は1つ）

1. 朝昼晩の3食

2. 朝晩の2食

3. 朝昼の2食

4. 昼晩の2食

5. 1食

6. その他

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（○は1つ）

1. できるし、している

2. できるだけしていない

3. できない

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか（○は1つ）

1. できるし、している

2. できるだけしていない

3. できない

【(3)で「2. できるだけしていない」「3. できない」の方のみ】

① 食品・日用品の買物をする人は主にどなたですか（○は1つ）

1. 同居の家族

2. 別居の家族

3. ヘルパー

4. 配達を依頼

5. その他

(4) 自分で食事の用意をしていますか（○は1つ）

1. できるし、している

2. できるだけしていない

3. できない

【(4)で「2. できるだけしていない」「3. できない」の方のみ】

① 食事の用意をする人は主にどなたですか（○は1つ）

1. 同居の家族

2. 別居の家族

3. ヘルパー

4. 配食サービスを利用

5. その他

6

問3 食べることにについて

(1) 身長・体重（数字を記入）

身長

cm

体重

kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください（○は1つ）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用

2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし

3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用

4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

【(3)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

① 毎日入れ歯の手入れをしていますか（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

【この質問は全員の方がお答えください】

② 噛み合わせは良いですか（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

(4) どなたかと食事をとにする機会はありますか（○は1つ）

1. 毎日ある

2. 週に何度かある

3. 月に何度かある

4. 年に何度かある

5. ほとんどない

(5) お茶や汁物等でむせることがありますか（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

(6) 口の渇きが気になりますか（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

5

144

- (5) 自分で請求書の支払いをしていますか (Oは1つ)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (Oは1つ)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (7) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (Oは1つ)
1. はい 2. いいえ
- (8) 今日が何月何日かわからない時がありますか (Oは1つ)
1. はい 2. いいえ
- (9) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (Oは1つ)
1. はい 2. いいえ
- (10) 新聞を読んでいますか (Oは1つ)
1. はい 2. いいえ
- (11) 本や雑誌を読んでいますか (Oは1つ)
1. はい 2. いいえ
- (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (Oは1つ)
1. はい 2. いいえ
- (13) 友人の家を訪ねていますか (Oは1つ)
1. はい 2. いいえ
- (14) 家族や友人の相談ののっていますか (Oは1つ)
1. はい 2. いいえ
- (15) 病人を見舞うことができますか (Oは1つ)
1. はい 2. いいえ

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※①～⑧それぞれに回答してください（それぞれ○は1つ）

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場 （ひまわりサロン等）	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 自治会・町内会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

1. 是非参加したい

2. 参加してもよい

3. 参加したくない

4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

1. 是非参加したい

2. 参加してもよい

3. 参加したくない

4. 既に参加している

問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（○はいくつでも）

1. 配偶者

2. 同居の子ども

3. 別居の子ども

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫

5. 近隣

6. 友人

7. その他（ ）

8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（○はいくつでも）

1. 配偶者

2. 同居の子ども

3. 別居の子ども

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫

5. 近隣

6. 友人

7. その他（ ）

8. そのような人はいない

問7 健康について

- (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)
1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない
- (2) あなたは、現在どの程度幸せですか (○は1つ)
- (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)
- | とても不幸 | 0点 | 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 | 6点 | 7点 | 8点 | 9点 | 10点 | とても幸せ |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-------|
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-------|
- (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- (5) タバコは吸っていますか (○は1つ)
1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない
- (6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)
1. ない 2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病
5. 糖尿病 6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)
11. 外傷 (転倒・骨折等) 12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気 14. うつ病
15. 認知症 (アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病
17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他 ()

- (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (○はいくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他 () 8. そのような人はいない
- (4) 反対に、あなたが看病や世話をしあげて人 (○はいくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他 () 8. そのような人はいない
- (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (○はいくつでも)
1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師
5. 地域包括支援センター・役所・役場 6. その他 ()
7. そのような人はいない
- (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つ)
1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない
- (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (○は1つ)
- 同じ人には何度会っても1人と数えることとします
1. 0人 (いない) 2. 1～2人 3. 3～5人
4. 6～9人 5. 10人以上
- (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (○はいくつでも)
1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ
3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人
7. その他 () 8. いない

問9 人生の最終段階について

- (1) あなたが人生の最終段階において受けた医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とのくらし話し合ったことがありますか。(○は1つ)
1. 詳しく話し合っている 2. 一応話し合っている
3. 話し合ったことはない
- (2) あなたが人生の最終段階において、もしも以下の3つの状況となった場合、お過ごしになりたい場所はどこですか。
- ケース① 末期がんで、食事や呼吸が不自由であるが、痛みがなく、意識や判断能力は健康な時と同様な場合 (○は1つ)
1. 医療機関 2. 介護施設 3. 自宅
- ケース② 重度の心臓病で、身の回りの手助けが必要であるが、意識や判断能力は健康な時と同様な場合 (○は1つ)
1. 医療機関 2. 介護施設 3. 自宅
- ケース③ 認知症になり、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合 (○は1つ)
1. 医療機関 2. 介護施設 3. 自宅

ご協力ありがとうございました。記入もれがないか、今一度お確かめください。

2月12日(水)までに郵便ポストに投函してください。

- (7) お酒は飲みますか (○は1つ)
1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない
- (8) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- (9) (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- (10) (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- (11) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- (12) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする (○は1つ)
1. はい 2. いいえ

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

- (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ
- (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)
1. はい 2. いいえ

（２）在宅介護実態調査

基本調査項目＋オプション項目		在宅介護実態調査 調査票	
被保険者番号〔 〕			
【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）			
1. 調査対象者本人 2. 主な介護者となっている家族・親族 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. 調査対象者のケアマネジャー 5. その他			
A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目			
問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）		1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他	
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）		問8（裏面）へ 問3～問13へ	
1. ない 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない 3. 週に1～2日ある 4. 週に3～4日ある 5. ほぼ毎日ある		問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択） 1. 配偶者 2. 子 3. 子の配偶者 4. 孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他	
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）		1. 男性 2. 女性	
問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）		1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80歳以上 9. わからない	
問6 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）			
1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物（宅配は含まない） 5. ゴミ出し 6. 外出同行（通院、買い物など） 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他 11. 利用していない			
※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。			
問7 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）			
1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物（宅配は含まない） 5. ゴミ出し 6. 外出同行（通院、買い物など） 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他 11. 特になし			
※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含めます。			
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）			
1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物（宅配は含まない） 5. ゴミ出し 6. 外出同行（通院、買い物など） 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他 11. 利用していない			
※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。			
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）			
1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物（宅配は含まない） 5. ゴミ出し 6. 外出同行（通院、買い物など） 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他 11. 特になし			
※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含めます。			
問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）			
1. 入所・入居を検討していない 2. 入所・入居を検討している 3. すでに入所・入居申し込みをしている			
問11 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）			
1. 日中の排せ 2. 夜間の排せ 3. 食事の介助（食べるとき） 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ（洗面・歯磨き等） 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）			
（生活援助）			
12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 15. その他 16. わからない			
問12 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）			
1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） 3. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族は、ない 6. わからない			
※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。			
● ここから再び、全員に調査してください。			
問13 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）			
1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物（宅配は含まない） 5. ゴミ出し 6. 外出同行（通院、買い物など） 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他 11. 利用していない			
※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。			
問14 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）			
1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物（宅配は含まない） 5. ゴミ出し 6. 外出同行（通院、買い物など） 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他 11. 特になし			
※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含めます。			
問15 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）			
1. 入所・入居を検討していない 2. 入所・入居を検討している 3. すでに入所・入居申し込みをしている			

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

1. フルタイムで働いている } 問2～問5へ
2. パートタイムで働いている }
3. 働いていない }
4. 主な介護者に確認しないと、わからない } 問5(裏面)へ

※「パートタイム」とは、「1 週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1」、「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

- 特に行っていない
- 介護のために、「労働時間を調整(就業免除、短時間勤務、退出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
- 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
- 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
- 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1」、「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 制度を利用しやすい職場づくり
- 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
- 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
- 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 介護をしている従業員への経済的な支援
- 特になし
- 主な介護者に確認しないと、わからない

問4 問1で「1」、「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていくつもりですか(1つを選択)

- 問題なく、続けていく
- 問題はあるが、何とか続けていく
- 続けていくのは、やや難しい
- 続けていくのは、かなり難しい
- 主な介護者に確認しないと、わからない

⇒ 皆様、裏面へお進みください

1

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- 脳血管疾患(脳卒中)
- 心疾患(心臓病)
- 悪性新生物(がん)
- 呼吸器疾患
- 腎疾患(透析)
- 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱狭窄症等)
- 膠原病(関節リウマチ含む)
- 変形性関節疾患
- 認知症
- パーキンソン病
- 難病(パーキンソン病を除く)
- 糖尿病
- 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)
- その他
- なし
- わからない

問12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

- 利用している
 - 利用していない
- ※訪問診療科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

- 利用している
- 利用していない

● 問13で「2」を回答した場合は、問14も調査してください。

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

- 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
- 本人にサービス利用の希望がない
- 家族が介護をするため必要ない
- 以前、利用していたサービスに不満があった
- 利用料を支払うのが難しい
- 利用したいサービスが利用できない、身近にない
- 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
- サービスを受けたがいずれも手続や利用方法が分からない
- その他

● 聞き取りを行った相手の方が「調査対象者本人」の場合は問15も調査してください。

問15 あなたが人生の最終段階において受けた医療・療養や受けない医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者などのくらし話し合ったことがありますか。

- 詳しく話し合っている
- 一応話し合っている
- 話し合ったことはない
- 無回答

● 問2で「2」、「5」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

3

- ここから再び、全員の方にお伺いします。
- 問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)
- 【身体介護】

1. 日中の排泄

2. 夜間の排泄

3. 食事の介助(食べる時)

4. 入浴・洗身

5. 身だしなみ(洗面・歯磨き等)

6. 衣服の着脱

7. 屋内の移乗・移動

8. 外出の付き添い、送迎等

9. 服薬

10. 認知症状への対応

11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等)
- 【生活援助】

12. 食事の準備(調理等)

13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等)

14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 【その他】

15. その他

16. 不安に感じていることは、特にない

17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問6 多治見市の高齢者福祉社についてご意見があれば自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

多治見市

介護に関するアンケート調査 調査結果報告書

発 行 日 令和2（2020）年3月

発 行 元 多治見市役所 福祉部 高齢福祉課

住 所 〒507-8787

岐阜県多治見市音羽町1丁目233番地

T E L : 0572-22-1111（内線2233）

F A X : 0572-25-6434